DVDレコーダー

DVR-7000

まずはじめに、
「接続と設定」「DVDレコーダーマガジン」
をお読みください。

G-CODE

Pioneer sound.vision.soul

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

**お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用できます。)**

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

絵表示について

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

⚠ 警告[異常時の処理]

プラグを抜け

- **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**

プラグを抜け

- **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

プラグを抜け

- **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

はじめに知っておきたいこと

以下の手順で本機を使用すると、より快適に DVR-7000 を楽しむことができます。

Step 1　「DVD レコーダーマガジン」を読んで、DVR-7000 を理解する
Step 2　「接続と設定」をよく読んで、付属品の確認をする
Step 3　「接続と設定」をよく読んで、設置と接続をする
Step 4　「接続と設定」をよく読んで、本機の基本的な設定をする
Step 5　本書をよく読んで、DVR-7000 を楽しむ

「接続と設定」と「DVD レコーダーマガジン」は、
1 冊の本で構成されています。

本書を読む前に以下のことを知っておくと、より分かりやすく本書を使うことができます。

ディスクの操作について

DVD ビデオは、 ソフト制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止したりしているものがあります。このため、ディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機では、ディスクによって禁止されている操作をしたときには、画面に「ディスク禁止マーク」を表示します。

ディスク禁止マーク

メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作が出来ないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤー禁止マーク」を表示します。

プレーヤー禁止マーク

録画モードとディスクのマーク

本書では、使用できる録画モードとディスクを、機能ごとに以下の記号を使って表しています。(録画モードとディスクについては、「DVD レコーダーマガジン」をお読みください。)

VR モードで DVD-RW ディスク（Ver1.0/ Ver1.1/Ver1.1 CPRM 対応）を使用する場合

ビデオモードで DVD-RW ディスク（Ver1.1/Ver1.1 CPRM 対応）を使用する場合

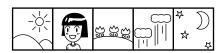
ビデオモード
DVD-R (Ver.2.0)
ビデオモードで DVD-R ディスク（Ver2.0）を使用する場合

本機では、画面表示に NEC のフォント「FontAvenue*」を使用しています。
*FontAvenue は NEC の登録商標です。

オリジナルとプレイリストについて

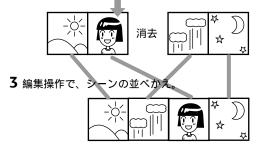
オリジナルとプレイリストは、VR モードで録画した DVD-RW の映像を編集するときに使われる用語です。実際に録画したタイトルを「オリジナル」、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。
プレイリストでの編集は、消去や移動などの編集作業を行っても、オリジナルの映像は録画した時のままです。
また、オリジナルを消去すると、ディスク残量を増やすことができます。

＜オリジナル映像＞

録画した番組の映像のことです。

＜プレイリスト＞

1 オリジナルからプレイリストを作ります。

2 編集操作で、いらないシーンを消去。

3 編集操作で、シーンの並べかえ。

プレイリストの映像を再生すれば、編集後の映像を楽しむことができます。プレイリストボタンを押すごとに、オリジナルとプレイリストが切り換わります。

もくじ

基礎知識

ディスクについて

録画する前に知っておきたいこと

基本編

ディスクを再生する

テレビ番組を録画する

他の DVD プレーヤーで再生するには

応用編

便利な再生操作

いろいろな録画のしかた

CS 放送などの番組を自動で録画する機能のことを、
オートスタート録画といいます。

編　集

設 定

その他

こんなことができます

再生

プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム

本機は、プログレッシブスキャン（順次走査）での映像出力ができます。コンポーネント映像入力、またはD映像入力のあるプログレッシブ対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン（飛び越し走査）よりも、2倍の情報量のきめ細かな映像を再生できます。

映画館さながらの迫力ある音声

ドルビーデジタルやDTS対応のAVアンプなどにつなぐと、立体感にあふれた迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。

見たい場面からすぐに再生 （36, 40ページ）

DVDはテープのように巻き戻しの必要がないから見たい場面からすぐに再生することができます。見たい場面を探すための機能も豊富に用意されています。

ディスクナビ

（24, 76ページ）

録画したタイトルを再生・編集するならディスクナビ。各タイトルごとに映像の一部が一覧表示されます。目的のタイトルを一目で見つけて、簡単に再生・編集することができます。

録画

大切な映像をより美しくダビングできるピクチャークリエイション（画質調整機能）（52ページ）

再生時の本格的な画質調整はもちろん、録画時においても、輝度信号や色信号を最適な画質に調整することができます。たとえば画質の劣化したビデオテープをダビングするときなどに、お好みのより美しい画質に調整してDVDディスクに保存できます。

高音質リニアPCM記録

VRモードの1時間録画（MN32）においては、圧縮しないリニアPCMで音声を記録することにより、DVDの最高レベルの画質と音質を楽しむことができます。

予約は最大8番組まで

（58, 63ページ）

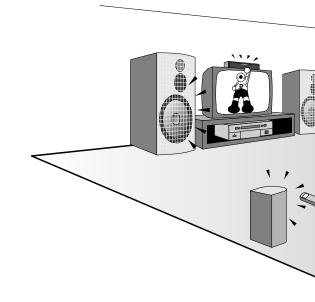
予約画面で日時やチャンネルを設定するのが通常のタイマー予約録画。Gコード予約なら番組欄の数字（Gコードプログラム番号※）を入力するだけの手間いらずです。

ワンタッチ録画 （31, 61ページ）

いまから30分、いまから60分、と録画時間を決めて録画するのがワンタッチ録画。
予約録画中でも録画を続けたままいったん予約録画を中止し、続けてワンタッチ録画に移ることができます。スポーツ中継の延長で後ろにずれ込んだ番組の予約録画を延長するときに便利です。

ディスク予約録画

（66ページ）

ディスクに予約機能を持たせてしまうのがディスク予約録画。私だけのディスクを作りたいときや同じ番組をひとつのディスクだけに録画するときに便利です。

マニュアルモード録画 （20 ページ）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

標準モード（2 時間）の他に、録画したい時間に最適な画質を32段階で選べるマニュアルモードを用意しています。

ジャスト録画 （100 ページ）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

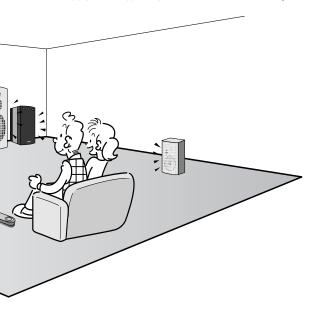
ディスクの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して空き時間が足りない場合、自動で録画レベルを変更して録画します。
出荷時の設定は「オフ」になっています。

オートスタート録画 （68 ページ）

録画用のディスクをセットし、オートスタート録画機能をオン。CS チューナーなどでタイマー予約をセットしておくだけで、CS チューナーからの映像信号をキャッチして自動的に録画を開始し、映像信号が無くなると終了します。

映像の入力／出力

デジタルビデオカメラとの接続 （71, 72 ページ）

DV 端子を持つデジタルビデオカメラの映像を取り込み、編集・保存することができます。また、本機で録画した映像を出力することもできます。

編集

大切な映像はそのままだから安心 （75 ページ）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

本機では、実際に録画したタイトル（オリジナル）には手を加えない編集方法を採用。
オリジナルをもとに、編集用のタイトル（プレイリスト）を作成してから編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク （49 ページ）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

指定した場面にチャプターマーク（区切り）を付けます。チャプタースキップ機能で見たい場面が探しやすくなります。

シーン消去 / 追加 （80, 82 ページ）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

範囲を指定してシーンを消去することができます。また、オリジナルのシーンを追加していくことで、お好みのプレイリストを作成することもできます。

互換性

ビデオモードなら他の DVD プレーヤーでも再生

ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)

ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

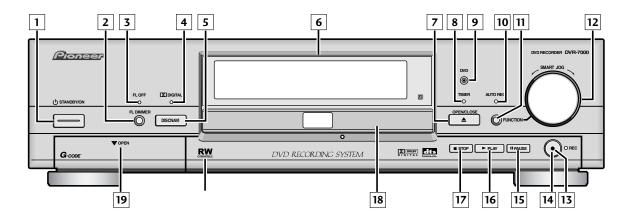
ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズすることで、現在市販されている DVD プレーヤーや DVD ビデオに対応したパソコンで再生※できます。

※ DVD-R/RW へのビデオモード（ビデオフォーマット）による録画は2000年に DVD フォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応は DVD 再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブによってはDVD-R/RWを再生しないモデルがあります。

＊ G コードは、ジェムスター社の登録商標です。G コードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

基礎編／準備

各部の名称

前面

1 **「⏻ STANDBY/ON」ボタン**
電源をオン / オフします。

2 **「FL DIMMER」ボタン**
表示窓の明るさを調節します。通常の点灯から消灯まで、明るさを 3 段階で切り換えできます。
表示窓が消灯すると、「FL OFF」インジケーターが点灯します。

3 **「FL OFF」インジケーター**
「FL DIMMER」ボタンを操作して表示窓の表示が消えると点灯します。

4 **「DD DIGITAL」インジケーター**
ドルビーデジタル音声を再生中に点灯します。

5 **「DISCNAVI」ボタン (24、76、77ページ)**
ディスクナビの画面を呼び出します。

6 **本体表示窓 (10 ページ)**

7 **「▲ OPEN/CLOSE」ボタン**
ディスクテーブルを開閉します。

8 **「TIMER」インジケーター (60、64、67ページ)**
本機が予約録画待機状態のときに点灯します。
予約録画が実行可能になるのは、以下の条件が揃ったときです。
・予約が入力されている
・録画可能なディスクがセットされている
・電源がオフになっている
ディスクがセットされていない・録画不可のディスクセットされている場合には、このインジケーターは点滅します。

9 **「DVD」 インジケーター**
DVD がセットされているときに点灯します。DVD 以外のディスクがセットされているときは点灯しません。

10 **「AUTO REC」インジケーター(68 ページ)**
オートスタート録画をオンにしたときに点灯します。

11 **ファンクション「FUNCTION」ボタン**
スマートジョグ「SMART JOG」の操作内容を変更するときに使用します。また、3秒間押しつづけることでオートスタート録画（68 ページ）をオンにします。

12 **スマートジョグ「SMART JOG」**
チャンネルの変更（30ページ)、録音レベルの調整（27 ページ)、録画モードの設定（30 ページ)、各種サーチ（40 ページ)、再生速度の変更 （37 ～ 39 ページ)、予約確認 （62 ページ）などを行うときに使用します。

13 **「REC」インジケーター**
録画中に点灯します。

14 **録画「● REC」ボタン (29、31、61ページ)**
1 回押すと録画を開始し、停止ボタンを押さないかぎりディスクの終わりまで録画をします。さらに、録画中に 1 回押すと 30 分後、2 回押すと 1 時間後に録画を停止します。30 分単位で 6 時間まで時間設定が可能です。
DVD-R で録画する場合、ボタンを 2 回押して録画を開始します。（106 ページの DVD-R 録画開始操作の設定を変更している場合を除きます)。

15 **一時停止(II PAUSE)ボタン (26 ページ)**
録画、再生を一時停止します。

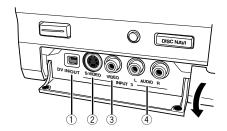
16 **再生(► PLAY)ボタン**
再生を開始します。

17 **停止(■ STOP)ボタン**
録画、再生を終了します。

18 **ディスクテーブル**
ディスクをセットします。

※ これは、DVDレコーダーでVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録された DVD-RW が再生できる機能を示します。
本機で録画した DVD-RW は、この表記のある DVD プレーヤーで再生可能です。

19 前面部入力端子

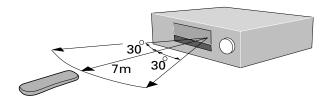
下図のように前面部のドアを開けると、各入力端子を使用することができます。

① DV 端子：デジタルビデオカメラの DV 端子と接続します。詳しくは、**「接続と設定」**の15ページを参照してください。

② S 映像入力端子（INPUT3）：外部機器の S 映像出力端子と接続します。

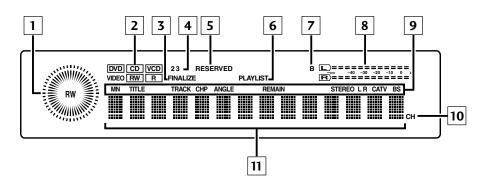
③ 映像入力端子（INPUT3）：外部機器の映像出力端子と接続します。

④ 音声入力端子（INPUT3）：外部機器の音声出力端子と接続します。

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約 7m、またリモコン受光部を基準にして左右 30 ° までの範囲で操作できます。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき(11ページ参照）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

注意

◆ リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

本体表示部

1 動作インジケータ

本機の動作状態に合わせて表示が変わります。外周は、再生・録画の状況によって速度や回転方向が変わります。内周は、テレビ画面に表示されるディスク情報（55ページ参照）やカウンター表示（11）と連動して動作します。また、VR モードのディスクがセットされているときには、中央の「RW」が点灯します。

2 RW R DVD CD VCD VIDEO

セットされているディスクの種類を表示します。

DVD RW .... DVD-RW
DVD R .... DVD-R
DVD VIDEO .. DVD ビデオ
CD .... 音楽用 CD（CD-R、CD-RW 含む）
VCD .... ビデオ CD

3 FINALIZE (34 ページ)

ファイナライズされたディスクをセットすると点灯します。

4 リモコンモード（2、3）

本機のリモコンモードが「2」に設定されているときには「2」が、「3」に設定されているときには「3」が点灯します。（出荷時の設定は「1」になっており、このときには点灯しません。）リモコンモードの設定については、107 ページをご覧ください。

5 RESERVED (67 ページ)

ディスク予約されたディスクがセットされているときに表示されます。

6 PLAYLIST

プレイリストを扱う状態に切り換わっていることを表示します。

7 B

BS 放送の B モード音声を受信しているときに点灯します。

8 音声レベルインジケーター

再生中は出力音声レベルを表示し、停止中や録画中は入力音声レベルを表示します。

9 MN

録画モードがマニュアル（MN）であることを示します。（11の部分の左側に同時に表示される数字は、録画レベルを示します。）

TITLE

表示されている数字が、タイトル番号であることを示します。（DVD の場合）

TRACK

表示されている数字が、トラック番号であることを示します。（CD、ビデオ CD の場合）

CHP

表示されている数字が、チャプター番号であることを示します。（DVD の場合）

ANGLE

マルチアングルの場面を再生していることを示します。

REMAIN

表示されている数字が、残り時間であることを示します。

STEREO

ステレオ放送を受信しているときに点灯します。

L R

二カ国語放送を受信しているときに点灯します。

L .... 主音声出力時
R .... 副音声出力時
L R .... 主音声 + 副音声出力時

CATV

CATV を受信しているときに点灯します。

BS

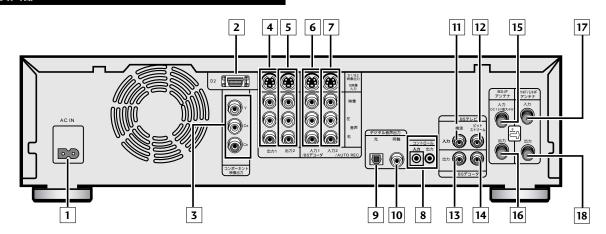
BS 放送を受信しているときに点灯します。

10 CH

チャンネルが表示されているときに点灯します。

11 カウンター表示

再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター / トラック番号、経過時間などを表示します。

後面部

1 **「AC IN」**

ご家庭の電源コンセントと接続します。

2 **「D2」端子**

D 映像入力端子付きのテレビと接続すると、よりきれいな映像がご覧いただけます。

3 **「コンポーネント映像出力」端子**

コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続すると、よりきれいな映像がご覧いただけます。

4 **「出力 1」端子**

テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

5 **「出力 2」端子**

テレビや AV アンプに映像・音声信号を出力します。

6 **外部「入力 1/BS デコーダ」端子**

通常は外部入力 1 としてお使いください。
WOWOWを受信するときには、WOWOWデコーダの映像・音声出力と接続します。

7 **外部「入力 2/AUTO REC」端子**

通常は外部入力2としてお使いください。CSチューナーなどの予約録画機能（「オートスタート録画」68 ページ参照）を使用する場合には、その機器の映像・音声出力と接続します。

8 **SR「コントロール入力 / 出力」端子**

SR マークの付いたパイオニア製AVアンプなどにつないで、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし、Φ 3.5）を使って、本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子とを接続します。

- SR マーク付きのAVアンプなどとつないだときは、つないだ機器（AV アンプなど）にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SR マークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

9 **「光 デジタル音声出力」端子**

音声信号を光デジタル出力します。AVアンプなどの光デジタル入力と接続します。使用しないときはキャップをしてください。

10 **「同軸 デジタル音声出力」端子**

音声信号を同軸デジタル出力します。AVアンプなどの同軸デジタル入力と接続します。

11 **「検波入力」端子**

BS チューナー内蔵テレビの検波出力と接続します。

12 **「ビットストリーム入力」端子**

BS チューナー内蔵テレビのビットストリーム出力と接続します。

13 **「検波出力」端子**

WOWOWを受信するために、WOWOWデコーダと接続します。

14 **「ビットストリーム出力」端子**

WOWOWを受信するために、WOWOWデコーダと接続します。

15 **「BS－IF アンテナ入力」端子**

BS アンテナ線を接続します。

16 **「BS－IF アンテナ出力」端子**

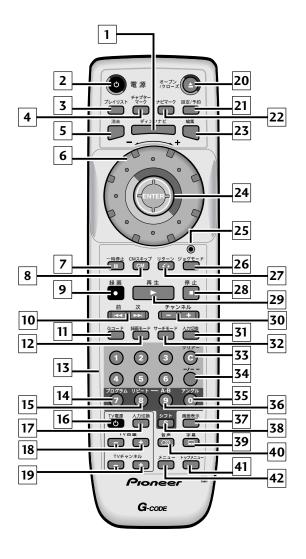
テレビの BS アンテナ入力と接続します。

17 **「VHF/UHF アンテナ入力」端子**

アンテナ線を接続します。

18 **「VHF/UHF アンテナ出力」端子**

テレビの VHF/UHF アンテナ入力と接続します。

リモコン

1 「ディスクナビ」ボタン (24、76、77ページ)
再生するタイトルを選んだ状態で、ディスクナビの画面を呼び出します。

2 「電源」ボタン
本機の電源をオン / オフします。

3 「プレイリスト」ボタン (76 ページ)
オリジナルとプレイリストを切り換えます。

4 「チャプター マーク」ボタン (49 ページ)
チャプターマークを付けます。

5 「消去」ボタン（76、77、96 ページ)
消去するタイトルを選んだ状態で、ディスクナビ画面（VRモード）またはタイトルリスト画面（ビデオモード）を呼び出します。

6 ジョグダイヤル (37 〜 39 ページ)
早送り・早戻し（スキャン)、スロー再生、コマ送り再生などの特殊再生に使用します。

7 「一時停止 II」ボタン
録画、再生を一時停止します。もう一度押すと、再開します。

8 「CM スキップ」ボタン (36 ページ)
再生中に押すと押した回数×30秒先（最大4分まで）をサーチします。CM 部分をとばしたいときに便利です。

9 「録画 ●」ボタン（29、31 ページ)
録画を開始します。また録画中は、ワンタッチ録画を設定します。
＊ DVD-R で録画する場合は、ボタンを 2 回押して録画を開始します。ただし、DVD-R録画開始操作（106ページ参照）を自動（1 回押し）に設定している場合は除きます。

10 「前 |◀◀」ボタン（36 ページ)
タイトルやチャプター、トラックの頭出しをします。
設定画面などでは、前のページに戻ります。

「次 ▶▶|」ボタン（36 ページ)
タイトルやチャプター、トラックの頭出しをします。
設定画面などでは、次のページに進みます。

11 「G コード」ボタン（63、65 ページ)
G コード予約画面を呼び出します。
電源オフ時に押すと、本体表示窓での G コード予約入力モードになります。

12 「録画モード」ボタン (21 ページ)
録画モード切り換え画面を呼び出します。一度押すと現在の録画モードを表示し、表示中にさらに押すと録画モードを切り換えます。
ただし、録画中は切り換えることはできません。
VR モードの場合
SP（標準）と MN（マニュアル）とを切り換えます。
ビデオモードの場合
V1（1時間）と V2（2時間）を切り換えます。

13 **数字ボタン (28、40 ページ)**
DVDビデオ、ビデオモードのディスクの再生中はチャプターサーチ、VR モードのディスクの再生中はタイトルサーチの入力モードになります。停止中はチャンネルを選択します。

14 **「プログラム」ボタン（42 ページ)**
「シフト」ボタンを押した後に押して、順番を変えて再生するためのプログラムの作成画面を呼び出します。

15 **「リピート」ボタン（46 ページ)**
「シフト」ボタンを押した後に押して、繰り返し再生の種類を選択します。

16 **「TV 電源 ⏻」ボタン***
テレビの電源をオン / オフします。

17 **「入力切換」ボタン***
テレビの入力を切り換えます。

18 **「TV 音量」ボタン***
テレビの音量を調節します。

19 **「TV チャンネル」ボタン***
テレビのチャンネルを切り換えます。

20 **「オープン / クローズ ⏏」ボタン**
ディスクテーブルを開閉します。

21 **「設定 / 予約」ボタン**
録画予約、または本体、ディスク、および画質の設定画面に入るための設定 / 予約画面を呼び出します。

22 **「ナビマーク」ボタン（49 ページ)**
ディスクナビ画面に表示する映像をお好みの場面のものに変更します。

23 **「編集」ボタン（76、77 ページ)**
VRモードの場合は、停止中はシーン消去するタイトルを選んだ状態でディスクナビ画面を、再生中はシーン消去画面を呼び出します。
ビデオモードの場合、タイトル名をつけるタイトルを選んだ状態でタイトルリスト画面を呼び出します（停止中のみ)。

24 **ジョイスティック /「ENTER」ボタン**
設定項目を選択するときにカーソルを上下左右に動かします。押すと、選択した項目を決定します。

25 **ジョグモードインジケーター (39 ページ)**
ジョグダイヤルの機能がコマ送りになっているときに点灯します。

26 **「ジョグモード」ボタン (39 ページ)**
ジョグダイヤルの機能をコマ送りに切り換えます。コマ送りモードになるとジョグモードインジケーターが点灯します。

27 **「リターン」ボタン**
ひとつ前の画面、またはひとつ前の階層に戻ります。

28 **「停止 ■」ボタン**
録画、再生を終了します。

29 **「再生 ►」ボタン**
再生を開始します。

30 **「チャンネル」ボタン**
本機のチャンネルを切り換えます。

31 **「入力切換」ボタン**
本機の外部入力を切り換えます。

32 **「サーチモード」ボタン（40 ページ)**
サーチの種類を選択します。

33 **「クリアー C」ボタン**
各種設定を取り消します。

34 **「- /- -」ボタン**
停止中に押すと、チャンネルの 2 桁入力モードに切り換えられます。約 5 秒間で入力モードは解除されます。
例）12 チャンネルのとき、-/-- 1 2 と押します。

35 **「アングル」ボタン（47 ページ)**
マルチアングルディスクを再生しているとき、押すごとにアングルを切り換えられます。「シフト」ボタンを押したあとで一度押すと現在の状態を表示し、表示中さらに、「シフト」ボタンを押したあとで押すと切り換わります。

36 **2 点間リピート「A-B」ボタン (46 ページ)**
2 点間リピートを設定します。「シフト」ボタンを押してから、押してください。

37 **「画面表示」ボタン（55 ページ)**
ディスクの情報を見るときに押します。

38 **「シフト」ボタン**
「プログラム」・「リピート」・「A-B」・「アングル」ボタンを押す前に押します。

39 **「字幕」ボタン（47 ページ)**
複数の字幕が記録されているディスクを再生しているとき、押すごとに字幕を切り換えられます。一度押すと現在の状態を表示し、表示中さらに押すと切り換わります。

40 **「音声」ボタン（48 ページ)**
音声を切り換えます。一度押すと現在の状態を表示し、表示中さらに押すと切り換わります。

41 **「トップメニュー」ボタン**
DVD ビデオの最上層のメニューを呼び出します。
ビデオモードのディスクの場合、タイトルリスト画面を呼び出します。

42 **「メニュー」ボタン**
DVD ビデオのメニューを呼び出します。
ビデオモードのディスクの場合、タイトルリスト画面を呼び出します。

＊ 16、17、18、19 は、リモコンにテレビのメーカーを設定してからお使いください。(「接続と設定」/34 ページ参照)

基礎編／準備

使用できるディスクについて

- 下記に表示されているマークは、ディスクまたはディスクジャケットに表示されています。下表以外のディスクは使用できません。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 本機は、下記のディスクをアダプターなしで再生・録画することができます。8cm アダプター（CD 用）はお使いにならないでください。

録画も再生もできるディスクの種類とマーク

ディスクの種類とマーク	大きさ / 再生・録画面	最大再生・録画時間
DVD-RW（再生 / 録画）		本機 VR モードで使用した場合：
DVD RW	12cm/ 片面　1 層	最大約 360 分（4.7GB）
DVD RW	8cm/ 片面　1 層	最大約 100 分（1.46GB）
DVD-R（再生 / 録画）		本機 V2 モードで使用した場合：
DVD R R4.7	12cm/ 片面　1 層	最大約 120 分（4.7GB）
	8cm/ 片面　1 層	最大約 30 分（1.46GB）

再生だけできるディスクの種類とマーク

DVDビデオ（市販またはレンタルなどで入手することができるディスク）

ビデオ CD

音楽用CD

CD-R

CD-RW

（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成された F-Disc(エフディスク）も再生することができます。(117 ページ)。

CD-R/CD-RW の再生について

本機は、音楽用のＣＤフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、使用するディスクがファイナライズ * されていないとき、または録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性、ディスクの傷・汚れ、本機のピックアップのレンズ汚れ / 結露などにより、再生できない場合があります。

* 詳しくは CD レコーダーの取扱説明書をお読み下さい。

DVD-R/DVD-RW について

- 本機で録画した DVD-RW(VR モード)は、RW COMPATIBLE の表記※1のあるDVD-RW対応プレーヤーで再生が可能です。ただし、ファイナライズを行う必要がある場合もありますので、DVD-RW対応プレーヤーで再生できない場合には、ファイナライズを行ってください。DVD-RW(VRモード)では、本機でファイナライズしたあとも、通常通り、録画・編集操作を行うことができます。

※ 1

RW COMPATIBLE

これは、DVD レコーダーで VR モード(ビデオレコーディングフォーマット)記録されたDVD-RWが再生できる機能を示します。本機で録画したDVD-RWは、この表記のある DVD プレーヤーで再生可能です。

VR モードで録画した DVD-RW は、下記のパイオニア製 DVD プレーヤーで再生が可能です。

DVD オーディオ / ビデオプレーヤー : DV-S838A/　DVD プレーヤー : DV-S737、DV-545/　液晶ディスプレイ付ポータブルDVDプレーヤー : PDV-LC20TV　/　ポータブルDVDプレーヤー　: PDV-20　（2001 年 6 月現在）

※ ディスクの記録状態、傷、汚れや DVD プレーヤーのピックアップの状態により、再生できない場合があります。

- 本機で録画したDVD-R・DVD-RW(ビデオモード)は、ファイナライズ（34 ページ参照）することで、DVD プレーヤーやカー DVD、DVD ビデオ対応のパソコンなどで再生※2 が可能になります。ただし一部のプレーヤーで再生しようとしたときに、以下のような動作を起こすことがあります。また、一度ファイナライズを行うと、新たな録画・編集の操作を行うことはできません。
  - ・ディスクを受け付けない。
  - ・再生画面にマクロブロック(モザイク状の画像)が多く発生する。
  - ・音声・映像が途切れる。
  - ・再生が途中で停止する。

※ 正常に再生できないDVD プレーヤーの改修などについてはご容赦ください。

※ 2
DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000 年に DVD フォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応は DVD 再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブによっては DVD-R/RW を再生しないモデルがあります。
ビデオモードで録画したDVD-R/DVD-RWディスクは、下記のパイオニア製 DVD プレーヤー、カー DVD で再生が可能です。

DV-7、DVL-9、DV-K800、DVK-1000、DV-F21、DVK-900、DV-S9、DV-505、DVL-909、DV-515、DVL-919、DV-S5、DVL-K88、DV-525、HTZ-7、PDV-10、PDV-10-SW、PDV-LC10、DV-S6D、DV-S10A、DV-535、DV-545、DV-343、DV-636D、DV-S737、DV-S838A、DV-AX10、HTZ-55DV、PDV-20、PDV-LC20TV、DVL-H9、DV-K102、DV-K301C（以上DVD プレーヤー)、SDV-P7、AVX-P7DV、AVIC-H09（以上カー DVD）　（2001 年 6 月現在）

※ ピックアップの状態やご使用のディスクとプレーヤーの相性の問題により、上記モデルでも再生できない場合があります。

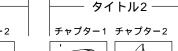
再生互換の詳細は、下記弊社ホームページをご覧いただくか、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

http://www.pioneer.co.jp/dvdld/oshirase.html

- 本機で録画したDVD-RW(VRモード・ビデオモードとも)は、初期化(112 ページ参照)することで繰り返し使用できます。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVD ビデオの映画ソフトなどでは、ふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように 1 曲が 1 タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

- **DVD-RW に VR モードで録画した場合**
  １回の録画が１タイトル（＝１チャプター）となります。ただし録画の途中で一時停止をしたり、編集操作でシーンを消去したりすると、チャプターマーク（区切り）が自動で入ります。また録画・再生中に、好みの場面にチャプターマークを入れることもできます。（ 49 ページ参照）
- **DVD-R または DVD-RW にビデオモードで録画した場合**
  1 回の録画が 1 タイトルとなり、自動で 3 分ごとにチャプターが区切られます。チャプターを区切る間隔は「5 分」・「10 分」・「区切りなし」に変更できます（106 ページ参照）が、好みの場面で区切ることはできません。

トラックについて

CD やビデオ CD では、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

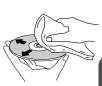
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4

ディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、録画や再生ができなくなることがあります。その場合、付属のクリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。なお、付属のクリーニングクロスは、繰り返し洗濯してご使用いただけます。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤なども使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、録画・再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」（118 ページ参照）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。**市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。**

ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると録画や再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

ディスクの持ちかた

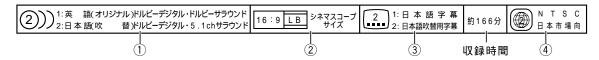
両手で持つ場合

片手で持つ場合

基礎編／準備

DVD ビデオのディスクジャケット表記について

DVD ビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVDビデオ（DVD-VIDEO）のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている音声の数と種類・音声トラック方式を示しています（音声の切り換えは 48 ページを参照してください）。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

メモ

DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビーデジタル* とは..

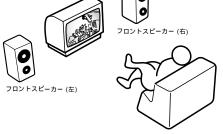
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5 つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。本機をドルビーデジタル対応のAVアンプなどと接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

DTS** とは..

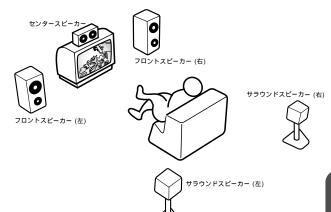
DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1ch のデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応のAVアンプなどと接続すると、DTS デジタル・サラウンドで記録された DVD ソフトも、ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトと同様に 5.1ch で音声を楽しむことができます。

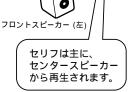
リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

● ステレオ再生とは..
左右 2 つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD（ステレオ 2chで録音されています）は、5 本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

DVDビデオのディスクジャケット表記について

● ドルビーサラウンド再生とは..

ソフトのパッケージにドルビーサラウンド（DOLBY SURROUND）と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。
ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音（モノラル）で再生されます。

● ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは..

ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

② 再生可能なテレビ画面サイズや見えかたを示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます（接続と設定の20ページ参照）。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています（字幕の切り換えは47ページを参照してください）。
DVDビデオでは最大32種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの地域番号（リージョンナンバー）です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンナンバー）が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が2番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます（47ページ参照）。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

** DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。

録画の前にかならずお読みください

CD-R/CD-RWは、本機では録音できません。

録画について

- 大切な録画の場合には、DVD-RW（VRモード）でかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やディスクの不都合によって、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに付随する損害について、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。
- ビデオモードで録画した場合は、編集操作が制限されます。

DVD-RW、DVD-Rの各ディスクについて
本機では、録画用としてDVD-RW/DVD-Rを使用します。DVD-RW/DVD-Rはホコリや指紋、特に傷などに敏感です。傷などがつくと録画できなくなったり、録画した大事なデータを再生できなくなったりする場合がありますので、取り扱いには十分に注意し、大切に保管してください。

外部BSデジタルチューナーなどから本機へタイマー予約録画する場合のご注意

- 外部BSデジタルチューナーなどのIrシステムを利用してDVD-Rにタイマー予約録画をする場合は、106ページを参照して、録画開始操作を自動（1回押し）に設定してください。（Irシステムとは、外部BSデジタルチューナーなどから赤外線を使って録画機器を制御するシステムです。Irシステムの詳しい説明につきましては、外部BSデジタルチューナーなどお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。）

ビデオモード（DVD-R/DVD-RW）で録画するときのご注意

ビデオモード（DVD-R/DVD-RW）で録画するときは、下記の内容をお読みになってから操作してください。

- DVD-RWへのビデオモード録画には、Ver1.1以降のディスクを使用してください。
- DVD-RWをビデオモードで使用するには、最初にディスクをビデオモードで初期化してください。詳しくは、ディスク設定の「DVD-RWをビデオモードで初期化する」（112ページ）をお読みください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズ操作（34ページ）を行うまでは残りの時間を使って追加録画を行うことができますが、空き時間を録画前の状態に戻したり、上書き録画をしたりすることはできません（DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときに限り空き時間が増えます）。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、主音声または副音声のどちらで記録するかをあらかじめ選んでください。（102ページ）
  同時に2音声を記録することはできません。
- **30秒単位で録画するため、録画を停止した場面のあともしばらく映像が録画されます。**
- DVD-Rに録画するときは、［録画］ボタンを2回押して録画を開始します。テレビ画面の表示が「録画準備中です。」から「録画ボタンを押してください」に変わってから、2回目のボタンを押します。（録画開始の操作方法は変更することができます。106ページ参照）
- 編集の「タイトル消去」は、不要なタイトルを表示しないようにする機能です。ディスク内の空き時間は増えませんのでご注意ください（DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときに限り空き時間が増えます）。

ディスクと記録方式

ディスクの種類	フォーマットの種類	記録方式	機能
DVD-VIDEO	ビデオフォーマット	-	再生のみ
DVD-RW（Ver1.0）	ビデオレコーディングフォーマット	VRモード	再生・録画・フル編集（プレイリスト／オリジナルの編集）
DVD-RW（Ver1.1）	ビデオレコーディングフォーマット（初期状態）	VRモード	再生・録画・フル編集（プレイリスト／オリジナルの編集）
	↑↓ビデオモード（ディスク設定画面から初期化（112ページ）を行うことでモード変更が可能です）※記録内容は全て消去されます		
	ビデオフォーマット※2	ビデオモード※1	再生・録画（一部除く）・一部編集（ビデオモードでの編集）
DVD-R	ビデオフォーマット	ビデオモード※1	再生・録画（一部除く）・一部編集（ビデオモードでの編集）

※1 ビデオモード：ファイナライズ後は他プレーヤーで再生が可能です。
※2 DVD-RWへのビデオフォーマットでの録画は、Ver1.1以降でのみ可能です。
Ver1.0のDVD-RWへの録画は、VRフォーマットのみとなります。

録画できない映像について

● **録画禁止信号が入っている映像は、録画することができません。**

例）・DVD ビデオ
・CS 放送のペイ・パー・ビューなど

● 本機では､｢1 回だけ録画可能｣の番組は、DVD-RW Ver 1.1 CPRM 対応のディスクを使用して、VR モードでしか録画できません。
● 録画中の番組の途中から録画禁止信号が入っていた場合、その時点で録画が一時停止状態になります。録画禁止信号がなくなると再び録画を開始しますが、録画禁止信号が入っている部分の映像は録画されません。このような場合は画面に、

録画禁止の映像がありました。
ディスクを取り出すと、この表示は消えます。

と表示されますので、 一度ディスクを取り出して表示を消してください（それ以外の操作では表示は消えません)。

BS デジタル放送で送られているコピーコントロール情報について

BSデジタル放送で送られているコピーコントロール情報には､｢録画自由｣｢1回だけ録画可能｣｢録画禁止｣の3種類があります。この情報は著作権保護を目的としたものです。
BS デジタル放送で送られているコピーコントロール情報に対して、本機では以下のような動作になります。

BS デジタル放送で送られているコピーコントロール情報の種類	本機での録画の可否
｢録画自由｣ 画面表示されません。*1	**VR モード（DVD-RW）とビデオモード（DVD-R/DVD-RW）のどちらも録画･再生が可能です。** ※ VR モード、ビデオモードについては「DVD レコーダーマガジン」をご覧ください。
｢1 回だけ録画可能｣ 「一回録画可」と表示されます。*1	**VR モード（DVD-RW Ver1.1 CPRM 対応）でのみ録画･再生が可能です。** ※ ただし､このディスクは本機でのみ再生が可能です｡他のDVDプレーヤー(DVD-RW対応プレーヤーを含む)や DVD レコーダーでは再生できません。
｢録画禁止｣ 「録画禁止」と表示されます。*1	**VR モード（DVD-RW）とビデオモード（DVD-R/DVD-RW）のどちらも録画できません。**

● 録画する番組のコピーコントロール情報が不明な場合は、DVD-RW Ver 1.1 CPRM 対応のディスクを使用して、VR モードでの録画をおすすめします。

*1 コピーコントロール情報の表示方法については、55 ページを参照してください。

ディスクの空き時間を増やすには

VR モードの場合、録画したオリジナルタイトルの消去（32～33 ページ）やシーン消去（82 ページ参照)、チャプター消去（88 ページ参照）でディスクの空き時間を増やすことができます。不要な部分を消去することで１枚のディスクでも繰り返し録画を行うことができ、画質も劣化することがありません。ディスクの空き時間は、本機にディスクをセットしたときやディスク情報を表示（21 ページ参照）したときに知ることができます。

著作権について

● あなたが録画･録音したものは､個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
● 本機には､マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された､著作権保護技術を搭載しています｡この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり､同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています｡解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
● 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
● 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており､このようなディスクは再生することができません。

【お知らせ】

この商品の価格には､｢私的録画補償金｣が含まれております。補償金は､著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052 東京都港区赤坂５丁目３番６号
赤坂メディアビル
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

録画モード（録画時間）について

VR モード（DVD-RW）の場合

録画するときの画質と録画できる時間とを録画モードで決めることができます。録画モードには「SP」と「MN」とがあります。各モードの録画時間は、12cm（4.7GB）の DVD-RW を使用したときの数値です。

● **SP（標準モード）－標準となる録画モードです。**
マニュアルモードの録画レベル 21 に相当します。ディスク 1 枚で約 120 分録画することができます。工場出荷時には、録画モードは「SP」に設定されています。

● **MN（マニュアルモード）－お好みの録画レベルが設定できる録画モードです。**
出荷時の設定は録画レベル 9 で、この場合、ディスク 1 枚で約 240 分録画することができます。録画レベルを変更すると、録画時間を長くしたり、より高画質で録画したりすることができます。
また、タイマー予約録画時は、マニュアルモードの録画レベルを予約ごとに設定することもできます。

MN（マニュアルモード）時の録画レベル

「画質の良し悪し」と「録画時間」との関係から以下のようになっています。
※ もっとも高画質のレベル32では録画時間が短くなります。それに対してレベル1では画質は下がりますが、長時間の録画が可能です。

※ **DVD での録画は、VR モードの一部の録画レベルで録画する場合とビデオモードで録画する場合を除き、VBR（可変ビットレート*1）を使用して行われるため、映像によって録画時間が変わります。録画時間は目安としてお考えください。**

※ **DV 端子に接続されている機器の映像は、レベル 1 ～レベル 8 で録画することはできません。レベル 1 ～レベル 8 が設定されている状態で DV 端子からの映像を録画しようとした場合には、レベル 9 で録画されます。**

※ **レベル 32 に設定すると、音声がリニア PCM で記録されます。（DV 端子に接続されている機器の音声を記録する場合は除きます。）**
レベル 32 以外のモードでは、音声はドルビーデジタル 2ch にて記録されます。

注意

◆ 受信状態の悪いテレビ放送などのように録画する映像の画質が悪い場合、上記よりも録画時間が短くなるときがあります。
◆ 録画されている時間と空き時間の合計は、表の値とは一致しないことがあります。
◆ 正確な録画時間は、録画が終了しないとわかりません。
◆ オリジナルでの編集を多く行ったディスクは、ディスク全体の録画可能時間が減ることがあります。
◆ 静止画のような映像や、音声のみなどを録画し続けた場合、設定している録画レベルの録画時間よりも実際の録画時間が長くなることがあります。

*1 Variable Bit Rate コントロールの略で、動きの早い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当て、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート（一定時間に転送する符号量）を可変で制御することです。いつも同じ符号量を割り当てる CBR（Constant Bit Rate）コントロールに比べ、同じ時間の映像を同じ容量を使って録画した場合、飛躍的に画質が向上します。

ビデオモード（DVD-R、DVD-RW）の場合

ビデオモードでは、「V1（高画質）」または「V2（標準）」のどちらかの録画モードを選びます。「V1」ではディスク 1 枚で約 60 分、「V2」では約 120 分録画することができます。
本体設定として選択されている録画モードで、通常の録画だけでなく、タイマー予約録画や G コード予約録画も行われます。
録画する前には、V1 と V2 の画質を確認することをおすすめします（次ページ参照）。

● **V1（高画質）**
VR モードで録画するときの「MN32」の画質に、ほぼ相当します。

● **V2（標準）**
VR モードで録画するときの「SP」の画質に比べて、動きの速い場面などでマクロブロック（モザイク状の画像）が目立つことがあります。

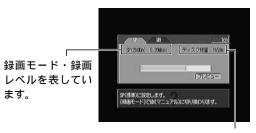
録画モードの変更

VR モードのとき

1. 録画モード

録画モードボタンを押します

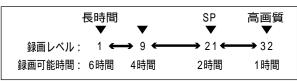
現在の録画モードが表示されます。
押すごとに、SP（標準モード）とMN（マニュアルモード）が切り換わり、しばらくすると決定されて終了します。

録画モード・録画レベルを表しています。

選んだモードでの録画可能時間を表しています。

MN（マニュアルモード）を選んだとき

ジョイスティックを左右に動かして、録画レベルを調整します。

前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタンを使用すると、録画レベルを以下のように変更できます。

	長時間		SP	高画質
	▼	▼	▼	▼
録画レベル：	1 ⟷	9 ⟷	21 ⟷	32
録画可能時間：	6時間	4時間	2時間	1時間

2.

選んだ録画モード・録画レベルの画質を確認したいときは

ジョイスティックで［プレビュー］を選んでから押します。

もう一度、ジョイスティック(ENTERボタン)を押すと、元の画面に戻ります。

ビデオモードのとき

1. 録画モード

録画モードボタンを押します

現在の録画モードが表示されます。
押すごとに、V1（高画質）とV2（標準）が切り換わり、しばらくすると決定されて終了します。

選んだモードでの録画可能時間を表しています。

2. 上 押す 下

選んだ録画モードの画質を確認したいときは

ジョイスティックで［プレビュー］を選んでから押します。
もう一度、ジョイスティック(ENTERボタン)を押すと、元の画面に戻ります。

ディスクの情報からディスク残量を知るには

VRモード(DVD-RW)またはファイナライズ前のビデオモード(DVD-R/DVD-RW)のディスクを本機にセットすると、ディスクの情報がテレビ画面に表示されます。本体表示窓には録画モード・レベルとディスク残量が表示されます。

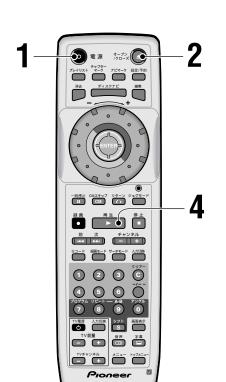
VR モードの場合

ディスクの情報ではディスク残量の他に、録画したタイトル数などを知ることができます。録画を行う前に確認しておくとよいでしょう。

- ディスク停止中に 画面表示 ボタンを２回押して表示することができます。（56 ページ参照）
- VR モードのディスクでは、オリジナルタイトル・プレイリストタイトルをそれぞれ「99」まで作成できます。ビデオモードのディスクでは「99」タイトルまで作成できます。
- チャプターは、１ディスク全体でオリジナル・プレイリストそれぞれ「999」まで作成可能です。

基礎編／準備

ディスクを再生する　DVD/ CD/ ビデオCD

本機をつないだテレビの入力切り換えを本機にします。

1. 電源（⏻）ボタンを押します

本機の電源が入ります。

2. オープン/クローズ（▲）ボタンを押します

ディスクテーブルが開きます。

3. ディスクテーブルのミゾに合わせてディスクを置きます

印刷面を上側に向けてセットします。
ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは15ページをご覧ください。

4. 再生（▶）ボタンを押します

ディスクテーブルが閉まり、再生を開始します。

注意

◆ DTS音声で収録されたDVDでDTS音声を選択すると、アナログ音声出力からは音が出ません。
◆ DTS音声で収録されたCDを再生すると、アナログ音声出力から異音が出ることがあります。スピーカーを破損したり耳に悪影響をおよぼす恐れがありますので、DTS音声を楽しむときには、デジタル音声ケーブルでDTS対応AVアンプなどと接続してください。
◆ DTS音声で収録されたCDを再生する場合には、繰り返し音声ボタンを押して、ステレオを選んでください。

メニュー画面が表示されたとき

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。
操作のしかたはディスクによって違います。ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

DVDのメニュー画面の操作

カーソルを移動する ....ジョイスティック上下左右
選択項目の決定 .... ジョイスティック(ENTERボタン)を押す
トップメニュー画面を表示する .... トップメニューボタン
メニュー画面を表示する .... メニューボタン
前の画面に戻る .... リターン(↶)ボタン
メニューの番号を選ぶ .... 数字ボタン *

* 指定したい数字のボタンを押したあと、ジョイスティックを押します。
12を選ぶには、①、② と押したあと、ジョイスティックを押します。

Main Menu
1 Highlight Clips
2 Chapter List
3 予告編
4 字幕
5 音声
6 本編Start

決定

ジョイスティックを操作して、項目を選んでから押します。
選択項目の番号と同じ数字ボタン * で選ぶことができるディスクもあります。

ビデオ CD のメニュー画面の操作

リターン　前　次

メニュー画面を表示する
.... リターン(↶)ボタン
前のページに戻る .... 前(⏮)ボタン
次のページに進む .... 次(⏭)ボタン
項目を選んで決定する .... 数字ボタン *

* 指定したい数字のボタンを押したあと、ジョイスティックを押します。
12 を選ぶには、①、②と押したあと、ジョイスティックを押します。

選択項目の番号と同じ数字ボタン * で選びます。
メニュー画面が 2 ページ以上ある場合は、前(⏮)/次(⏭)ボタンを押してページを戻したり、進めたりします。

メニュー画面を表示させたり消したりするには

トップメニュー　メニュー

DVD では、再生中にメニューボタンまたはトップメニューボタンを押します

ビデオ CD では、PBC 再生中にリターンボタンを押します

ただし、ディスクによって、メニュー画面の表示のしかたは異なります。

メモ

▼ PBC 再生とは、プレイバックコントロール再生のことで、ビデオCDをメニュー画面に従って再生することをいいます。

ビデオ CD でメニュー画面を出さずに再生するには

停止中に、前(⏮)/次(⏭)ボタンを押して、再生したいトラックを選んでから再生を開始します。
サーチボタンを押してから、数字ボタンで再生したいトラックの番号を入力したあと、ジョイスティックを押しても再生することができます。

ディスクナビで映像を確認してから再生する

VRモード
DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

VRモードで録画または編集したディスクを再生するときはディスクナビが便利です。ディスクナビでは、各タイトルの最初の映像が一覧表示されます※ので、再生するタイトルを視覚的に選ぶことができます。

※ 好みの場面の映像に変更することもできます（49ページ参照）。

1. VRモードで録画されたディスクをセットします

2. ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ画面が表示されます。

ディスクナビ

選択した画面のタイトル名が表示されます。画面表示ボタンを押すと、そのタイトルの情報が表示されます。

「オリジナル」か「プレイリスト」を表示します。選択されている方のタグが前になります。

ジョイスティックを操作して再生を選択します

ページを表示します。前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタンで、前後のページに移動します。

メモ ディスクナビ画面には、再生以外にもいろいろな機能があります。詳しくは、76ページを参照してください。

3. プレイリストボタンを押して、「オリジナル」か「プレイリスト」かを選びます

プレイリスト

オリジナルとプレイリストについては、3ページまたは、別冊の「DVDレコーダーマガジン」をご覧ください。

4. ジョイスティックで、再生するタイトルの映像を選びます

上 左 右 下

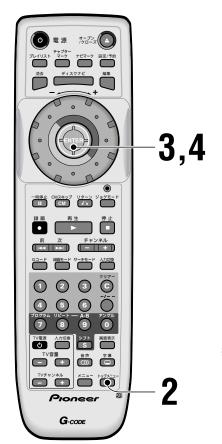
5. ジョイスティック(ENTERボタン)を押して、選択したタイトルから再生します

決定

注意

◆ 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬再生が一時停止したように見えます。

タイトル名を選んで再生する

ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

ビデオモードで再生するときは、トップメニューボタンを押すと、タイトル名が画面上で一覧表示されますので、タイトル名を選んで再生することができます。
ファイナライズ（34 ページ参照）を行うと新たなメニュー画面が自動的に作成されるため、ファイナライズ前とファイナライズ後では表示される画面が異なります。

1. ビデオモードで録画されたディスクをセットします

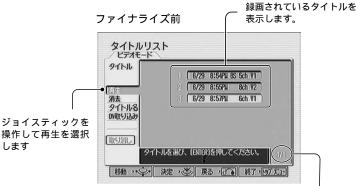
2. トップメニューボタンを押します

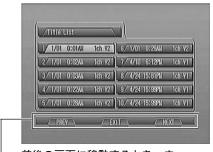
トップメニュー

タイトルリスト画面（メニュー画面）が表示されます。メニューボタンでも操作できます。

ファイナライズ前

録画されているタイトルを表示します。

ジョイスティックを操作して再生を選択します

ページを表示します。前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタンで、前後のページに移動します。

ファイナライズ後

前後の画面に移動するとき、または終了するときに使用します。

3. ジョイスティックで、再生するタイトル名を選びます

4. ジョイスティック(ENTERボタン)を押して、選択したタイトルを再生します

決定

再生を一時停止／停止する

DVD/ CD/ビデオ CD

再生を一時停止する（静止画再生）

一時停止

再生中に、一時停止（II）ボタンを押します

テレビ画面に「再生一時停止」と表示されます。

一時停止

再　生

もう一度、一時停止（II）ボタンか再生（▶）ボタンを押すと、再生を再開します

一時停止が解除され、再生が再開します。

メモ

▼ 静止画面の映像の見え方を変えるときは、本体設定の「ポーズモード」を変更してください。（101ページ参照）

再生を停止する

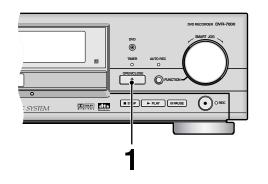
再生中に、停止（■）ボタンを押します

再生が停止します。このとき、テレビ画面に「リジューム」と表示され、停止した場所や再生時の設定を記憶します（リジューム機能）。このあと、再生（▶）ボタンを押すと、その場所から記憶した設定で再生を始めます。
ディスクを入れたまま本機の電源を切っても記憶されていますが、ディスクを取り出すと、記憶は消去されます。

メモ

▼ すぐに記憶を消去したい場合は、停止中にもう一度、停止(■)ボタンを押します。このとき、テレビ画面に「リジュームオフ」と表示されます。

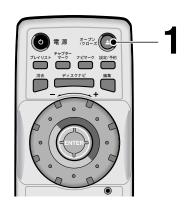
注意

◆ CD では、リジューム機能は働きません。
◆ DVD やビデオ CD でも、ディスクによってはリジューム機能が働かないことがあります。
◆ 以下の操作を行うと、記憶している内容は消去されます。
・オリジナルとプレイリストの停止時と異なるものへの切り換え
・本体設定の変更
・録画
・消去などの編集操作
・ディスクの取り出し
・ファイナライズ（ビデオモードのみ）
・「出荷時の設定に戻す」（118 ページ）
また、コンセントを抜いたまま長時間放置しておくと消去される場合があります。

ディスクを取り出す

1. **オープン/クローズ (▲) ボタンを押します**

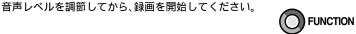
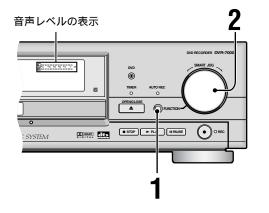
オープン
/クローズ

ディスクを取り出すと、停止した場所や設定の記憶は消去されます。

2. **ディスクを取り出します**

音声レベルを調節するには

録画するときは、本体表示窓の音声レベルを確認してから操作してください。
音声レベルが大きすぎたり小さすぎたりするときは、音声レベルを調節してから、録画を開始してください。

1. **本体表示窓に"REC LEVEL?"が表示されるまで、ファンクションボタンを押します**

FUNCTION

音声レベルの表示

2. **スマートジョグを回して、音声レベルを調節します**

音声レベルのピークが、0dBを越えないように調節します。0dBを越えて赤く点灯した場合は入力オーバーですので、音声レベルを下げてください。

赤く点灯するとレベルオーバーです

テレビ番組を録画する

1. 電源（⏻）ボタンを押します

2. オープン / クローズ（▲）ボタンを押します

ディスクテーブルが開きます。

3. ディスクテーブルのミゾに合わせてディスクを置きます

印刷面を上側に向けてセットします。

ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。

その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは15ページをご覧ください。

4. オープン / クローズ（▲）ボタンを押します

オープン
/クローズ

ディスクテーブルが閉まります。

一度も録画していないDVD-RWをセットした場合は、VRフォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

DVD-RWをビデオモードで録画する場合は....

112ページの**「DVD-RWをビデオモードで初期化する」**を参照して、あらかじめビデオモードに設定しておきます。

録画モードについては、別冊の「DVDレコーダーマガジン」または本編の**「基礎知識」**20～21ページをご覧ください。

5. リモコンのチャンネルボタンで、録画したいチャンネルに合わせます

停止中は、リモコンの数字ボタンを押して、直接チャンネルを切り換えることができます。

3ch → を押します。

12ch → –/– – 1 2 を押します。

本体でのチャンネルの合わせ方は、30ページを参照してください。

録画するチャンネルを確認するには、本体の表示窓内のチャンネル表示を確認してください。ここに表示されているチャンネルの番組が録画されます。

録画中に裏番組を見るには

録画中はテレビのチャンネルを変えて裏番組を見ることができます。テレビの入力切り換えを「テレビ」にした後、チャンネルを変えます。また、テレビの電源を切ることもできます。

本機のリモコンでテレビの操作をするときは、あらかじめテレビのメーカーを本機のリモコンに設定する必要があります。(「接続と設定」/34ページ参照)

基本編

6. 本体表示窓で音声レベルを確認します

音声レベルが大きすぎたり小さすぎたりするときは、27ページを参照して調節します。

7. 録画モードボタンを押して、録画モード（録画時間と画質）を切り換えます

録画モード

一度押すと、本体表示窓およびテレビ画面に現在の状態が表示されます。表示中に押すと、押すごとにモードが切りかわります（詳しくは、21ページを参照してください）。

- **VRモードのとき**　SP ←→ MN
  「MN」の場合、表示中にジョイステックを左右に操作すると、「MN」の録画レベルを変更することができます。
- **ビデオモードのとき**　V1 ←→ V2

本体での録画モードの切り換え方は、30ページを参照してください。

8. 録画（●）ボタンを押して、録画します

録 画

DVD-RWの場合は、テレビ画面に「録画」と表示され、録画を開始します。
DVD-Rの場合は、テレビ画面に「録画準備中です。」と表示されます。数秒後に「録画ボタンを押してください。」と表示されたら、もう一度 **録画(●)ボタン** を押し、録画を開始します。（録画開始の操作方法は、変更することができます。）
録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。
録画時間を決めたい場合は、ワンタッチ録画（31ページ参照）が便利です。

録画を一時停止するには

一時停止

一時停止（II）ボタンを押します

テレビ画面に「録画一時停止」と表示されます。
VRモードのディスクの場合、録画中に一時停止すると、その場面に自動的にチャプター区切りが入ります。

一時停止

録 画

もう一度、一時停止（II）ボタンか録画ボタンを押すと、録画を再開します

一時停止が解除され、録画が再開します。

録画を停止するには

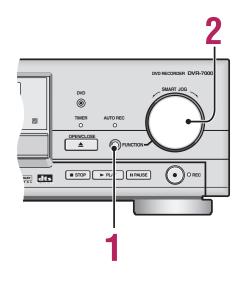
停止

停止（■）ボタンを押します

ディスクを取り出す前には、必ず録画を停止してください。また、テレビ画面の **「しばらくお待ちください」** の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

録画

メモ

- ビデオモードの場合、30秒単位で録画をするため、録画を停止した場面のあともしばらく映像が録画されます。また、録画一時停止から停止した場合は、しばらく黒い映像が録画されます。
- 録画したタイトルが不要になったときは、タイトルを消去してください（32～33ページ参照）。VRモードで録画した場合、消去したタイトルの分だけ、ディスク残量が増えます。ビデオモードで録画した場合、タイトルは見えなくなりますが、ディスク残量は増えません（DVD-RWで最後に録画したタイトルを消去したときに限りディスク残量が増えます）。

本体でチャンネルを切り換えるには

本体でチャンネルを切り換える場合は、以下の手順で操作してください。

1. FUNCTION

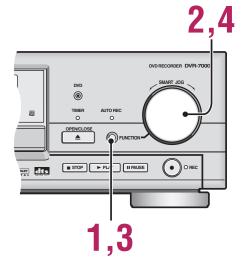
停止中、本体表示窓に"CHANNEL?"が表示されるまで、ファンクションボタンを押します

2. SMART JOG

スマートジョグを回して、チャンネルを切り換えます

本体で録画モードを切り換えるには

1. FUNCTION

停止中、本体表示窓に"REC MODE?"が表示されるまでファンクションボタンを押します

2. SMART JOG

スマートジョグを回して、録画モードを切り換えます

- VR モードのとき　SP ←→ MN
- ビデオモードのとき　V1 ←→ V2

3. FUNCTION

MNモードの場合は、もう一度ファンクションボタンを押して、録画レートレベルの調整画面にします

"MN LEVEL?"に続いて、現在設定されている録画レートレベルが表示されます。

4. SMART JOG

スマートジョグを回して、録画レートレベルを調整します

録画時間を設定する（ワンタッチ録画）

録画ボタンを押す回数によって、いまから 30 分だけ、いまから 60 分だけ録画するというように､30分単位で録画時間を簡単にセットすることができます。ただし、ディスクの残り時間が足りない場合は、設定した時間の録画ができませんのでご注意ください。

1. 録画までの操作を行います

録画の操作 **1**～**7** と同様です。（28 ～ 29 ページ参照）

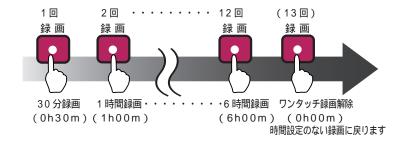
録 画

DVD-Rの場合、続いて録画（●）ボタンを押します

テレビ画面に「録画ボタンを押してください。」と表示されてから、手順 **2** に進みます。

2. 録画したい時間に合わせて、録画（●）ボタンを続けて押します

録 画

テレビ画面に「ワンタッチ録画」と録画の時間が表示されます。

- ▼ 最大 6 時間まで設定できます。
- ▼ ワンタッチ録画で指定した時間が終了すると、自動的に電源がオフになります。

3秒以上経ってからボタンを押した場合､通常の録画に戻ります（ワンタッチ録画解除）。ワンタッチ録画を解除したあとも、再びワンタッチ録画を設定することができます。

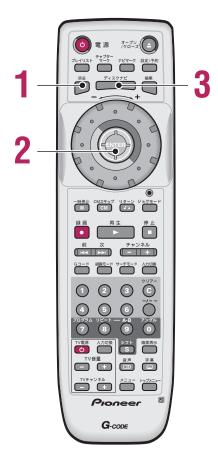
ワンタッチ録画を解除するには

録 画

ワンタッチ録画中に録画ボタンを押します

「ワンタッチ録画 0h00m」が表示され、時間設定のない録画になります。
停止するまで録画は続きます。

オリジナルやプレイリストのタイトルを消去する

プレイリストやオリジナルからタイトルを消去します。オリジナルからタイトルを消去すると、ディスクの空き時間が増えますので、ディスクがいっぱいになったら不要なタイトルを消去してください。これにより繰り返し録画できるようになります。

1. 消去ボタンを押してディスクナビ画面を表示させます

消去

オリジナルとプレイリスト画面を切り換える場合は、プレイリストボタンを押します

オリジナル

プレイリスト

2. ジョイスティックで、消去したいタイトルを選んでから押します

上
左
右
下
押す

注意 オリジナルのタイトルを消去した場合は、録画した映像そのものが、ディスクから完全に消去されます。
また、オリジナルを消去すると、消去したタイトルがプレイリストで使用されていた場合、プレイリストからも同様に消去されます。この場合プレイリストを再生したときに、その部分の映像が無くなります。

3. タイトルが消去されます。終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

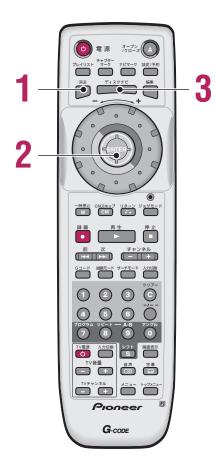
メモ

▼ 本機には、直前に行った編集操作を取り消して1つ前の状態に戻す機能があります（98ページ参照）。間違えて大切なタイトルを消去してしまったときには、すぐにこの機能を使えば、もとに戻すことができます。

オリジナルの全タイトルを消去する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

ディスク内のすべてのオリジナルタイトルを消去します。オリジナルがなくなるため、プレイリストタイトルも全て消去されます。
初期化（111 ページ参照）とは以下の点が異なります。

- タイトル保護されているタイトルは消去しません。
- ディスク予約は消去しません。
- ディスク名は消去しません。

1. 停止中に消去ボタンを押して、オリジナルのディスクナビ画面を表示させます

プレイリスト画面が表示されている場合は、プレイリストボタンを押して、オリジナルのディスクナビ画面に切り換えます。

2. オリジナルのディスクナビ画面でジョイスティックを操作し、「全消去」を選んでから押します

オリジナル・プレイリストの全てのタイトルが消去されます。

ディスクナビ画面では、すべての項目を表示することができません。**「全消去」**が表示されていない場合は、表示されるまでジョイスティックを下に動かしてください。

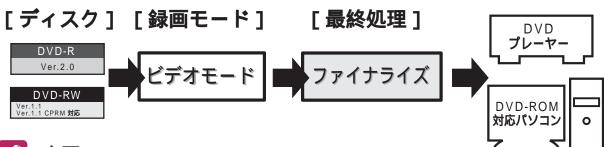
3. 終了するには、ディスクナビボタンを押します

メモ

▼ 本機には、直前に行った編集操作を取り消して1つ前の状態に戻す機能があります（98ページ参照）。間違えて大切なタイトルを消去してしまったときには、すぐにこの機能を使えば、もとに戻すことができます。

他の DVD プレーヤーで再生するには

本機で録画したディスクを他の DVD プレーヤーや DVD-ROM 対応のパソコンで再生するには、**DVD-R** や **DVD-RW (Ver1.1)** のディスクを**ビデオモード**で録画し、**ファイナライズ処理**する必要があります。

メモ

▼ VRモードで録画したディスクが他のDVD-RW対応プレーヤーで再生されない場合にも、ファイナライズ処理します。
▼ 通常の DVD-VIDEO プレーヤーは、VR モードのディスクの再生に対応していません。
▼ ビデオモードで録画したディスクでも、DVD プレーヤーによっては再生しないモデルがあります。

注意

ビデオモードで録画されたディスクは、ファイナライズすると、録画や編集作業ができなくなります。

ディスクをファイナライズする

ビデオモードで録画したディスクを他の DVD プレーヤーで再生する場合や、VR モードで録画したディスクが他の DVD-RW 対応プレーヤーで再生されない場合に、ファイナライズを行って再生できるようにします。

注意

◆ 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
◆ 本機でファイナライズした VR モードのディスクは、ファイナライズ後も通常通り録画や編集などを行うことができます。
◆ 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクには、ディスクのメニューが作成されます。ファイナライズした後のディスクでは、録画や編集をすることはできません。

1. **ファイナライズしたいディスクを、本機にセットします**

2. 設定/予約 **停止中に設定/予約ボタンを押して、設定・予約画面を表示させます**

メモ

他機でファイナライズされた DVD-RW（VR モード）をセットすると、[ファイナライズ解除してください] と表示されることがあります。このときには、ディスク設定画面の **[ファイナライズ解除]** を行うと、本機で録画や編集が可能になります。

3. ジョイスティックを下に動かして、「ディスク設定」を選びます

4. ジョイスティック(ENTERボタン)を押します

ディスク設定画面が表示されます。

5. ジョイスティックを下に動かして、「ファイナライズ」を選んでから押します

6. ジョイスティックを右に動かして、「開始」を選んでから押します

ファイナライズを開始します。

メモ

▼ ディスクの種類および録画されている時間・タイトル数によって所要時間 * には幅があります。
途中でファイナライズを中止する場合は、ジョイスティック(ENTER ボタン)を押します。
ただし、ファイナライズ終了約4分前になると中止ボタンが消え、中止できなくなります。また、中止ボタンが最初から表示されていない場合も、中止できません。

* VR モードのディスクで数分〜1 時間、ビデオモードのディスクで数分〜20分くらいです。未録画部分が多いほどファイナライズに時間がかかります。

見たい項目にスキップする　DVD/ CD/ビデオCD

次のチャプター（場面）/ トラック（曲）へ進む

再生中に、次（▶▶|）ボタンを押します

一回押すと、次のチャプター（場面）/ トラック（曲）の始めに進みます。

前のチャプター（場面）/ トラック（曲）へ戻る

前

再生中に、前（|◀◀）ボタンを押します

一回押すと、再生中のチャプター（場面）/ トラック（曲）の初めに戻ります。
続けて前（|◀◀）ボタンを押すと、前のチャプター（場面）/ トラック（曲）の初めに戻ります。

次のタイトル へ進む（VR モードで録画した DVD-RW）

次

再生中に、次（▶▶|）ボタンを約 2 秒間押し続けます

前のタイトル へ戻る（VR モードで録画した DVD-RW）

前

再生中に、前（|◀◀）ボタンを約 2 秒間押し続けます

再生中のタイトル の初めに戻ります。
そのまま押し続けると、前のタイトルの初めに戻ります。

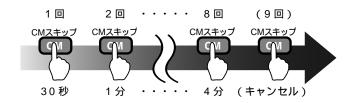
注意

◆ DVDビデオではディスクによってできないものがあります。

CMをとばして再生する（CM スキップ）　DVD/ビデオCD

録画した TV 番組などの CM を、再生中に簡単な操作でとばすことができます。一度に最大 4 分までとばすことができます。

CMスキップ
CM

再生中にとばしたい秒数にあわせて、CM スキップボタンを連続して押します

CM は、通常 1 本約 15 秒。1 回押しでCMを 2 本とばすことになります。

注意

◆ DVDビデオではディスクによってできないものがあります。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時には、CM スキップはできません。CM スキップを行うには PBC 再生を止めてください(23 ページ参照)。

速さを変えて再生する

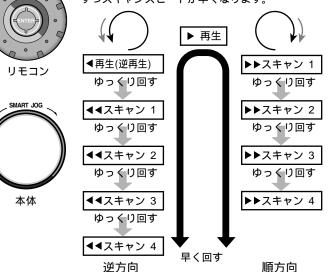
DVD/ CD/ビデオ CD

ジョグダイヤルを使って、再生する速度を様々に変えて楽しむことができます。速度を変える再生には「早送り / 早戻し（スキャン）」と「スロー再生」があります。このような特殊再生中には、字幕や音声は出力されません。

早送り / 早戻し（スキャン）

1. 本体で操作する場合は、本体表示窓に "PLAY" が表示されるまで、再生中にファンクションボタンを押します

2. 再生中に、ジョグダイヤルか本体のスマートジョグを回します

リモコンのジョグダイヤルの場合は、ゆっくり回すと 1 段階ずつスキャンのスピードが早くなり、素早くグルっと回すと最高速のスキャンスピードになります。
本体のスマートジョグの場合は、回すごとに 1 段階ずつスキャンスピードが早くなります。

画面に表示されるスキャンの数字が増えるほど、スキャンスピードは早くなります。
スキャンスピードは、DVD ビデオやビデオモードで録画されたディスクでは 3 までで、CD やビデオ CD では 2 までです。

スキャンさせる方向と逆に回すと・・・

リモコンのジョグダイヤルの場合は、ゆっくり回すと 1 段階ずつスキャンのスピードが遅くなり、素早くグルっと回すと通常の再生に戻ります。
本体のスマートジョグの場合は、回すごとに 1 段階ずつスキャンのスピードが遅くなります。

通常の再生に戻すには・・・

再生(▶)ボタンを押します。
リモコンのジョグダイヤルを現在再生している方向と逆方向へすばやく回しても、通常の再生に戻ります。

注意

- ▼ CD のスキャン中には、約 0.5 秒おきに音声が出力されます。
- ▼ ビデオ CD や CD では、逆再生をすることはできません。
- ▼ DVD ビデオでは、タイトルによってスキャンできない場合もあります。
- ▼ ディスクによっては、チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

スロー再生

1. 再生中に、一時停止(II)ボタンを押します。

一時停止

2. 本体で操作する場合は、本体表示窓に"PAUSE"が表示されるまで、ファンクションボタンを押します

FUNCTION

3. ジョグダイヤルか本体のスマートジョグを回します

ゆっくり回すと1段階ずつスロー再生のスピードが早くなり、素早くグルっと回すと最高速（1/2）のスロー再生スピードになります。
本体のスマートジョグの場合は、回すごとに1段階ずつスピードが早くなります。

リモコン

本体

画面に表示される数字は、スロー再生の速度を表します。

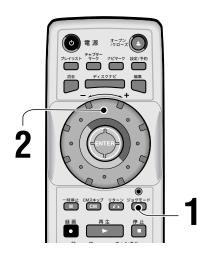
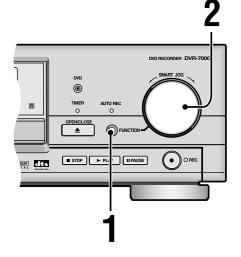
スロー再生させる方向と逆に回すと・・・

リモコンのジョグダイヤルの場合は、ゆっくり回すと1段階ずつスロー再生のスピードが遅くなり、素早くグルっと回すと一時停止に戻ります。
本体のスマートジョグの場合は、回すごとに1段階ずつスロー再生のスピードが遅くなります。

通常の再生に戻すには・・・

再生(▶)ボタンを押します。

注意

- ▼ ビデオCDでは、逆方向のスロー再生はできません。
- ▼ DVDビデオでは、タイトルによってスロー再生ができないものもあります。
- ▼ ディスクによっては、逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- ▼ 逆方向のスロー再生時は、通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- ▼ ディスクによっては、チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

コマ送り再生

リモコンで操作するとき

1.

再生中に、ジョグモードボタンを押します

ジョグモードインジケーターが点灯します。
もう一度押すと、ジョグモードは解除されます。

2.

ジョグダイヤルを回します

右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。
回す速度に合わせて、再生する速度もかわります。
回すのを止めると、再生一時停止になります。

本体で操作するとき

1.

本体表示窓に"STEP?"が表示されるまで、再生中にファンクションボタンを押します

2.

スマートジョグを回します

右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。
回す速度に合わせて、再生する速度もかわります。
回すのを止めると、再生一時停止になります。

通常の再生に戻すには

再生（▶）ボタンを押します。

注意

▼ ビデオ CD では、コマ戻しはできません。
▼ DVDビデオでは、タイトルによってコマ送り再生ができないものもあります。
▼ コマ戻ししたときには、通常の再生時より画質が落ちることがあります。
▼ ディスクによっては、チャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

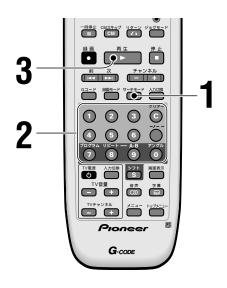
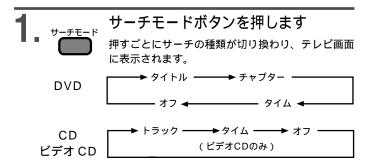
見たい / 聞きたい場所を探す　DVD/CD/ビデオCD

停止中または再生中に、見たい / 聞きたい場所を、以下の方法で簡単に探して再生することができます。

- DVD のタイトル（タイトルサーチ）
- DVD のチャプター（チャプターサーチ）
- ビデオCDまたはCDのトラック（トラックサーチ）
- 見たい / 聞きたい場所の時間（タイムサーチ）

※ DVD では、本体設定画面で「フレームサーチ」を「オン」にする（106 ページ参照）と、フレーム番号を指定してタイムサーチを行うことができます。また、再生一時停止中にディスクの情報を表示すると、フレーム番号も表示されます（55 ページ参照）。

1. サーチモードボタンを押します

押すごとにサーチの種類が切り換わり、テレビ画面に表示されます。

2. 数字ボタンで、見たい/聞きたい場所を入力します

タイトル、チャプター/トラックサーチのとき

指定したい数字のボタンを押します。
例えば 37 を選ぶには、③と⑦を押します。

タイムサーチのとき（CDではできません）

21分43秒を選ぶには、②、①、④、③と押します。
1時間14分を選ぶには、①、①、④、⓪、⓪と押します。

フレームを指定したタイムサーチで1分05秒12フレームを選ぶには、①、⓪、⑤、①、②と押します。

3. 再生(►)ボタンを押します

指定したタイトル、チャプター、トラックのはじめから再生します。タイムサーチのときは、指定した時間から再生します（フレームを指定したタイムサーチの場合には、再生一時停止状態になります。）

本体で操作する場合

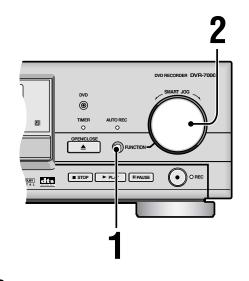
1. 再生中に、ファンクションボタンを押します

FUNCTION

DVDの再生中にタイトルを指定したいときは、本体表示窓に"TITLE?"を表示させ、チャプターを表示させたいときは、本体表示窓に "CHAPTER?" を表示させます。
CD またはビデオ CD の再生中は、"TRACK?" を表示させます。

2. スマートジョグを回して、見たい/聞きたい場所を入力します

SMART JOG

指定したタイトル、チャプター、トラックのはじめから再生します。

ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、再生中に数字ボタンと再生(►)ボタンを押すだけで、見たい/聞きたい場所を探して再生することができます。

DVDのとき

再生中に、数字ボタンでチャプターまたはタイトルの番号を入力します

指定したいチャプターまたはタイトルと、同じ数字のボタンを押します。
DVDビデオやビデオモードで録画されたディスクでは、チャプターサーチとなり、VRモードで録画されたディスクでは、タイトルサーチとなります。
例えば37を選ぶには、③と⑦を押してから、再生(►)ボタンを押します

CD/ビデオCDのとき

再生中に、数字ボタンでトラック番号を入力します

指定したいトラック番号と同じ数字のボタンを押します。
例えば37を選ぶには、③と⑦を押してから再生(►)ボタンを押します。

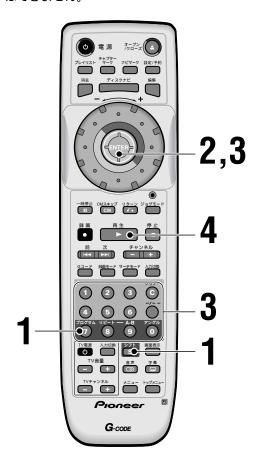
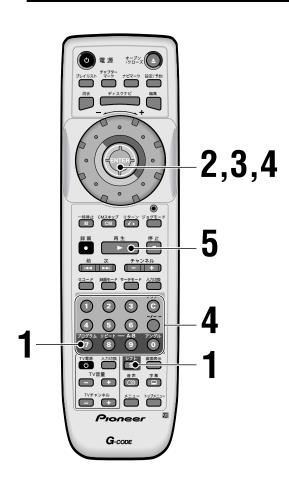
- ◆ ディスクによっては、メニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、メニューボタンを押してメニューを表示させて選択してください(22ページ参照)。
- ◆ ディスクによっては、サーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は、🚫が画面に表示されます。
- ◆ タイムサーチでは、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ◆ DVDビデオやビデオモードで録画されたディスクでは、停止中にタイムサーチすることはできません。
- ◆ CDでは、タイムサーチすることはできません。
- ◆ ビデオCDのPBC再生時には、メニューを使用したサーチしかできません。メニューを使用しないでトラックサーチをしたり、タイムサーチをする場合は、PBC再生を止めてください(23ページ参照)。
- ◆ 映像は、1秒間が30フレームで構成されています。そのため、フレーム番号は0～29となります。
- ◆ ディスクによっては、指定したフレームにサーチできないことがあります。また、コマ送り再生中にフレーム入力のタイムサーチを行うと、フレーム番号がとばされることがあります。

順番を変えて再生する（プログラム再生） DVD/ CD/ビデオCD

ＤＶＤのタイトルやチャプター、ビデオＣＤやＣＤのトラックを希望の順番に並べ替えて再生します。最大２４ステップまでプログラムできます。ただし **VR モードでは、プログラム再生はできません。**

メモ

▼ プログラム再生をしないで、プログラム入力画面を終了するには、シフトボタン押してから、プログラムボタン（7 ボタン）を押します。

▼ **エフディスクについて**
プログラム再生の機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクを、お客様のお好み順に再生することができます。また、プログラムメモリーをオンにすることにより、次に同じディスクを再生したときにも、自動的にその順番で再生することができます（45 ページ）。
再生のお好み順は、最大２４枚分、本体内に記憶することができます。

DVD のとき（VR モードで録画された DVD 以外）

タイトルをプログラム再生する

1. シフト S　プログラム 7

シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7 ボタン）を押します

プログラム画面が表示されます。

2. **ジョイスティックを右に動かして、プログラム入力画面に移動します**

3. 押す

プログラム再生したい順にタイトルの番号を数字ボタンで指定し、ジョイスティックを押します

指定したいタイトルと同じ数字のボタンを押してから、ジョイスティックを押します。

例えば３を選ぶには、③ を押し、ジョイスティックを押します。

4. 再生 ►

すべてのタイトルを入力し終わったら、再生（►）ボタンを押します

指定した順に再生を開始します。

チャプターをプログラム再生する

1. シフト S　プログラム 7

シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7 ボタン）を押します

プログラム画面が表示されます。

2. 下

ジョイスティックを下に動かして、[チャプター]を選びます

3. 上 左 右 下 押す

ジョイスティックでプログラム入力画面の最上段に移動させ、タイトル番号を変えます

指定したいタイトルと同じ数字のボタンを押してから、ジョイスティックを押します。

4. 押す

プログラム再生したい順にチャプターの番号を数字ボタンで指定し、ジョイスティックを押します

指定したいチャプターと同じ数字のボタンを押してから、ジョイスティックを押します。

例えば 17 を選ぶには、①と⑦を押してから、ジョイスティックを押します。

5.

すべてのチャプターを入力し終わったら、再生（▶）ボタンを押します

指定した順に再生を開始します。

注意

- ◆ DVDビデオでは、プログラム再生できないものがあります。
- ◆ チャプターのプログラムは、同じタイトル内のチャプターでのみプログラムできます。
- ◆ チャプターが変わるときにプログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
- ◆ ディスクテーブルを開くとプログラムはすべて消えてしまいます。DVDでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます。（45ページ参照）

CD/ビデオCD のとき

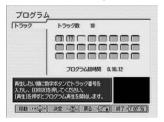
ビデオCDのPBC再生時にはプログラム再生はできません。プログラム再生を行うにはPBC再生を止めてください（23ページ参照）。

1. **シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7ボタン）を押します**

プログラム画面が表示されます。

2. **プログラム再生したい順に、トラックを数字ボタンで指定し、ジョイスティックを押します**

例えば3を選ぶには、③を押し、ジョイスティックを押します。

17を選ぶには、①と⑦を押し、ジョイスティックを押します。

3. **すべてのトラックを入力し終わったら、再生（►）ボタンを押します**

指定した順に再生を開始します。

プログラム再生をしないでプログラムを終了する

シフトボタン押してから、プログラムボタン（7ボタン）を押します

プログラム再生を止める

再生中に、クリアーボタンを押します

通常の再生に戻ります。
停止中にクリアーボタンを押すと、プログラムした内容は消去されます。

映像や音声を確認しながらプログラムする

DVDの場合、「プログラムタイトル」が入力された状態でこの機能を使うと、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。また、「チャプタープログラム」されているタイトルと現在再生しているタイトルが違うときは、が表示され、プログラムを入力することはできません。

DVDのとき

1. **プログラムしたいチャプターの再生中に、シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7ボタン）を1秒以上押します**

「チャプター　03► プログラム　01」のように、プログラムされたチャプター番号とプログラム番号が表示されます。

CD、ビデオCDのとき

1. **プログラムしたいトラックの再生中に、シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7ボタン）を1秒以上押します**

「トラック　05► プログラム　03」のように、プログラムされたトラック番号とプログラム番号が表示されます。

2. **さらにプログラムに追加したいときは、手順1を繰り返します**

順次プログラムに追加されていきます。

3. **シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7ボタン）を押します**

プログラムした内容の確認ができます。

4. **再生（►）ボタンを押して、プログラム再生を開始します**

プログラムを確認する

シフトボタンを押してから、プログラムボタン（7ボタン）を押します

DVDではさらにジョイスティックを上下に操作して、**[チャプター]**または**[タイトル]**を選びます。

プログラムの内容を1つずつ消去する

プログラム画面を表示し、ジョイスティックを操作して、消去したい番号を選びます

クリアーボタンを押します

選んだ番号は消去され、後の番号が1つずつ前に移動します。

プログラムを追加する

プログラム画面を表示し、ジョイスティックを操作して、挿入したい位置を選びます

プログラムしたい番号の数字ボタンを押してから、ジョイスティックを押します

選んだ位置の番号以降が後へ移動し、新しい番号がその位置に挿入されます。

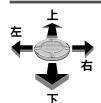
すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときは、クリアーボタンで消去してから追加してください。

プログラムをすべて消去する

停止中（プログラム画面を表示していないとき）に、クリアーボタンを押します

本機に記憶させたプログラムがすべて消去されます。ディスクテーブルを開いても消去されます。ただしプログラムメモリーをオンに設定したディスクのメモリーは、消えません。

プログラムを記憶する（プログラムメモリー）

本機は、ディスクを取り出しても、最大24枚までDVDのプログラムを記憶できます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したときに、自動でプログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

プログラム入力中に、ジョイスティックを操作して[プログラムメモリー]の[オン]を選んでから押します

プログラムの記憶を消去するには

記憶したプログラムを消去するには、ジョイスティックを操作して[プログラムメモリー]の[オフ]を選んでから押してください。ただし、次回同じディスクを本機にセットしたときのためのプログラムメモリーは消えますが、プログラムは残ったままです。

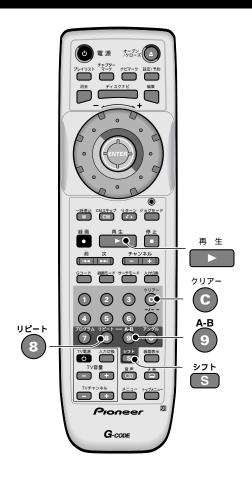
一時停止をプログラムする

一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトルまたはチャプター、トラックの始めで一時停止します。

プログラム入力画面で一時停止（II）ボタンを押します

"II"が表示され、一時停止がプログラムされます。

プログラムの最初と最後には一時停止はプログラムできません。
連続して2回以上は、一時停止をプログラムすることはできません。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD/CD/ビデオCD

DVD のとき

再生中のチャプターまたはタイトルを繰り返し再生します。またリピートオールを選ぶと、ディスク内の全てのタイトルを繰り返し再生します。

シフト S
リピート 8

シフトボタンを押してから、リピートボタン（8 ボタン）を押します

押すごとに、以下のようにテレビ画面に表示されます。

リピートチャプター
↓
リピートタイトル
↓
リピートオール*
↓
リピートオフ（解除）

＊ ビデオモードのディスク（DVDビデオを含む）では、リピートオールの機能はありません。

CD/ビデオ CD のとき

再生中の曲、またはディスク内のすべての曲を繰り返します。

シフト S
リピート 8

シフトボタンを押してから、リピートボタン（8 ボタン）を押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

リピートトラック（1曲リピート）
↓
リピートオール（全曲リピート）
↓
リピートオフ（解除）

指定した範囲を繰り返し再生する

再生中にリピート A-B ボタンで指定した 2 点間を繰り返し再生します。

シフト
A-B
再生中に繰り返したい範囲の始めと終わりでそれぞれ、シフトボタン押してからA-Bボタン（9ボタン）を押します

指定した範囲を繰り返し再生します。

指定した位置に戻って再生する

シフト S
A-B 9
再 生 ►

再生中にあらかじめ、シフトボタンを押してから A-B ボタン（9 ボタン）を押して、戻る位置を指定します

指定した位置に戻りたいときに、再生（►）ボタンを押します

指定した位置に戻ってから再生します。

リピート再生を止めるには

クリアー C

クリアーボタンを押します

リピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。リピートボタンでリピートオフを選んでも、リピート再生を解除することができます。

メモ

▼ プログラム再生中(42 ページ)に、シフトボタンを押してからリピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

注意

◆ DVDビデオでは、タイトルによってリピート再生のできないものがあります。そのときは、🚫 が表示されます。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時には、リピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に、以下の操作を行ってください。
- サーチボタンを押す
- 繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力したあと、再生(►)ボタンを押して再生する
- シフトボタンを押してから、リピートボタン（8 ボタン）を押す

◆ リピート再生中にアングルを切り換える(47 ページ)と、リピート再生は解除されます。
◆ CD やビデオ CD のプログラム再生中には、指定した範囲を繰り返し再生したり、指定した位置に戻って再生したりすることはできません。

映像のアングルを切りかえる（マルチアングル） DVDビデオ

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDビデオは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDビデオのジャケットにはマークが付いています。

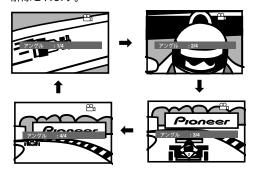
1. シフト S アングル 0

再生中にマークが表示されたら、シフトボタンを押してからアングルボタン（0ボタン）を押します

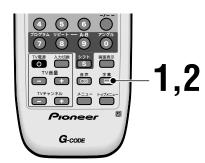
複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。

2. シフト S アングル 0

さらに、シフトボタンを押してからアングルボタン（0ボタン）を押して、お好みのアングルを選びます

操作を繰り返すごとに、アングルが切り換わります。一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。

◆ マークを表示させたくないときは、本体設定画面の[アングルマーク表示]を[オフ]にします(105ページ参照)。

字幕を切り換える DVD

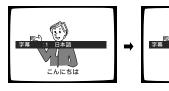
複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を切り換える ことができます。

1. 字幕

DVDの再生中に字幕ボタンを押します

現在選択している字幕が表示されます。

2. 字幕

さらに字幕ボタンを押します

押すごとに字幕表示が切り換わります。

◆ ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。本機からディスクを取り出したときには、本体設定画面の[字幕言語](104ページ参照)で選択した字幕言語に戻ります。
◆ 再生中に字幕ボタンを押しても、字幕が切り換えられないディスクがあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します(23ページ参照)。

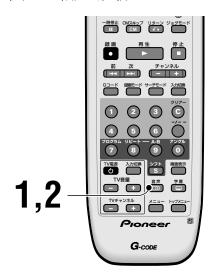
字幕を消すには

字幕ボタンを押したあとにクリアーボタンを押します

字幕ボタンを押してオフを選んでも、字幕を消すことができます。

音声を切り換える

日本語と英語など複数の言語で音声が記録されたDVDビデオを再生しているときは、再生する音声を変更することができます。
また、二カ国語放送の番組を受信中や二カ国語放送の番組を録画したDVD-RW（VRモード）を再生するときには、主音声・副音声などの音声を切り換えることができます。CDやビデオCDでは、ステレオ・1/L（左）・2/R(右）を切り換えることができます。

メモ

本機では音声2を録音する機能はありませんが、将来DVD-RW（VRモード）で音声2がある場合、次のようになります。

- ステレオの場合：→ 音声1 → 音声2 →
- 二重音声の場合：

→ 音声1(主) → 音声1(副) → 音声1(主+副) → 音声2(主+副) → 音声2(副) → 音声2(主) →

CD、ビデオCD のとき

1. 再生中に音声ボタンを押します

音声

現在選択している音声が表示されます。

2. さらに音声ボタンを押します

音声

ステレオ、1/L（左）、1/R（右）と切り換わります。
カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにする場合は、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて操作を行ってください。

DVDビデオ、ビデオモードのとき

1. 再生中に音声ボタンを押します

音声

現在選択している音声が表示されます。

2. さらに音声ボタンを押します

音声

押すごとに音声が切り換わります。

音声：1 日本語

音声：2 英語

注意

- ◆ ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。本機からディスクを取り出したときには、本体設定画面の「音声言語」（104ページ参照）で選択した音声言語に戻ります。
- ◆ 再生中に音声ボタンを押しても、音声が切り換えられないディスクがあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します（23ページ参照）。
- ◆ ディスクによっては、音声を切り換えたときに一瞬静止画になったり、一瞬黒い映像が表示されたりする場合があります。
- ◆ 静止画（スライドショー）再生中に音声を切り換えると、音声がしばらく途切れます。
- ◆ 96kHZリニアPCM音声を48kHZに変換しているときには、「ダウンサンプル　デジタル出力」と表示されます。

二カ国語放送の受信中 / 二カ国語放送を録画したDVD-RW（VRモード）の再生中

1. 二カ国語放送受信中または再生中に音声ボタンを押します

音声

現在選択している音声が表示されます。

2. さらに音声ボタンを押します

音声

押すごとに音声が切り換わります。

主音声

副音声

主音声＋副音声

注意

- ◆ 以下の場合には、音声ボタンによる切り換えはできません。本体設定画面の「二カ国語時記録音声」（103ページ）で切り換えてください。
  - ・ VRモードのディスクがセットされていて、録画モードがMN32の場合（DV入力が選択されているときを除く）
  - ・ ファイナライズされていないビデオモードのディスクがセットされている場合
- ◆ 二カ国語放送の番組を録画したディスクの再生時に、ドルビーデジタルのまま音声をデジタル接続で出力している場合には、音声を切り換えることはできません。アナログ接続（「接続と設定」/12ページ参照）するか、リニアPCMに変換（「接続と設定」/23ページ参照）すると、音声を切り換えることができます。

チャプターマークを入れる

VRモードでの再生中や録画中のお好きな位置に、チャプターマーク（区切り）を入れるこができます。チャプタースキップ（36ページ参照)やチャプターサーチ（40ページ参照)、またはチャプターナビ画面を使ったチャプター単位の編集（86ページ参照)を行うことができます。
チャプターマークを消去する場合は、「前後のチャプターを結合して1つにする（90ページ参照)」をお読みください。
ビデオモードで録画した場合は、3分ごとに（出荷時の設定の場合）自動的にチャプターマークが挿入されますが、本操作でチャプターマークを入れることはできません。
自動的に挿入されるチャプターマークの間隔も変更することができます（106ページ参照)。

再生中または録画中に、チャプターマークを入れたい位置でチャプターマークボタンを押します

テレビ画面にが表示され、チャプターマークが挿入されます。
プレイリストの再生中は、プレイリストにチャプターマークを入れることができます。

メモ
- ▼ チャプターマークは、一枚のディスクで最大、オリジナルに999、プレイリストで999入れることができます。
- ▼ スロー再生やコマ送り再生中も、チャプターマークを挿入することができます。

ディスクナビの画像を変更する

ディスクナビに表示される各タイトルの画像を、お好みの場面に変更します。

1. 変更したいオリジナルまたはプレイリストのタイトルを再生します

2. お好みの場面で、ナビマークボタンを押します

テレビ画面にが表示され、ディスクナビに表示される映像が入れ換わります。

メモ
- ▼ スロー再生やコマ送り再生中にも、お好みの場面を選ぶことができます。

再生映像の画質を調整する　DVD

たとえば、お使いのテレビがブラウン管タイプのものと、PDPプラズマディスプレイ、液晶ディスプレイのタイプのものとでは、同じ映像でも見え方が違ってきます。本機では、接続したテレビのタイプに合わせて、再生映像をお好みの画質に調整することができます。

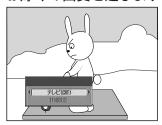
1. 再生中に、設定/予約ボタンを押します

設定/予約

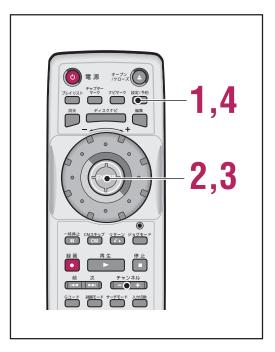
設定 / 予約画面が表示されます。

2. ジョイスティックを下に動かして、画質設定を選んでから押します

下

3. ジョイスティックを左右に動かして、お好みの画質を選びます

テレビ(CRT): ブラウン管タイプのテレビと接続したときにおすすめの画質です。
PDP: プラズマディスプレイタイプのテレビと接続したときにおすすめの画質です。
プロフェッショナル: 映像信号処理を抑えた設定です。プロ用モニターと接続したときにおすすめの画質です。
メモリー1～3: 項目ごとに画質を調整したお好みの画質を記憶することができます。
次ページを参照して、詳細設定を行ってください。

※ テレビ（CRT）、PDP、プロフェッショナル表示中に画面表示ボタンを押すと、設定値を確認できます。もう一度画面表示ボタンを押すと、画質選択画面に戻ります。

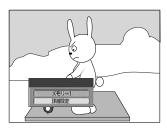
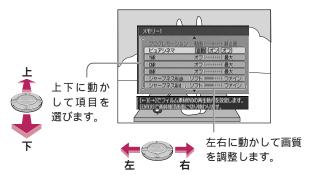
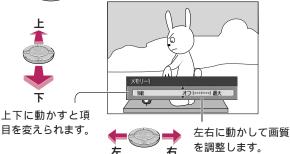
4. 設定/予約ボタンを押して、終了します

設定/予約

メモリー1～3を選んだ場合

1. ジョイスティックを下に動かして「詳細設定」を選び、ジョイスティックを押します

下

2. ジョイスティックを操作して、お好みの画質に調整します

押す

ジョイスティックを押すと、画質を確認しながら調整できます

もう一度ジョイスティックを押すと、詳細設定画面に戻ります

3. 設定 / 予約ボタンで終了します

設定/予約

調整項目について

プログレモーション：プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向きや静止画向きの映像に調整します。（この項目は、コンポーネント出力設定で「プログレッシブ」を選んでいるときだけ、調整することができます。（101ページ参照））

ピュアシネマ：プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVD再生に最適な設定にします。通常は［自動］に設定しますが、映像が不自然なときは［オン］または［オフ］にします。

YNR：輝度信号のノイズを軽減します。

CNR：色信号のノイズを軽減します。

QNR：映像のモスキートノイズ（MPEG圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ）、ブロックノイズを軽減します。

シャープネス High：高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

シャープネス Mid：中域の周波数に対して、画像の鮮明度を調整します。

ディテール：画像の輪郭を強調します。

白レベル：白色のレベルを調整します。

黒レベル：黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ：出力輝度信号の黒浮き、黒沈みを補正します。通常は0 IREを選択しますが、接続するテレビモニターとの組み合わせによって黒色が沈みすぎている場合には、7.5 IREを選択します。
（ピクチャークリエイションの黒セットアップとは逆の動作をします。）

色あい：緑色と赤色のバランスを調整します（コンポーネント映像では効果はありません）。

色の濃さ：色の濃さを調整します。

クロマディレイ：映像の輝度信号と色信号のずれを調整します。

ピュアシネマモードについて

DVDの映像信号には次の2種類があります。

- 「ビデオ素材」といわれる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
- 「フィルム素材」といわれる映像情報を毎秒24コマで記録した信号

フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマで記録されており、この「ピュアシネマ」モードは、そのような毎秒24コマで記録された映像情報を毎秒60コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。
この設定は通常［**自動**］でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのような場合は設定を［**オン**］または［**オフ**］に変更してご覧ください。
フィルム素材の（毎秒24コマで記録された）DVDが再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。

DVD-VIDEO　1-2　0.04,18　#　►再生
転送レート：▮▮▮▮▮▮▮　5.04

24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合は、「#」が表示されます。

ディスク情報画面を表示するには、画面表示ボタンを押します。繰り返し押すと上記の画面（転送レート表示画面）になります（詳しくは55ページをご覧ください）。

入力・録画映像の画質を調整する（ピクチャークリエイション）

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

テレビ番組やレーザーディスク、ビデオなど、入力ソースにより最適な画質が違ってきます。本機では、入力される映像をお好みの画質に調整することができ、テレビ番組（チューナー画面）や外部入力（L1、L2、L3）のそれぞれに個別に設定を記憶することができます。

注意

◆ 録画中や再生中は設定できません。

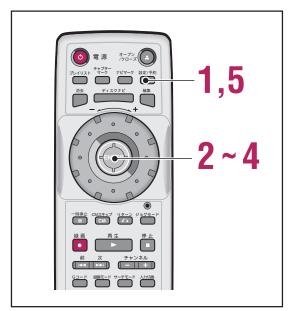
ピクチャークリエイションを設定する

1. 停止中に、設定 / 予約ボタンを押します

設定/予約

設定 / 予約画面が表示されます。

2. ジョイスティックを下に動かして、画質設定を選んでから押します

下　押す

3. ピクチャークリエイションを選んでから、ジョイスティックを押します

押す

4. ジョイスティックを左右に動かして、お好みの画質を選びます

テレビ番組：テレビ番組を録画するときにおすすめの画質です。
ビデオ：ビデオカセットレコーダーの映像を録画するときにおすすめの画質です。
レーザーディスク：映像信号処理を抑えた設定です。レーザーディスクなどを録画するのにおすすめの画質です。
メモリー１〜３：項目ごとに個別に調整したお好みの画質を記憶することができます。

次ページを参照して、詳細設定を行ってください。

現在選択されている入力（テレビ番組、L1、L2、L3、DV）の画質を調整します。チャンネルボタンや入力切換ボタンで切り換えることができます。

※ テレビ番組、ビデオ、レーザーディスク表示中に画面表示ボタンを押すと、設定値を確認できます。もう一度画面表示ボタンを押すと、画質選択画面に戻ります。

5. 設定 / 予約ボタンを押して、終了します

設定/予約

メモリー１～３を選んだ場合

1.

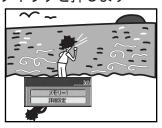
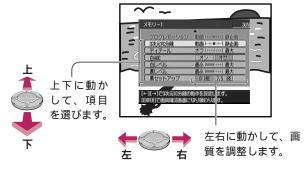
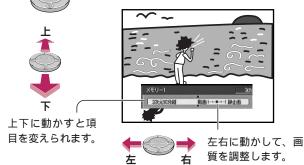
ジョイスティックを下に動かして、「詳細設定」を選び、ジョイスティックを押します

2.

ジョイスティックを操作して、お好みの画質に調整します

押す

ジョイスティックを押すと、画質を確認しながら調整できます

押す

もう一度ジョイスティックを押すと、詳細設定画面に戻ります

「プログレモーション」以外の項目はDV端子には効果はありません。

3.

設定/予約ボタンで終了します

調整項目について

プログレモーション：プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向きや静止画向きの映像に調整します（プログレモーションは、ディスクに記録される映像に反映されません）。またこの項目は、コンポーネント出力設定で「プログレッシブ」を選んでいるときだけ、調整することができます（101ページ参照）。

3次元YC分離：入力信号の3次元YC分離の設定を動画向き、静止画向きに調整します。

ディテール：入力信号の輪郭を強調します。

白AGC：白AGCのオン、オフを設定します。白AGCをオンにすると、入力信号の輝度レベルが高すぎる場合に自動的に最適なレベルに補正を行います。

白レベル：入力輝度信号の白色のレベルを調整します。
（白レベルの設定値は、白AGCがオフのときのみ有効です。）

黒レベル：入力輝度信号の黒色のレベルを調整します。

黒セットアップ：入力輝度信号の黒浮きを補正します。通常は0 IREを選択しますが、入力信号の黒色が浮いているような場合には、7.5 IREを選択します。

色あい：入力色信号の緑色と赤色のバランスを調整します。

色の濃さ：入力色信号の色の濃さを調整します。

録画映像の画質を調整する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

本機では、録画する映像をお好みの画質に調整することができます。テレビ番組（チューナー画面）や外部入力（L1、L2、L3）のそれぞれに個別に設定を記憶することができます。

注意

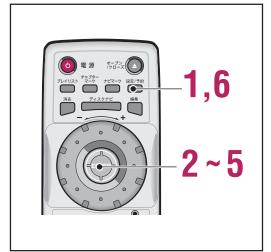
◆ 録画中や再生中は設定できません。
◆ DV入力に対しては、この設定を行うことはできません。

1. 停止中に、設定/予約ボタンを押します

設定/予約

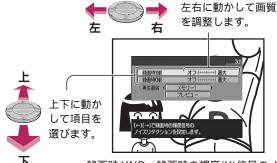
設定 / 予約画面が表示されます。

2. ジョイスティックを下に動かして画質設定を選んでから押します

下　押す

3. ジョイスティックを下に動かして、録画時NR設定を選んでから押します

下　押す

4. ジョイスティックを操作して、お好みの画質に調整します

上　上下に動かして項目を選びます。　下

録画時 YNR：録画時の輝度(Y)信号のノイズリダクションを設定します。
録画時 CNR：録画時の色(C)信号のノイズリダクションを設定します。
現在選択されている入力（テレビ番組、L1、L2、L3、DV）の画質を調整します。チャンネルボタンや入力切換ボタンで切り換えることができます。

5. 効果を確認します

上　左　右　下

ジョイスティックを上下に動かして再生画質にあわせ、左右に動かして再生時に使用する予定の画質を選びます。

押す　下

ジョイスティックを下に動かして、プレビューを選んでから押します

入力・録画映像の画質・録画映像の画質・再生映像の画質が反映された映像が表示されます。
もう一度ジョイスティックを押すと、確認画面を終了します。

6. 設定/予約ボタンを押して、終了します

設定/予約

ディスクの情報を画面に表示する

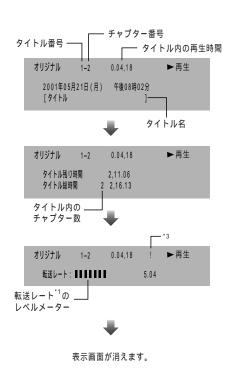
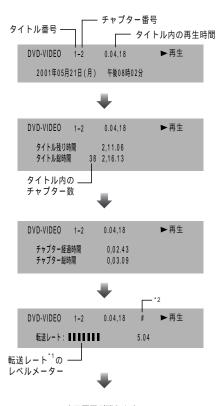
ディスクの情報をテレビ画面に表示します。ディスクやタイトル、動作状態によっては情報が異なったり、表示されない場合があります。

再生中にディスクの情報を見る

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

ディスク情報の画面が表示されます。押すごとに、表示内容が切り換わります。

VR モードで録画されたディスクの再生中

DVD ビデオ / ビデオモードで録画されたディスクの再生中

メモ

▼ ディスク情報を表示させたままにしておくと、約150分で自動的に表示は消えます。

▼ 本体設定画面で「フレームサーチ」が「オン」に設定されているとき（101 ページ参照）に一時停止すると、「タイトル内の再生時間」とともにフレーム番号が表示されます。

*1 DVDに記録されている映像・音声などの情報量を示す値です。転送レートが高いほど情報量は多くなりますが、画質がよいとは限りません。

*2 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に表示されます。詳しくは、101 ページをご覧ください。

*3 「1 回だけ録画可能」な番組が録画されている場合に表示されます。詳しくは、19 ページをご覧ください。

CD 再生中

停止中にディスクの情報を見る

画面表示

停止中に、画面表示ボタンを押します

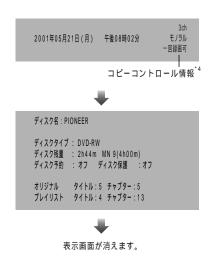
ディスク情報の画面が表示されます。押すごとに、表示内容が切り換わります。

DVD ビデオ停止中

ビデオ CD 再生中

メモ

▼ ビデオ CD の PBC 再生中は、表示されないディスク情報があります。

VR モードで録画されたディスクの停止中

メモ

▼ ファイナライズ操作を行った後は表示されない情報があります。
▼ 録画モードのカッコ内には、12cm 未記録ディスクを使用したときに録画できる時間を表示します。
*4 コピーコントロール情報については、19ページを参照してください。

ビデオモードで録画されたディスクの停止中

2001年05月21日（月）　午後08時02分　3ch モノラル

↓

ディスク名：Title List

ディスクタイプ：DVD-R
ディスク残量　：1h49m　V2(2h00n)
タイトル　　：37

↓

表示画面が消えます。

メモ

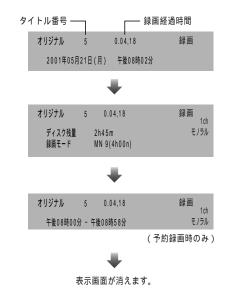
▼ ビデオモードで録画されたディスクをファイナライズしたときは、DVD ビデオ停止中と同じ表示内容になります。

CD/ ビデオ CD 停止中

録画中にディスクの情報を見る

画面表示

録画中に、画面表示ボタンを押します

ディスク情報の画面が表示されます。押すごとに、表示内容が切り換わります。

ディスク情報を消すには

表示画面が消えるまで、画面表示ボタンを押します

録画や再生時の時間表示について

本機の録画や再生の時間は、実際の録画・再生時間より 0.1% 程度短く表示されます。

放送などの映像では、1 秒当たり 29.97 フレームの映像が送られてきます。
本機では、便宜上 30 フレームを 1 秒として計算しています。このため、約 0.1% 時間が短く表示されます。
例えば、1 時間録画を行うと実際に 1 時間分録画が行われます。しかし、本機の時間表示は

$$60\text{（分）}\times\frac{29.97}{30}=59.94\text{（分）}=59\text{（分）}56\text{（秒）}$$

となります。

タイマー予約録画をする

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

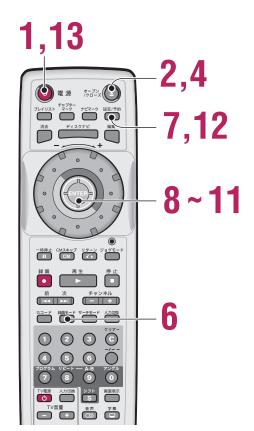
予約した日時になると自動的に録画を開始し、テレビ番組などをタイマー予約録画します。留守中に放送される番組や深夜の番組を録画するときに便利な機能です。
時計を合わせていないと、この機能を使用することはできません。（**「接続と設定」**/32 ページ参照）

タイマー予約録画は
最大 8 番組までセットすることができます
※ G コード予約録画を含みます。

タイマー予約録画は
1 カ月先までセットすることができます

「毎週木曜日」のように
定期的に同じ番組の録画をセットすることができます

注意

- **本体でのタイマー予約録画は、ディスク予約（66 ページ参照）と併用できません。**
- **オートスタート録画とは併用することができますが、タイマー予約録画（G コード予約録画）のほうが優先されるため、タイマー予約（G コード予約）による録画が行われているあいだは、オートスタート録画機能は働きません。**
- **ビデオモードで予約録画する場合、録画モードは本体で選択されている「V1」または「V2」で録画されます。録画予約画面では、録画モードを「V1」または「V2」に設定することはできません。**

1. 電源（⏻）ボタンを押して電源を入れます

2. オープン / クローズ（⏏）ボタンを押します

オープン/クローズ

ディスクテーブルが開きます。

3. ガイドに合わせて録画用のディスクを置きます

印刷面を上側に向けてセットします。
ディスクに汚れ、傷、結露はないか確認してからセットしてください。

4. オープン / クローズ（⏏）ボタンを押します

オープン/クローズ

ディスクテーブルが閉まります。
一度も録画していない DVD-RW をセットした場合は、VRフォーマットで自動的に初期化が行われますので、しばらくお待ちください。

5. 本体表示窓で音声レベルを確認します

音声レベルを調節する場合は、27ページを参照してください。

6. ビデオモードで録画する場合は、録画モードボタンを押して録画モードを選びます

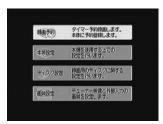
録画モード

テレビ画面または本体表示窓に表示される録画モードで、「V1」または「V2」の表示を確認してください（21ページ参照）。

7. 設定 / 予約ボタンを押して、設定 / 予約画面を表示させます

設定/予約

8. ジョイスティックを押して、予約画面を表示させます

押す

ジョイスティックを上下に操作すると、予約登録する番号を変更することができます

9. ジョイスティックを操作して、タイマー予約に必要な全ての項目を入力します

ジョイスティックを左右に動かして、入力する項目を選びます。

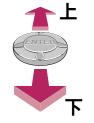
入力項目を表しています

録画予約

LN16(2h50m)　現在のディスク残量　2h48m　確認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1	6/26(火)	午後 8:00	午後 9:58	8	SP	
2	--/--	--:--	--:--	----	--	
3	--/--	--:--	--:--	----	--	
4	--/--	--:--	--:--	----	--	
5	--/--	--:--	--:--	----	--	
6	--/--	--:--	--:--	----	--	
7	--/--	--:--	--:--	----	--	
8	--/--	--:--	--:--	----	--	

[←][→]で項目を選び、[↑][↓]で設定を変更します。
[ENTER]で予約の決定、[クリアー]で予約を取り消します。

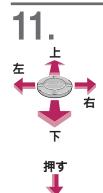
「確認」の項目を実行したときの結果を表示します。
日付指定の予約（1回のみの予約）で録画可能なときは、**「録画可能」**を表示します。
曜日指定および毎日指定の予約で録画可能なときは、**録画可能な最後の日付**を表示します。

ジョイスティックを上下に動かして、タイマー予約に必要な全ての項目を入力して行きます。

- **日付**
  ジョイスティックを上に動かすと、**今日の日付 ➡ 明日の日付 ➡** … **➡ 一ヶ月後の日付 ➡ 毎日曜 ➡** … **➡ 毎土曜 ➡ 月〜金 ➡ 月〜土 ➡ 毎日 ➡ 今日の日付** の順に日付表示が切りかわります。ジョイスティックを下に動かすと、逆の順序で切りかわります。
- **開始時刻 / 終了時刻**
- **録画したい番組のチャンネル（CH）**
  ジョイスティックを上に動かすと、**地上波放送（VHF/UHF）チャンネル ➡ CATVチャンネル ➡ BSチャンネル ➡ 外部入力** の順にチャンネル表示が切りかわります。
- **録画モード**
  「SP」⟷「MN」
  録画モードとして「MN」（マニュアル）を選んだ場合は、さらに「録画レベル」（20ページ参照）を設定します。
  ビデオモードのときは手順6で設定された録画モードになりますが、この項目を空白にすることはできませんので、SP/MNどちらかを仮に入力しておきます。

注意

- **録画したい番組のチャンネルとして「DV」を選んだ場合、録画モードをMN1〜MN8に設定することはできません。**

10. 予約に必要な全ての項目を入力したら、ジョイスティックを押します

さらに他の番組についても続けて予約することができます。

11. 録画可否を確認します

ジョイスティックを操作して「確認」に項目を移動させ、そのままジョイスティックを押します。

設定された予約内容とディスク残量をもとに計算し、設定した予約録画の可否を表示します。
「録画可能」：日付指定の予約（1 回のみの予約）で録画可能なときに表示
録画可能な最後の日付：曜日指定および毎日指定の予約で録画可能なときに表示
「残量不足」：録画時間に対して、ディスク残量が少ないときに表示
「予約重複」：予約時刻が、他の予約内容と重複しているときに表示

「録画可能」のときの例

- 「録画可能」の表示がなくても、ディスク残量の許す限り録画します。
- ジャスト録画機能（100ページ参照）を使用すると、ディスク残量不足で番組が録画しきれないとき、自動的に録画レベルを変更して、できるだけ録画できるようにします。
  予約録画（タイマー、G コード）やディスク予約録画で、ジャスト録画機能が働きます。
- ビデオモードのディスクがセットされているときは全ての予約を、すでに本体で設定されている録画モードで録画します。
- 62ページの「録画可否（手順10）についての注意」も合わせてご覧ください。

12. 設定/予約ボタンを押して、予約画面を終了します

設定/予約

すぐに予約録画をセットする場合、この操作は省略できます。

13. 電源（⏻）ボタンを押して、電源をオフにします

「TIMER」インジケーターが点灯し、録画予約画面が消えます。
ディスクがセットされていない、録画不可のディスクがセットされている場合には、「TIMER」インジケーターは点滅します。

◆ 予約の開始時刻の約 2 分前に電源が入り、予約録画の準備を始めます。
◆ 録画予約のセットは、開始時刻の 5 分以上前に行ってください。

セットした予約録画を解除するには（録画がまだ はじまっていないとき）

電源ボタンを押して、「TIMER」インジケーターが消えたことを確認します

電源がオフのときにはオンになります。予約録画準備状態ですでに本機の電源がオンになっているときは、電源はオフになりません。

▼ 電源がオフのときには、本体の ⏏ OPEN/CLOSE ボタン、または本体の再生(► PLAY)ボタンでも電源が入り、予約録画の待機状態が解除されます。

予約録画を中止するには（録画中のとき）

予約録画中に、録画(●)ボタンを 3 秒以上押します

予約が解除され、そのまま通常の録画が続きます。

◆ いったん予約録画を中止すると、それ以降の予約録画は行われません。

さらに停止(■)ボタンを押すと、録画が停止します

予約した内容を削除・変更するには

本体でのタイマー予約やＧコード予約（63ページ参照）の場合、ディスクの有無に関係なく、予約録画が開始するまでは、録画予約画面で内容を確認したり変更したりすることができます。ディスク予約（66ページ参照）の場合は、録画予約内容が記録されたディスクをセットしてから録画予約画面の内容を変更します。

1. 変更したい予約を、録画予約画面から選びます

ジョイスティックを上下に動かして、変更したい予約の番号に合わせます。

録画予約

MN16(2h50m) 現在のディスク残量 2h48m 確認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1	6/26(火)	午後 8:00	午後 9:58	8	SP	
2	6/26(火)	午後 5:00	午後 5:55	6	SP	
3	6/26(火)	午後10:54	午後11:29	4	MN16	
4	6/27(水)	午前 0:35	午前 0:45	12	MN16	
5	6/28(木)	午後 2:00	午後 3:00	10	SP	
6	--/--	--:--	--:--	----	--	
7	--/--	--:--	--:--	----	--	
8	--/--	--:--	--:--	----	--	

[↑][↓]で、入力・修正または取り消しをする番号を選びます。
録画できるかどうか確認する場合は、「確認」を選んでください。

ディスク予約の場合は、あらかじめ予約変更するディスクをセットしておきます。

2. 録画予約を削除する場合は、クリアーボタンを押します

クリアー C

録画予約が削除されます。

3. 予約内容を変更する場合は、変更したい項目を選び、内容を変更します

項目の内容については、59ページを参照してください。

録画予約

MN16(2h50m) 現在のディスク残量 2h48m 確認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1	6/26(火)	午後 8:00	午後 9:58	8	SP	
2	6/26(火)	午後 5:00	午後 5:55	6	SP	
3	6/26(火)	午後10:54	午後11:29	4	MN16	
4	6/27(水)	午前 0:35	午前 0:45	12	MN16	
5	6/28(木)	午後 2:00	午後 3:00	10	SP	
6	--/--	--:--	--:--	----	--	
7	--/--	--:--	--:--	----	--	
8	--/--	--:--	--:--	----	--	

[←][→]で項目を選び、[↑][↓]で設定を変更します。
[ENTER]で予約の決定、[クリアー]で予約を取り消します。

メモ

ビデオモードで録画モードを変更するときは、録画予約画面を終了した後に、21、30ページを参照して録画モードを切り換えます。

テレビ画面または本体表示窓に表示される録画モードで、「V1」または「V2」の表示を確認してください。

予約録画を延長するには

予約録画中の録画をいったん通常の録画に戻し、そのあとワンタッチ録画の操作をすると、予約録画を延長することができます。スポーツ中継が延びて予約した番組の放送時間がずれてしまったというときに便利です。

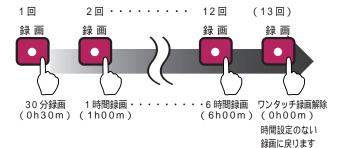
1. 予約録画中に、録画(●)ボタンを3秒以上押して、予約録画を解除します

録画 ●

予約録画は解除しますが、録画はそのまま続き「通常の録画」になります。

2. 録画を延長したい時間に合わせて、録画(●)ボタンを続けて押します

録画 ●

テレビ画面に「ワンタッチ録画」と録画の時間が表示されます。

メモ

- ▼ 最大6時間まで設定ができます。
- ▼ ワンタッチ録画で指定した時間が終了すると、自動的に電源がオフになります。

3秒以上経ってからボタンを押した場合、通常の録画に戻ります（ワンタッチ録画解除）。ワンタッチ録画を解除したあとも、再びワンタッチ録画を設定することができます。

本体表示窓でタイマー予約を確認するには

本機に予約可能な種類のディスクがセットされていると、テレビの電源がオフの状態でも、本体表示窓でタイマー予約の内容を確認することができます。

1. 停止中、本体表示窓に"PROGRAM　1（予約登録番号）"が表示されるまでファンクションボタンを押します

FUNCTION

タイマー予約が未入力の場合は、"PROGRAM　NON"と表示されます。

2. スマートジョグを回して、タイマー予約を確認します

- 予約登録番号
  PROGRAM　　1
- 録画する番組の日付
  DATE　　21(SAT)
- 録画開始時刻
  START　3:00 PM
- 録画終了時刻
  STOP　　3:30 PM
- 録画モード/チャンネル
  MODE MN16　3CH

予約録画についての注意

- 以下の場合には、予約が設定されていても録画されません。
  - ディスクがセットされていない。
  - DVDビデオ、音楽用CD、ビデオCDなどの録画できないディスクがセットされている（本機では、CD-R/CD-RWに記録することはできません）。
  - セットしているディスクが、ディスク保護の設定になっている。（VRモード）
    対処： 111ページを参照して、ディスク保護を解除してください。
  - セットしているディスクのオリジナルタイトル数（ビデオモードのタイトル数）が99タイトルになっている。
    対処： 32ページを参照して、不要なタイトルを消去してください。
  - ディスク残量が不足している。
    対処1： ディスク残量の多いディスクと入れかえる。
    対処2： 録画モードをMN（マニュアル）モードにして、録画レベルを現在の設定より下げる。
    対処3： 32ページを参照して、不要なタイトルを消去する。
- 以下の場合には、予約の入力ができません。
  - 録画中である。
  - 時計合わせが設定されていない。（『接続と設定』の34ページ参照）
  - すでに終了している番組の予約を入力しようとした。
  - すでに8つの予約が入っているときに、新たにGコードによる予約を入力しようとした。
- 予約が重複しているときの録画は、以下のようになります。
  - 予約録画の時刻が重複している場合は、前の予約が優先され、終了時刻まで前の予約の録画が継続されます（後の予約は、前の録画が終了してから開始されます）。この場合、前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が重なっている場合を含め、後の予約の録画開始は前の録画が終了してからとなるため、約30秒ほど開始が遅れます。
  - 録画の開始時刻が同じ予約がある場合は、録画予約画面で上の行にある予約が優先されます。下の行の予約録画は、上の予約録画が終了してから行われます。

録画可否（手順10）についての注意

- ディスクの残量不足で終了時間まで録画ができない可能性がある場合には、**「残量不足」**と表示されます。
  対処1： ディスク残量の多いディスクと入れかえる。
  対処2： 録画モードをMN（マニュアルモード）にして、録画レベルを現在の設定より下げる。
  対処3： 32ページを参照して、不要なタイトルを消去する。
- 予約録画の時間が重なっている場合は前の予約が優先され、後の予約は前の予約が終了したあとからしか録画されません。このような場合は、後の予約に対して**「予約重複」**と表示されます。
- 録画可否の確認は、確認した日から一ヶ月先までしか計算しません。
- 録画可否の確認は、ジャスト録画（100ページ参照）の設定も考慮されます。
- 以下の場合には、録画可否の確認はできません。
  - DVDビデオ、音楽用CD、ビデオCDなどの録画できないディスクがセットされている。（本機では、CD-R/CD-RWについても記録できません）
  - ディスクがセットされていない。
  - セットしているディスクが、ディスク保護の設定になっている。（VRモード）
    対処： 111ページを参照して、ディスク保護を解除してください。
  - セットしているディスクのオリジナルタイトル数（ビデオモードのタイトル数）が99タイトルになっている。
    対処： 32ページを参照して、不要なタイトルを消去してください。
- ディスクに傷があり正しく録画ができなかった場合など、録画の状況によっては、録画可否確認表示の通りにならない場合もあります。

Gコード予約で録画する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

新聞や雑誌などのテレビ欄に記載されているＧコード番号を入力して、予約録画します。
Ｇコードシステムで予約すると、録画のチャンネル、日付、開始時刻、終了時刻などが自動的にセットされるため、設定の手間が省け、簡単に予約できます。

Ｇコード予約録画は
最大８番組まで　セットすることが　できます
※タイマー予約録画を含みます。

Ｇコード予約録画の　延長・解除・変更は
通常の予約録画と　同じ方法です
※６０～６１ページ参照

「毎週木曜日」のように
定期的に　同じ番組の録画を　セットすること　ができます

注意

- **本体でのＧコード予約録画は、ディスク予約（６６ページ参照）と併用できません。**
- **オートスタート録画とは併用することができますが、Ｇコード予約録画（タイマー予約録画）のほうが優先されるため、Ｇコード予約（タイマー予約）による録画が行われているあいだは、オートスタート録画機能は働きません。**
- **ビデオモードで予約録画する場合、録画モードは本体で選択されている「V1」または「V2」で録画されます。予約画面での録画モード選択はできません。**

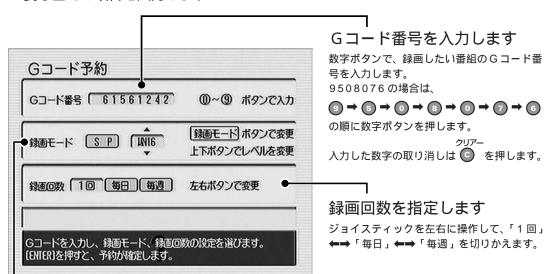
テレビ画面を見ながら操作する場合

1. Gコード　**Ｇコードボタンを押してＧコード予約画面を表示し、予約に必要な全ての項目を入力します**

Gコード番号を入力します

数字ボタンで、録画したい番組のＧコード番号を入力します。
９５０８０７６の場合は、
⑨➡⑤➡⓪➡⑧➡⓪➡⑦➡⑥
の順に数字ボタンを押します。
入力した数字の取り消しは クリアー Ⓒ を押します。

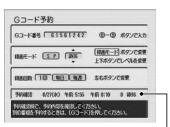
録画回数を指定します

ジョイスティックを左右に操作して、**「１回」**⬅➡**「毎日」**⬅➡**「毎週」**を切りかえます。

VRモードの場合は、ここで録画モードを設定します

録画モードボタンを押して**「SP」**⬅➡**「MN」**を切りかえます。
録画モードとして「MN」（マニュアル）を選んだ場合は、さらにジョイスティックを上下に操作して、録画レベル（２０ページ参照）を設定します。
ビデオモードのときは本体で設定されている録画モードになりますが、この項目を空白にすることはできませんので、SP/MNのどちらかを仮に入力しておきます。

応用編　録画

2. 予約に必要な全ての項目を入力したら、ジョイスティックを押します

予約確認の項目が表示されます。
この表示は、10秒間で消えます。

入力したGコードのテレビ番組の日付、開始時刻、終了時刻、チャンネル、録画モードが表示されますので、内容を確認してください。

再度Gコードボタンを押すと、さらに他の番組についても続けて予約することができます。
また、音声レベルを調節する場合は、27ページを参照してください。

3. 電源ボタンを押して、電源をオフにします

本体の「TIMER」インジケーターが点灯します。
ディスクがセットされていない、録画不可のディスクがセットされている場合には、「TIMER」インジケーターは点滅します。

注意

◆「入力したGコードが正しくありません」と表示される場合は、ガイドチャンネルの設定が正常でないことも考えられます。このような場合は、ガイドチャンネルの設定を行ってください。（「接続と設定」/30ページ参照）

録画可否を確認します

1. 設定/予約ボタンを押して、設定/予約画面を表示させます

設定/予約

2. ジョイスティックを押して、予約画面を表示させます

押す

3. 録画可否を確認します

ジョイスティックを操作して「確認」に項目を移動させ、そのままジョイスティックを押します。

設定された予約内容とディスク残量をもとに計算し、設定した予約録画の可否を表示します。
詳しくは、60～62ページを参照してください。

Gコード予約についての注意

- **Gコード予約は、予約画面の空いた行の上から順に設定されます。**
- **以下の場合には、Gコード予約の設定が行われません。**
  - 録画中または予約録画の準備中である。
  - 時計が設定されていない。
  - 予約がすでにいっぱいである。
  - ディスク予約をオンにしたあとで、ディスク保護を設定している。

電源がオフのときに操作する場合

本機では、電源がオフの状態でも、本体表示窓を見ながら G コード予約を行うことができます。ただし、録画モードの変更や録画回数を指定することはできません。

1. **G コードボタンを押します**

Gコード

SP　G-Code#

2. **数字ボタンで、録画したい番組の G コード番号を入力します**

SP　3274305

すでに本体で設定されている録画モードが表示されます。

注意

◆ 録画モードの変更はできません。すでに本体に設定されている録画モードが表示されます。
◆ 録画回数の指定をすることはできません。1回のみの録画予約となります。

3. **ジョイスティックを押します**

正しく入力されると、**「録画する番組の日付」➡「録画開始時刻」➡「録画終了時刻」➡「録画モード / チャンネル」**と順に表示して行きます。

「CODE ERROR」と表示されたときは、もう一度Gコードを確認して、手順 1 から入力し直してください。

間違って入力した数字を消去するとき

クリアーボタンを押します。

押すごとに、最下位桁の数字が消去されます。

途中で操作を中止するとき

G コードボタンを押します

時計表示に戻ります。

注意

◆「CODE ERROR」と表示される場合は、ガイドチャンネルの設定が正常でないことも考えられます。このような場合は、ガイドチャンネルの設定を行ってください。(「接続と設定」/ 30 ページ参照)
◆ すでに終了している予約を入力した場合など録画予約ができない場合は、「CANNOT RECORD」と表示されます。詳しくは、62 ページの予約録画についての注意を参照してください。

ディスク予約で録画する

ディスクに予約機能を持たせるのが「ディスク予約」です。58～65ページに記載されている本体での予約録画（タイマー予約録画・Gコード予約録画）に対して、ディスク予約はディスクごとに予約内容を持たせて予約録画します。そのため、同じ番組を1枚のディスクに録画するときや、自分だけの専用ディスクとして予約録画するときに便利です。

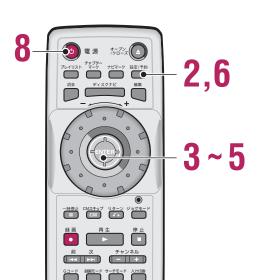
ディスク予約録画は
ディスク1枚に最大で8番組まで設定することができます

ディスク予約の設定は
タイマー予約録画やGコード予約録画と同じ設定方法で行います

ディスク予約録画の延長・解除・変更は
通常の予約録画と同じ方法です

※60～61ページ参照

注意

- ◆ ディスク予約は、VRモード録画のときだけ可能です。ビデオモードではディスク予約はできません。
- ◆ 本体でのタイマー予約録画に使用するディスクとは別に、ディスク予約用にVRモードのDVD-RWのディスクを用意してください。
- ◆ 本体での予約録画と併用することはできません。
- ◆ ディスクが保護されているときは、ディスク予約はできません。
- ◆ オートスタート録画とは併用できますが、ディスク予約録画のほうが優先されるため、ディスク予約による録画が行われているあいだは、オートスタート録画機能は働きません。

はじめて「ディスク予約」をするとき

1. **「ディスク予約」をオンに設定するディスクをセットします**

本体でのタイマー予約録画に使用するディスクとは別に、ディスク予約用にVRモードのDVD-RWディスクを用意しておきます。

2. **設定/予約ボタンを押して、設定/予約画面を表示させます**

設定/予約

3. **ジョイスティックを下に動かして、「ディスク設定」を選択します**

下

4. 押す

ジョイスティックを押します

ディスク設定画面が表示されます。

5.

ジョイスティックを操作して、「ディスク予約」の設定をオンにします

6. 設定/予約

設定 / 予約ボタンを押します

セットされているVRモードのDVD-RWディスクの「ディスク設定」がオンに設定されました。

7.

タイマー予約をセットします

タイマー予約録画、またはGコード予約で録画したい番組のタイマー予約をします。『タイマー予約録画をする』の手順5～12（58～60ページ）、または「Gコード予約で録画する」の手順1～2（63～64ページ）を参照してください。
ディスクに予約の設定が記録されます。

8.

電源ボタンを押して、電源をオフにします

「TIMER」インジケーターが点灯します。

注意

◆ すべての録画が終了するなどで予約がなくなったときや予約を入力しなかったときにディスクを取り出すと、自動的にディスク予約はオフに戻ります。

すでに「ディスク予約」の設定がオンのディスクでディスク予約するとき

1.

「ディスク予約」がオンに設定されているディスクをセットします

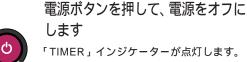
本体表示窓に「RESERVED」が表示されます。

2.

タイマー予約をセットします

タイマー予約録画、またはGコード予約で録画したい番組のタイマー予約をします。『タイマー予約録画をする』の手順5～12（58～60ページ）、または「Gコード予約で録画する」の手順1～2（63～64ページ）を参照してください。
ディスクに予約の設定が記録されます。

3.

電源ボタンを押して、電源をオフにします

「TIMER」インジケーターが点灯します。

本体の予約とディスク予約の関係

● 本体の予約録画かディスク予約録画かは、以下の画面で確認ができます。

（画面の色も違います。）

● 本体の予約とディスク予約との併用はできません。
● 以下の場合に、ディスク予約がオンとなります。
  ・ディスク予約をしたディスクをセットし、ディスクの内容を読み込んで予約があった場合。
  ・ディスク設定画面で、ディスク予約を「オン」にした場合。
● 以下の場合には、本体の予約となります。
  ・ディスクを取り出した場合。
  ・ディスクをセットし、ディスクの内容を読み込んで予約がない場合。
  ・ディスク設定画面で、ディスク予約を「オフ」にした場合。（このとき、設定されているディスク予約の内容はすべて消去されます。）

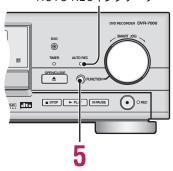
CS 放送などの番組を自動で録画する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

本機のオートスタート録画機能をオンにしておくと、CSチューナーなどの予約機能により放送の録画を簡単に行うことができます。外部入力端子に接続されたCSチューナーなどから出力される映像信号を本機がキャッチし、放送の録画を自動的に開始・終了します。CS 放送や BS デジタル放送を受信するための CS チューナーや BS デジタルチューナーが本機に接続されている場合に利用することができます(**「接続と設定」**/16 ページ参照)。

注意

- ◆ オートスタート録画中は、手動録画やワンタッチ録画の操作は受け付けません。
- ◆ CS チューナー等からの映像信号をキャッチしてから本機の電源が入るため、**番組の冒頭部分が録画されない場合があります。** また、DVD-R ディスクに録画する場合は、録画準備動作が行われるため、録画されない部分が長くなります。(オートスタート録画の場合は、自動で録画準備動作が行われます)。
- ◆ オートスタート録画機能をオンにする前に、CSチューナーなどを予約スタンバイ状態(電源オフ)にしてください。電源が入っていると設定した時間に関係なく録画が開始されます。

AUTO RECインジケーター

1. CSチューナーなどで番組の予約を行います

操作方法は、CSチューナーなどに付属の取扱説明書などをお読みください。

2. 録画用のディスクをセットします

(本書 28 ページの 2 〜 4 をご覧ください)

3. 外部入力の音声を選びます

二カ国語放送の番組を録画する場合、外部音声として「二カ国語」を選びます。詳しくは、「外部入力の音声を選ぶ(102 ページ参照)」に従って操作してください。
また、ビデオモードやVR モードのMN32で録画する場合には、「二カ国語時記録音声を選ぶ(103ページ参照)」の設定を行ってください。

4. 録画モードボタンを押して、録画モードを切り換えます

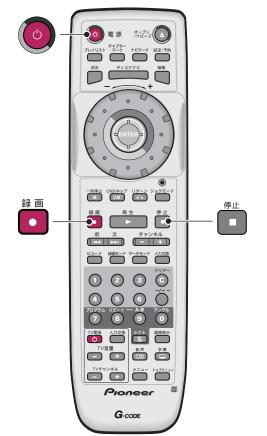
録画モード

一度押すと、本体表示窓およびテレビ画面に現在の状態が表示されます。表示中に押すと、モードが切り換わります(21 ページ参照)。

- **VR モードのとき** SP ←→ MN
  「MN」の場合、表示中にジョイスティックを左右に操作すると、「MN」の録画レベルを変更することができます。
- **ビデオモードのとき** V1 ←→ V2

本体ボタンでの録画モードの切り換えかたは、30 ページを参照してください。

5. 本体のファンクションボタンを 3 秒以上押します

AUTO REC インジケーターが点灯し、電源が切れます。
入力 2/AUTO REC 端子に接続されている CS チューナーなどの電源が入ると本機の電源が入り、録画が開始されます。CSチューナーなどの電源が切れると録画を終了し、オートスタート録画待機状態のまま、本機の電源が切れます。

セットしたオートスタート録画機能を解除するには（録画がまだ始まっていないとき）

電源ボタンを押して、本機の電源を入れます

本機に電源が入り、AUTO REC インジケーターが消えます。
（本体の ⏏OPEN/CLOSE ボタン、再生(► PLAY)ボタンのいずれかでも電源が入り、オートスタート録画機能が解除されます。）

オートスタート録画を中止するには（録画中のとき）

録画(●)ボタンを 3 秒以上押します

AUTO REC インジケーターが消え、そのまま録画は続きます。

さらに停止(■)ボタンを押すと、録画が停止します

オートスタート録画についての注意

以下の場合には、オートスタート録画のセットができません。

- ◆ 録画中である。
- ◆ セットしているディスクが、録画可能ディスクではない（14 ページ参照）。
- ◆ セットしているディスクが、ディスク保護の設定になっている（111 ページ参照）。
- ◆ セットしているディスクのオリジナルタイトル数が 99 ある。
- ◆ オートスタート録画がセットされていても、予約録画（タイマー予約・G コード予約・ディスク予約）実行中には、オートスタート録画は働きません。
- ◆ オートスタート録画中に、本体予約（またはディスク予約）の開始時刻になった場合、オートスタート録画は中断され、本体予約（またはディスク予約）の録画が開始されます。本体予約の録画が終了すると、オートスタート録画は再開されます。

外部入力から録画する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)
ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)
ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

本機の外部入力端子（L1～L3、DV）に接続した機器から映像を録画します。

メモ　**本機の DV 端子からは、DVC-SD 方式の信号のみ入力することができます。**

1. 本機の外部入力端子に、録画したい機器を接続します

『接続と設定』をご覧になり、接続作業を行ってください。

2. 外部入力の音声を選びます

二カ国語放送番組を録画する場合、外部音声として「二カ国語」を選びます。詳しくは、「外部入力の音声を選ぶ（102 ページ参照）」に従って操作してください。
また、二カ国語放送の番組をビデオモードかVRモードのMN32（DV入力以外）で録画する場合には、「二カ国語時記録音声を選ぶ（103 ページ参照）」の設定を行って下さい。

3. 入力切換ボタンで、接続された入力端子を選択します

入力切換

押すごとに、以下のように切りかわります。

外部入力端子	表示チャンネル
入力 1/BS デコーダ	L1
入力 2/AUTO REC	L2
INPUT3（本体前面）	L3
DV IN/OUT	DV

DV 端子選択時には、録画をはじめるまえに、DV 入力音声の設定（103 ページ参照）を確認してください。

4. 録画の操作を行います

DV 端子を選択したときには、デジタルビデオカメラの再生を先に開始してください。
DV 入力からの映像を録画中に、デジタルビデオカメラで無記録部分や録画禁止部分を再生すると、本機の録画は一時停止します。そのような部分をすぎると、本機の一時停止は解除され、録画を再開します。

注意

- **録画禁止信号が入っている映像は録画できません。また、録画せず視聴する場合にも正しい映像が得られない場合があります（19 ページ参照）。**
- **ビデオモードでDV端子から入力されている映像を録画後に停止すると、停止(■)ボタンを押した時点の静止画映像がしばらく録画されます（静止画映像は、ブレたり乱れたりすることがあります）。**

DV端子に接続するときのご注意

本機はi.LINK*を利用して、DV方式のデジタルビデオカメラと接続し、映像・音声の入出力を行うことができます。また本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作しながら、カメラからの映像を入力する（「デジタルビデオカメラを操作しながら録画する」/72ページ参照）こともできます（DV取り込み）。
デジタルビデオカメラとの映像の入出力やDV取り込みが正しく動作しない場合は、114ページの「故障?ちょっと調べてください」をご覧ください。また、画面表示や本体表示窓の表示については、116ページの「テレビ画面にこんな表示が出たら」をご覧ください。

* i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像・音声・データ信号・コントロール信号を入出力し、他機のコントロールを行うことができる機能です。
* i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称で、i.はi.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。
* i.LINK、i.は商標です。

接続機器について

- 本機のDV端子は、DVC-SD方式の信号のみを入出力できます。CSチューナー・BSデジタルチューナー・D-VHS方式ビデオカセットレコーダーなどとは信号の方式が異なるため、映像信号の入出力はできません。
- パソコンとの接続には対応していません。
- 本機と接続できるデジタルビデオカメラは1台のみです。
- デジタルビデオカメラによっては、信号の入出力や本機からの操作ができない場合があります。

映像・音声・データの入出力について

- 日付・時刻の情報、カセットメモリの内容を本機で記録することはできません。
- 「録画禁止」または「1回だけ録画可能」の映像・音声は録画できません。
- DVDの再生時のみ、映像・音声を出力できます。テレビ番組・外部入力・CD・ビデオCDの映像・音声は出力できません。
- 「録画禁止」または「1回だけ録画可能」の映像・音声は出力できません。

音声モードについて

デジタルビデオカメラは一般に、以下の2つの音声モードを持っています。

■ **16bit (48kHz)**
高音質ですが、1つのステレオ音声しか扱えません。

■ **12bit (32kHz)**
2つのステレオ音声を扱えます。一般に、ステレオ2にはアフレコ音声が記録されます。

- 本機では、入力音声が12bitの音声モードの場合、ステレオ1、ステレオ2のうちの一方のみを聞いたり、記録したりできます。
- 本機から出力される音声モードは16bitのみです。
- 本機では、44.1kHzの入力音声は扱えません。

DV取り込みについて

- DV端子を使って、他の機器から本機を操作することはできません。
- DV端子で本機同士を接続しても、もう一方を操作することはできません。

デジタルビデオカメラに映像を出力するには

本機でDVDの再生を開始すると、DV端子は外部出力端子として機能します。本機で録画、編集した映像をデジタルビデオカメラに出力するときに操作します。

1. デジタルビデオカメラを本機のDV端子に接続します

2. 録画したい映像を本機で再生します

3. デジタルビデオカメラで録画の操作をします

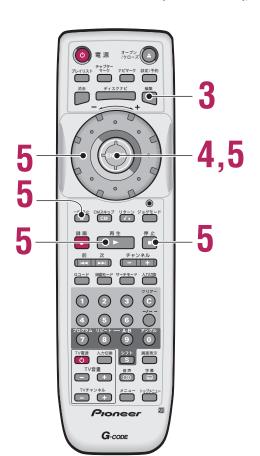
注意

◆ 音楽CD、ビデオCDの映像・音声は出力しません。
◆「録画禁止」または「1回だけ録画可能」の映像・音声は出力されません。

デジタルビデオカメラを操作しながら録画する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

本機のDV端子に接続したデジタルビデオカメラの再生映像を録画します。デジタルビデオカメラも本機のリモコンで操作できますので、簡単に映像を取り込むことができます。
DV 端子について詳しくは、「DV 端子（i,LINK）ってなに?」（「DVD レコーダーマガジン」/6 ページ）および「DV 端子に接続するときのご注意（71 ページ）」をご覧ください。
あらかじめ DV 入力音声の設定を行ってから録画してください。（103 ページ参照）

- ◆ 本体の録画モード設定が MN8 以下に設定されている場合、MN9 で記録されます。
- ◆ 本体の録画モード設定がMN32であってもDV端子から入力されている音声の場合は、リニアPCMでなく、ドルビーデジタルで記録されます。
- ◆ ビデオモードで DV 端子から入力されている映像を録画後に停止すると、停止ボタンを押した時点の静止画映像がしばらく録画されます（静止画映像は、ブレたり乱れたりすることがあります）。
- ◆ デジタルビデオカメラによっては操作できない場合もあります。
- ◆ DV 端子を使って外部から本機を操作することはできません。
- ◆ 本機 2 台を DV 端子で接続して一方を操作することはできません。
- ◆ 撮影モードの映像を録画する場合は、DV取り込み機能を使わず、外部入力としてDVを選択して録画してください（70 ページ参照）。

1. 本機の DV 端子にデジタルビデオカメラを接続します

『接続と設定』をご覧になり、接続作業を行ってください。

2. 記録する音声を選びます

① DV入力音声の設定（103ページ参照）を確認してください。
②「外部入力の音声を選ぶ」（102 ページ参照）に従って操作してください。
③ また、二カ国語かつ、ビデオモードで録画する場合には、「二カ国語時記録音声を選ぶ（103ページ参照）」の設定を行ってください。

3. 編集ボタンを押して、ディスクナビ画面（VR モード）または、タイトルリスト画面（ビデオモード）を表示させます

VR モード

ディスクナビボタン、消去ボタンを押してもディスクナビ画面は表示されます。

ビデオモード

トップメニューボタン、メニューボタン、消去ボタンを押しても、タイトルリスト画面は表示されます。

4. ジョイスティックを操作して、［DV 取り込み］を選んでから押します。

下

押す

VR モード

プレイリストの場合、［プレイリスト］ボタンで、オリジナルのディスクナビ画面に切り換えてから操作してください。

ビデオモード

メモ　デジタルビデオカメラにテープが入っていてビデオ（テープ）モードになっている場合に DV 取り込みができます。

5. デジタルビデオカメラを操作して、取り込み開始場面を選び、DV 取り込みを開始します

デジタルビデオカメラの再生を開始し、本機では録画を開始します。

DV 取り込み画面では、本機のリモコンボタンをビデオカメラの操作に使用します。以下の 3 つのボタンおよびリモコンのジョグダイヤルが使用可能です。

押す

ビデオカメラの再生を開始すると、**「録画　開始」**の位置に移動します。ジョイスティックを押して、録画を開始します。

メモ

▼ 映像を取り込み中にデジタルビデオカメラで無記録部分や録画禁止部分を再生すると、本機の録画は一時停止します。そのような部分をすぎると、本機の一時停止は解除され、録画を再開します。

▼ デジタルビデオカメラが停止しているときに取り込みを開始すると、少しの間だけ映像・音声が録画されません。デジタルビデオカメラを再生一時停止状態にして取り込みを開始すると、ほぼ取り込みを開始した時点からの映像・音声が録画されます。

注意

◆ 取り込み実行中は[ディスクナビ][リターン]ボタンで DV 取り込み画面を終了することはできません。DV 取り込み画面を終了したいときには、取り込みを終了してください。

◆ 取り込み実行中は、本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作することはできません。DV 取り込みを一時停止させてから操作してください。

取り込みを終了するには .....

ジョイスティックでカーソルを［録画　停止］枠に移動させてから、ジョイスティックを押します

上

下

押す

ビデオモードで録画している場合、30 秒単位で録画を行うため、しばらく録画が続けられます。このとき、「録画　停止」でジョイスティックを押した時点の静止画映像が録画されます（静止画映像は、ブレたり乱れたりすることがあります）。

取り込みを一時停止するには .....

ジョイスティックでカーソルを［録画　一時停止］枠に移動させてからジョイスティックを押します

上

下

押す

本機の録画、およびデジタルビデオカメラの再生が一時停止し、カーソルが「録画　開始」に移動します。
一時停止すると、本機のリモコンでビデオカメラを操作することができます。

ＤＶ取り込み画面を終了するには…

トップメニュー

VRモードのときにはディスクナビボタン、ビデオモードのときにはトップメニューボタン（またはメニューボタン）を押します

ディスクナビまたはタイトルリスト画面に戻る場合は、リターンボタンを押します。

注意

取り込み中､以下のような状態になると異常な映像が記録されることがあります。

- ◆ デジタルビデオカメラで無録画部分を再生したとき
- ◆ 途中でDVケーブルを抜いたり､デジタルビデオカメラの電源を切ったりしたとき
- ◆ デジタルビデオカメラの再生を中止したとき

本体にこんな表示が出たら・・・・

(テレビ画面) DVカメラが接続されていません。

デジタルビデオカメラが接続されていないか､デジタルビデオカメラの電源が切れているときに表示されます。

(テレビ画面) 複数のDVカメラは同時に接続できません。

本機のDV端子に､デジタルビデオカメラが二台以上接続されています。本機のDV端子は､一台のデジタルビデオカメラの接続しか対応していません。

(テレビ画面) DVカメラにテープが入っていません。

デジタルビデオカメラにカセットテープが入っていない場合に表示されます。

(テレビ画面) DVカメラが撮影モードもしくは録画一時停止状態になっています。

デジタルビデオカメラが撮影モードか､録画一時停止中のときに表示されます。

(テレビ画面) DVカメラが録画状態です。

デジタルビデオカメラが録画中のときに表示されます。DV取り込みを行う場合には､デジタルビデオカメラの録画を一度停止してください。

(テレビ画面) DVカメラの再生が中断しました。

デジタルビデオカメラのカセットテープを最後まで再生して停止した場合などに表示されます。

(テレビ画面) DVカメラを操作できませんでした。

デジタルビデオカメラが動作しなかったときに表示されます。

(テレビ画面) DVカメラを操作できません。

デジタルビデオカメラが本機から操作できない状態になっています。デジタルビデオカメラの電源を入れ直すなどしてください。

オリジナルとプレイリストについて

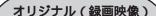
オリジナルとは ....

たとえば、ある 1 つのテレビ番組を録画すると、ディスクにその番組の映像が記録されます。
この実際に録画された映像のことを、オリジナルのタイトルと言います。
一回の録画で、オリジナルのタイトルが一つ作成されます。

プレイリストとは ....

オリジナルの映像をもとに作成した編集用のタイトルのことをプレイリストと言います。
プレイリストは編集用の映像ですから、シーンを消去しても録画したオリジナルの映像はなくなりませんし、いくつ作成してもディスクの録画時間は減りません。

こんなときにプレイリストを作ります

録画したテレビ番組から CM をなくす（例 1）

プレイリスト（編集用映像）

1. はじめはCM入りの番組が、オリジナルのタイトルとして記録されています。

2. オリジナルのタイトルごと、プレイリストに作成します。

3. シーン消去で、プレイリストのCM部分だけを消去します。

オリジナルのタイトルを再生すると、CMの入った録画されたままの映像を見ることができます。

プレイリストのタイトルを再生すると、CMをカットして編集された映像を見ることができます。

録画したテレビ番組から CM をなくす（例 2）

オリジナル（録画映像）

プレイリスト（編集用映像）

1. はじめはCM入りの番組が、オリジナルのタイトルとして記録されています。

2. 編集したいオリジナルのタイトルから、見たいシーンだけをプレイリストに作成します。

オリジナルのタイトルを再生すると、CMの入った録画されたままの映像を見ることができます。

プレイリストのタイトルを再生すると、CMをカットして編集された映像を見ることができます。

編集とディスクナビ画面について

VR モードで録画された映像の編集作業は、ディスクナビ画面から操作します。ですから、ディスクナビ画面を理解することが編集作業を知る一番の近道です。ここでは、ディスクナビ画面について説明します。

- 消去や追加、移動などの編集作業を行った場合、編集操作で決定した映像と実際に編集された映像とが、多少ずれることがあります。また編集した場面では、一瞬再生が一時停止したように見えますが、故障ではありません。
- チャプター単位でも編集できます。詳しくは、86 ページをご覧ください。

オリジナルが選択されている場合

次のどのボタンを押しても、ディスクナビ画面を表示します。

消去

「消去」が選ばれています。

ディスクナビ

「再生」が選ばれています。

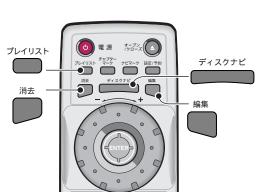
編集

停止中は、「シーン消去」が選ばれています。
再生中の場合は、シーン消去の画面を表示します。

ジョイスティックを左に動かしてコマンド選択にあわせてから、上下に動かして選択します。

上　左　下

「チャプター」..... チャプター画面に切り換えます（86 ページ参照）。
「再生」................ タイトルを再生します（24 ページ参照）。
「消去」................ タイトルを消去します（32 ページ参照）。
「タイトル名」..... タイトルに名前をつけます（92 ページ参照）。
「保護」................ タイトルの編集や消去ができないように設定します（91 ページ参照）。
「DV 取り込み」.. デジタルビデオカメラからの映像を取り込みます（72 ページ参照）。
「シーン消去」..... タイトル中の一部を消去します（82 ページ参照）。
「全消去」............. ディスクに記録されている全タイトルを消去します（33 ページ参照）。
「取り消し」......... ひとつ前の作業を取り消して、もとの状態に戻します（98 ページ参照）。

※ 使用できないコマンドは灰色の文字になっていて、実行できません。

プレイリスト画面に切り換えるには

プレイリスト

プレイリストボタンを押します

押すごとに、オリジナル画面とプレイリスト画面とが切り換わります。
プレイリストが選択されていると、本体表示窓の "**PLAYLIST**" インジケーターが点灯します。

プレイリストが選択されている場合

次のどのボタンを押しても、ディスクナビ画面を表示します。

消去

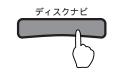
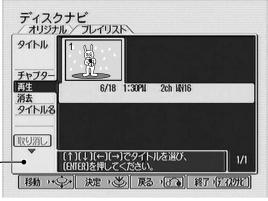
「消去」が選ばれています。

ディスクナビ

「再生」が選ばれています。

編集

停止中は、「シーン消去」が選ばれています。
再生中の場合は、シーン消去の画面を表示します。

ジョイスティックを左に動かしてコマンド選択に合わせてから、上下に動かして選択します。

上
左
下

「チャプター」..... チャプター画面に切り換えます（86 ページ参照）。
「再生」............... プレイリストのタイトルを再生します（24 ページ参照）。
「消去」............... プレイリストのタイトルを消去します（32 ページ参照）。
「タイトル名」..... プレイリストのタイトルに名前をつけます（92 ページ参照）。
「タイトル作成」... オリジナルのタイトル一つを、プレイリストとして登録します（79ページ参照）。
「シーン追加」..... オリジナルの一部を、プレイリストに登録します（80 ページ参照）。
「シーン消去」..... プレイリストのタイトル中の一部を消去します（82 ページ参照）。
「コピー」............ プレイリストのタイトルを複製します（85 ページ参照）。
「移動」............... プレイリストのタイトルを移動します（84 ページ参照）。
「取り消し」......... ひとつ前の作業を取り消して、元の状態に戻します（98 ページ参照）。
※ 使用できないコマンドは灰色の文字になっていて、実行できません。

ディスクナビ画面を終了するには

プレイリスト
消去
ディスクナビ
編集

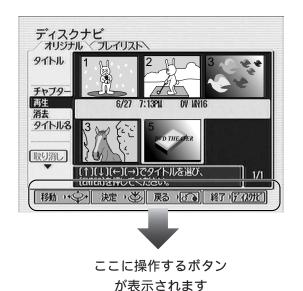
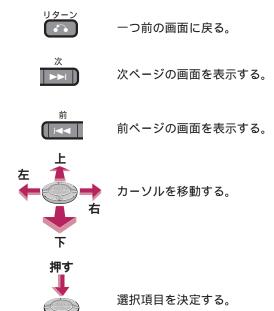
ディスクナビ

ディスクナビボタンを押します

消去ボタン・編集ボタンでは、ディスクナビ画面を終了することはできません。

ディスクナビ画面の基本操作

ここに操作するボタンが表示されます

ボタン	操作
リターン	一つ前の画面に戻る。
次	次ページの画面を表示する。
前	前ページの画面を表示する。
上・下・左・右	カーソルを移動する。
押す	選択項目を決定する。

開始点や終止点のシーンを探すには

80ページのシーンの追加や82ページのシーンの消去などの操作のとき、次のような再生操作が可能です。

早送り / 早戻し（スキャン）

チャプター内を探すなら、ジョグダイヤルによる早送り / 早戻し（37ページ）で探すと便利です。

CMスキップ

CMスキップ（36ページ）なら、30秒単位で最大4分までいっきに進めることができます。

タイトルやチャプターの頭出し

離れているタイトルやチャプターに選択するシーンがあるときは、スキップ（36ページ）やサーチ（40ページ）を使って、タイトルやチャプターを探します。
最後のチャプターで、次（▶▶I）ボタンを押すと、タイトルの最後の場面を探すことができます。ただし、シーン追加では、最後のタイトルのときだけです。

一時停止

再生を一時停止します。
開始場面や終了場面の近くになったら、一時停止(II)ボタンを押して、いったん一時停止すると探しやすくなります。
また、一時停止中はフレーム番号が表示されるので、1フレーム（約1/30秒）単位での場面の指定を行うことができます。

コマ送り

一時停止した場面から1フレーム単位でコマ送り、コマ戻し（39ページ）し、開始や終了の場面を選びます。

プレイリストを作成する

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

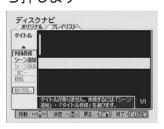
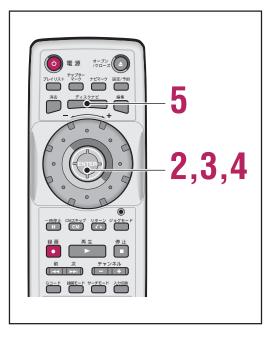
編集の最初に行うのがプレイリストの新規タイトルの作成です。オリジナルをタイトル単位で選び、プレイリストの新しいタイトルとして作成します。

注意

プレイリストのタイトルは99タイトルまで作成可能です。また、1つのタイトルが10時間以上のタイトルを作成すると、表示やタイムサーチなどの機能が働かなくなります。

1. 停止中にプレイリストのディスクナビ画面を表示させます

76～77ページを参照してください。

2. ジョイスティックで「タイトル作成」を選んでから押します

はじめてプレイリストを作成する場合は、すでに「**タイトル作成**」が選択されています。

3. ジョイスティックで、タイトルの挿入場所を決めてから押します

上
左
右
下
押す

以下の画面のように、はじめてプレイリストを作成する場合は、そのままジョイスティックを押します。オリジナルのタイトルが表示されます。

①:「タイトル 1」の前に、新しいタイトルとして登録されます。
②:「タイトル 1」と「タイトル 2」の間に、新しいタイトルとして登録されます。
③:「タイトル 2」の後に、新しいタイトルとして登録されます。

4. プレイリストに追加するタイトルを、オリジナルの中から選びます

ジョイスティックで、オリジナルのタイトルを選んでから押します。

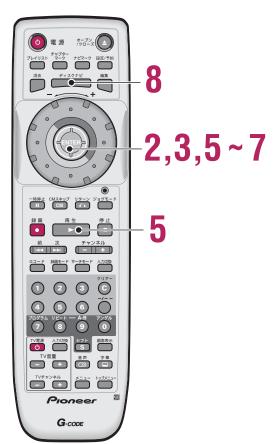
5. プレイリストの新しいタイトルとして作成されます。終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

応用編

編集

オリジナルの一部をプレイリストに追加する

お気に入りのシーンなど、オリジナルの指定した範囲だけを選んで、新しいプレイリストのタイトルまたは今まであるタイトルの新しいチャプターとして追加することができます。
オリジナルの範囲は、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1. 停止中に、 プレイリストのディスクナビ画面を表示させます

76～77ページを参照してください。

2. ジョイスティックで「シーン追加」を選んでから押します

3. ジョイスティックで、シーンの挿入場所を決めてから押します

①:「タイトル1」の前に、新しいタイトルとして追加されます。
②:「タイトル1」の新しいチャプターとして追加されます。この場合、新しいチャプターは、いままでのタイトル1のチャプターの最後に追加されます。
③:「タイトル1」と「タイトル2」の間に、新しいタイトルとして追加されます。
④:「タイトル2」の新しいチャプターとして追加されます。この場合、新しいチャプターは、いままでのタイトル2のチャプターの最後に追加されます。
⑤:「タイトル2」の後に、新しいタイトルとして追加されます。

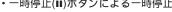
4. オリジナルの映像が表示されます

フレーム表示（一時停止中に表示されます）

5. 再生ボタンを押して再生を開始し、プレイリストとして作成したいシーンの開始場面を選びます

再生中には、以下の機能を使用することができます。詳しくは、78ページを参照してください。

- ジョグダイヤルによる早送り・早戻しやコマ送り
- CMスキップボタンによるCMスキップ
- 前（I◀◀）ボタン・次（▶▶I）ボタンによるタイトルやチャプターの頭出し
- 一時停止（II）ボタンによる一時停止

一時停止

ジョイスティックを押して、開始場面を決定します

右側の「終了」画面に、追加の開始画面の続きから再生を開始します。

6. ジョイスティックを押して、終了場面を決定します

押す

右側の「終了」画面に再生されている画面を見ながら操作します。

フレーム表示

7. ジョイスティックで「確定」を選んでから押すと、選んだシーンが追加されます

開始場面や終了場面を変更する場合、ジョイスティックで開始画面または、終了場面を選択後、再生ボタンを押して再生を開始し、再設定します。

8. 新しいタイトルまたはチャプターとして追加されます。終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

つづけてチャプターを追加する場合は、手順5から繰り返します。

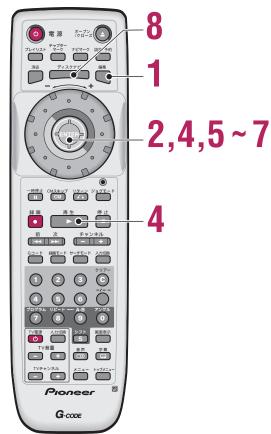
リターン

ディスクナビ画面に戻る場合は、「シーン追加」を選んで、リターンボタンを押します。

応用編

編集

オリジナルやプレイリストの一部を消去する

開始と終了の位置を指定し、その間のシーンを消去します。
シーン消去したところには、チャプターマーク（区切り）が自動的に入ります。

1. 停止中に編集ボタンを押して、ディスクナビ画面を表示させます

編集

再生中に押した場合は、シーン消去画面が表示されます。この場合、ステップ 4 からの操作を行ってください。
オリジナルとプレイリスト画面とを切り換える場合は、プレイリストボタンを押します。

オリジナル

プレイリスト

2. ジョイスティックで、消去したいシーンのあるタイトルを選んでから押します

3. 選んだタイトルのはじめの画面が表示されます

フレーム表示
（一時停止中に
表示されます）

4. 再生ボタンを押して再生を開始し、消去したいシーンの開始場面を選びます

再生中には、以下の機能を使用することができます。詳しくは、78ページを参照してください。

- ジョグダイヤルによる早送り・早戻しやコマ送り
- CMスキップボタンによるCMスキップ
- 前（I◀◀）ボタン・次（▶▶I）ボタンによるタイトルやチャプターの頭出し
- 一時停止(II)ボタンによる一時停止

押す

ジョイスティックを押して、開始場面を決定します

5. 終了場面の再生が開始されます。ジョイスティックを押して、終了場面を決定します

押す

右側の「終了」画面に、消去したいシーンの開始画面の続きから再生を開始します。

6. 「プレビュー」を選んでジョイスティックを押すと、編集後の映像を確認できます

押す

右側の終了画面に、消去指定範囲の前後約3秒間が再生されます。

開始位置や終了位置を変更する場合は、ジョイスティックで開始画面または終了画面を選択後、再生ボタンを押して再生を開始し、再設定します。

7. 「確定」の項目を選んで、ジョイスティックを押すと、選んだシーンが消去されます

同じタイトル内の別のシーンを消去する場合は、手順4から繰り返します。

8. ディスクナビボタンを押して、終了します

再生中に編集ボタンを押してシーン消去画面を表示させた場合は、編集ボタンを押して終了します。

ディスクナビ画面に戻る場合は、「シーン消去」を選んで、リターンボタンを押します。

オリジナルとプレイリストのシーン消去の違いについて

- オリジナルでは、5秒未満のシーンは消去できないことがあります。
- オリジナルのシーンを消去した場合は、録画した映像そのものが、ディスクから完全に消去されます。
- オリジナルを消去すると、消去したシーンの映像がプレイリストで使用されていた場合、プレイリストからも同様に消去されます。このため、プレイリストを再生したときに、その部分の映像が無くなります。
- プレイリストのタイトルから選んだシーンを消去しても、オリジナルには何の影響もありません。
- オリジナルのタイトルから選んだシーンを消去すると、ディスク残量が増えます。ただしその場合は、連続した約1分以上の映像を消去してください。
  プレイリストのタイトルから選んだシーンを消去しても、ディスク残量は変わりません。
- 小さなエリアを数多く消去した場合、消去した部分の合計時間とディスク残量とが一致しなくなる場合があります。消去を行う場合、できるだけ大きな単位で消去することをおすすめします。

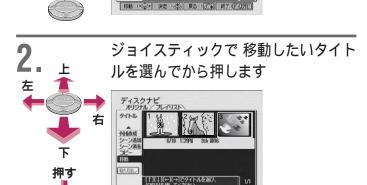
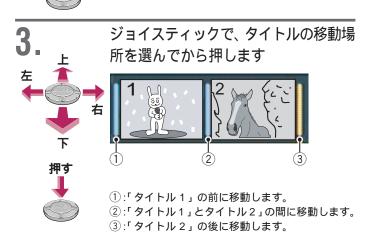
プレイリストのタイトルを移動する

プレイリストのタイトルの順序を変更することができます。これにより、再生する順番を変更することができます。

1. **プレイリストのディスクナビ画面でジョイスティックを操作し、「移動」を選んでから押します**

2. **ジョイスティックで 移動したいタイトルを選んでから押します**

3. **ジョイスティックで、タイトルの移動場所を選んでから押します**

①:「タイトル 1」の前に移動します。
②:「タイトル 1」とタイトル 2」の間に移動します。
③:「タイトル 2」の後に移動します。

4. **タイトルが移動します。終了するには、ディスクナビボタンを押します**

ディスクナビ

プレイリストのタイトルをコピーする

プレイリストをタイトル単位でコピーし、新しいプレイリストを作成することができます。既存のプレイリストと少し違うものを作成するときに便利です。

1. **プレイリストのディスクナビ画面でジョイスティックを操作し、「コピー」を選んで押します**

上 左 下 押す

2. **ジョイスティックで、コピーしたいタイトルを選んでから押します**

上 左 右 下 押す

3. **ジョイスティックで コピーしたタイトルの挿入場所を決めてから押します**

上 左 右 下 押す

①: コピーしたタイトルを、「タイトル 1」の前に挿入します。
②: コピーしたタイトルを、「タイトル 1」と「タイトル 2」の間に挿入します。
③: コピーしたタイトルを、「タイトル 2」の後に挿入します。

4. **タイトルがコピーされます。**
終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

応用編

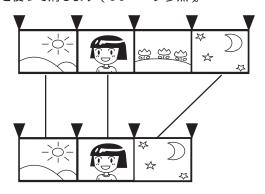
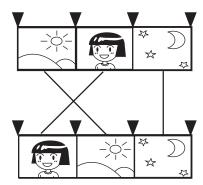
編集

チャプター機能を使って編集する

チャプターとは、タイトルの中の区切りです。チャプター機能を使って編集を行うと、一つのタイトル内のシーンの編集を簡単に行うことができます。

① プレイリストの再生中にチャプターマークボタンを押して、チャプターマークを入れます（49 ページ参照）。

▼：チャプターマーク

② いらない場面のチャプターを、チャプター消去の機能を使って消します（88 ページ参照）。

③ チャプター移動の機能を使って、チャプターごとに区切られた場面を移動します（89 ページ参照）。
チャプターの移動は、プレイリストでのみ可能です。

メモ

▼ チャプターマークのあるオリジナルのタイトルをプレイリストに登録すると、チャプターマークもオリジナルと同じ場所に登録されます。ただし、プレイリストに登録した後オリジナルにチャプターマークをつけた場合は、登録済みのプレイリストには反映されません。

オリジナルとプレイリスト

チャプターは、オリジナルとプレイリストのそれぞれに設定することができます。ただし、プレイリストボタンを押しても、オリジナルのチャプター画面とプレイリストのチャプター画面の切り換えはできません。
チャプター画面への切り換えは、次ページの手順にて行ってください。

オリジナル

プレイリスト

「タイトル」.... ディスクナビ画面に切り換えます。
「再生」........... チャプターを再生します。
「消去」........... チャプターを消去します。（32 ページ参照）
「結合」........... 前後のチャプターを 1 つのチャプターにつなげて一つのチャプターにします。（32 ページ参照）
「移動*1」....... プレイリストのチャプターを移動します。（89 ページ参照）
「取り消し」.... ひとつ前の作業を取り消して、元の状態に戻します。（98 ページ参照）

*1 プレイリストだけの編集機能です。

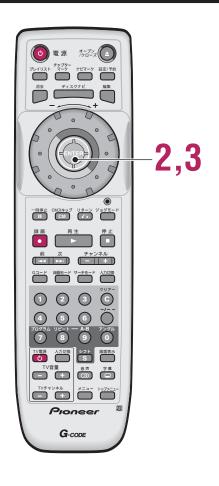
※ 使用できないコマンドは灰色の文字になっていて、実行できません。

チャプターを再生するには....

1. チャプター編集画面でジョイスティックを操作し、「再生」を選んでから押します

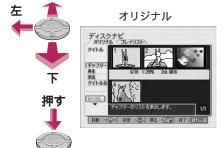
上
左
下
押す

2. ジョイスティックで再生したいチャプターを選んでから押します

チャプター編集画面に切りかえる

1. ディスクナビ画面を表示させます

76～77 ページを参照してください。

2. ジョイスティックで「チャプター」を選んでから押します

上
左
下
押す

オリジナル

プレイリスト

3. ジョイスティックでチャプターを表示させたいタイトルを選んでから押します

上
左
右
下
押す

チャプター編集画面が表示されます。

4. 選んだタイトルのチャプター編集画面が表示されます

オリジナル

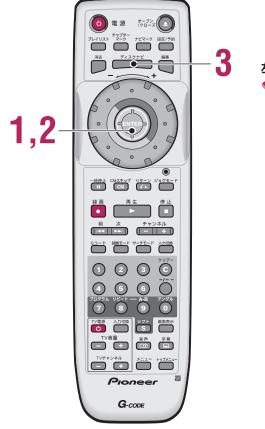
プレイリスト

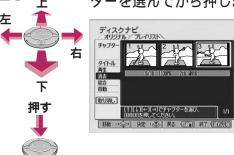
表示される静止画は、各チャプターの先頭の映像です。

メモ

▼ タイトル画面に戻すには、ジョイスティックで「タイトル」を選んでから押します。

チャプターを消去する

チャプターの消去は、オリジナルでもプレイリストでも行うことができます。

1. チャプター編集画面でジョイスティックを操作し、「消去」を選んでから押します

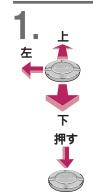
2. ジョイスティックで、消去したいチャプターを選んでから押します

注意

- ◆ オリジナルのチャプターを消去した場合は、録画した映像そのものが、ディスクから完全に消去されます。
- ◆ オリジナルを消去すると、消去したチャプターの映像がプレイリストに使用されていた場合、プレイリストからも同様に消去されます。このため、プレイリストを再生したときに、その部分の映像が無くなります。
- ◆ オリジナルの場合、5秒未満のチャプターは消去できない場合があります。

3. チャプターが消去されます。終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

プレイリストのチャプターを移動する

VRモード
DVD-RW (Ver.1.0)(Ver.1.1)(Ver.1.1 CPRM 対応)

1. プレイリストのチャプター編集画面でジョイスティックを操作し、「移動」を選んでから押します

2. ジョイスティックで 移動したいチャプターを選んでから押します

3. ジョイスティックで チャプターの移動場所を決めてから押します

①:「チャプター 1」の前に移動します。
②:「チャプター 1」と「チャプター 2」の間に移動します。
③:「チャプター 2」の後に移動します。

4. チャプターが移動します。終了するには、ディスクナビボタンを押します

ディスクナビ

編集

前後のチャプターを結合して１つにする

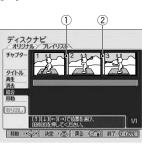
1. 上 左 下 押す

チャプター編集画面でジョイスティックを操作し、「結合」を選んでから押します

オリジナル

プレイリスト

2. 上 左 右 下 押す

ジョイスティックで結合するチャプターのあいだの位置を選んでから押します

①:「チャプター１」と「チャプター２」を結合して１つのチャプターにします。

②:「チャプター２」と「チャプター３」を結合して１つのチャプターにします。

注意 オリジナルでシーンを消去してできたチャプターは、結合できません。

3.

チャプターマークが消去され、チャプターが１つに結合されます。
終了するには、ディスクナビボタンを押します

オリジナルタイトルの編集・消去を不可にする（タイトル保護）

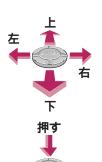
VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

タイトルを保護します。保護したタイトルは、編集・消去できなくなります。保護を解除すると、再び編集や消去が可能になります。
タイトル保護を行うと、別のタイトルやプレイリストの編集の場合も含め、それまでの編集操作を取り消すことができなくなります。

1. オリジナルのディスクナビ画面でジョイスティックを操作し、「保護」を選んでから押します

2. ジョイスティックで、保護したいタイトルを選んでから押します

3. 選んだタイトルが保護されます

保護されたタイトルには、カギのマークがつきます

タイトルの保護を解除する場合は、ジョイスティックで保護されたタイトルを選んでから押します

編集

タイトルに名前をつける

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)

1. ディスクナビ画面でジョイスティックを操作し、「タイトル名」の項目を選んでから押します

オリジナルとプレイリスト画面を切り換える場合は、プレイリストボタンを押します。

オリジナル

プレイリスト

2. ジョイスティックで名前をつけたいタイトルを選んでから押します

上 左 右 下 押す

3. タイトル名の入力画面が表示されます

4. タイトル名の入力位置を決めます

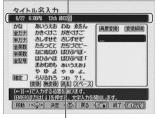
ジョイスティックを左右に動かして、文字を入力したい位置まで移動させます。

押す

消去

文字を消去したいときには、ジョイスティックで「消去」にしてから押します（リモコンの「消去」ボタンを押すことでも消去できます）。

メモ

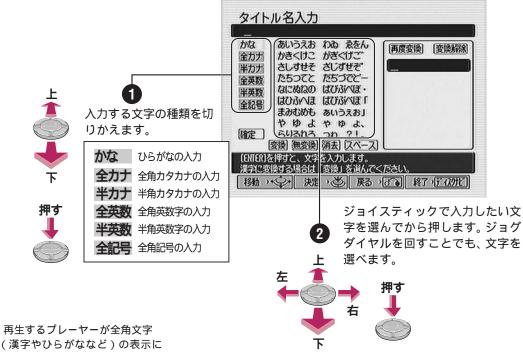
- 録画をすると、録画日時 / 録画時刻 / チャンネル番号などが自動的に作成されます。

注意

- タイトル名として入力できる文字数は、録画されたときに作成されるタイトル名を含め、半角64文字（全角 32 文字）です。

5. 文字を入力をします

❶ 入力する文字の種類を切りかえます。

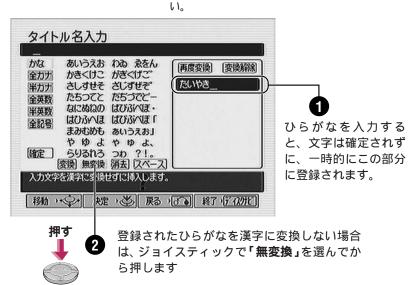
かな	ひらがなの入力
全カナ	全角カタカナの入力
半カナ	半角カタカナの入力
全英数	全角英数字の入力
半英数	半角英数字の入力
全記号	全角記号の入力

❷ ジョイスティックで入力したい文字を選んでから押します。ジョグダイヤルを回すことでも、文字を選べます。

注意 再生するプレーヤーが全角文字（漢字やひらがななど）の表示に対応していないと、正しくタイトル名が表示されません。

ひらがなを入力するには

漢字を入力する場合は、次ページを参照してください。

❶ ひらがなを入力すると、文字は確定されずに、一時的にこの部分に登録されます。

❷ 登録されたひらがなを漢字に変換しない場合は、ジョイスティックで**「無変換」**を選んでから押します

6. すべての文字を入力後、ジョイスティックで、「確定」を選んでから押します

押す

タイトル名として登録されます。

ひらがなを漢字に変換する

漢字は 1 文節ずつ変換します。

● 「宮沢」と入力するときの例

1. **変換したい漢字の読みをひらがなで入力します**

例の場合は、「みやざわ」と入力します。

再度変換　変換解除
みやざわ_

2. **ジョイスティックで「変換」を選んでから押します**

上　左　右　下　押す

変換　無変換　消去　スペース

3. **漢字の候補が表示されます**

候補を選択できます。

上　下

再度変換　変換解除
みやざわ

宮沢
宮澤
ミヤザワ
みやざわ

4. 押す **ジョイスティックで「宮沢」にしてから押します（例の場合）**

5. **入力が確定されます**

タイトル名入力
宮沢

6. **すべての文字を入力後、ジョイスティックで「確定」にしてから押します**

上　左　右　下　押す

確定　らりるれろ
変換　無変換

タイトル名として登録されます。

うまく変換できないとき

入力したひらがなの漢字の候補が表示されずにうまく変換できなかったときは、文節の区切りを変えることで、目的の漢字に変換することができます。

● 「僕の」と入力するときの例

1. **変換したい漢字の読みをひらがなで入力します**

例の場合は、「ぼくの」と入力します。

再度変換　変換解除
ぼくの＿

2. **ジョイスティックで「変換」を選んでから押します**

変換　無変換　消去　スペース

3. **漢字の候補が表示されます**

「ぼくの」の漢字の候補が表示されます。

再度変換　変換解除
ぼくの

ボクの
ボクノ
ぼくの

4. **目的の漢字がないので、文節の区切りを変えます**

ジョイスティックを左右に動かして、変換するひらがなの選択を「ぼく」だけにします。

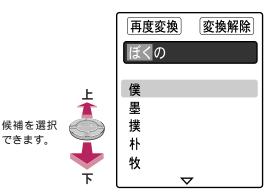
再度変換　変換解除
ぼくの＿

5. **ジョイスティックで「再度変換」を選んでから押します**

再度変換　変換解除
ぼくの

6. 漢字の候補が表示されます

「ぼく」の漢字の候補が表示されます。

候補を選択できます。

7. ジョイスティックで「僕」にしてから押します（例の場合）

押す

「僕」が、タイトルとして確定されます。

8. 「の」の漢字の候補が表示されます

9. ジョイスティックで「変換解除」を選んでから押します

上 左 右 下

押す

10 「の」の漢字変換の選択が解除されます

11 ジョイスティックで「無変換」を選んでから押します

上 左 右 下

押す

12 入力が確定されます

タイトル名入力

僕の_

13 すべての文字を入力後、ジョイスティックを操作して「確定」を選んでから押します

上 左 右 下

押す

タイトル名として登録されます。

文字を消去するには

1. ジョイスティックを操作して消去したい文字を選択します

上 左 右 下

2. ジョイスティックで「消去」を選んでから押します

押す

変換 無変換 消去 スペース

消去ボタンを押しても文字を消去できます。

スペースを入力するには

ジョイスティックを操作して「スペース」を選んでから押します

押す

変換 無変換 消去 スペース

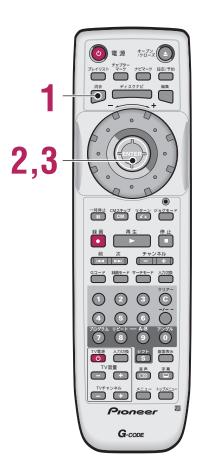
編集

ビデオモードでの編集について

ビデオモードで録画した映像でも、タイトルの消去、タイトル名の入力といった編集操作を行うことができます。
ただし、ビデオモードにはプレイリストはなく、録画したオリジナル映像での編集作業になります。

◆ ファイナライズ済みのディスクは、編集できません。
◆ タイトル消去してもディスク残量は増えません。（DVD-RWを使用していて、最後のタイトルを消去した場合を除きます。）

メモ

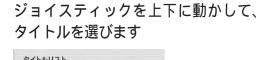
▼ 「DV取り込み」については72ページの「デジタルビデオカメラを操作しながら録画する」を、「取り消し」については98ページの「直前に行った操作を取り消す」をご覧ください。

タイトルの消去

録画したタイトルを消去することができます。

1. 消去ボタンを押します

消去

タイトルリスト画面が表示されます。

2. ジョイスティックを上下に動かして、タイトルを選びます

3. ジョイスティックを押して、タイトルを消去します

押す

タイトル名の入力

1. トップメニュー

トップメニューボタンを押します

タイトルリスト画面が表示されます。メニューボタン、編集ボタン、消去ボタンでも操作できます。

2.

押す

ジョイスティックを下に動かして、「タイトル名」を選んでから押します

3. 上 下

ジョイスティックを上下に動かして、タイトルを選びます

4. 押す

ジョイスティックを押します

タイトルの入力画面が表示されます。
文字入力の操作方法は、92ページの**「タイトルに名前をつける」**を参照してください。

注意

◆ ビデオモードで入力できるタイトル名の文字数は、半角 24 文字（全角 12 文字）になります。
◆ 再生するプレーヤーが全角文字(漢字やひらがななど) の表示に対応していないと、正しくタイトル名が表示されません。
◆ 全角文字 (漢字やひらがななど) の表示に対応していないレコーダーでファイナライズすると、タイトル名が正しく表示されないメニューが作成されます。ファイナライズすると元には戻せないのでご注意ください。

直前に行った操作を取り消す

VRモード DVD-RW (Ver.1.0) (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM 対応)　ビデオモード DVD-RW (Ver.1.1) (Ver.1.1 CPRM対応)　ビデオモード DVD-R (Ver.2.0)

直前に行った編集操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。**「取り消し」**が灰色の文字でないときは、取り消し操作が可能です。
最大3つ前までの操作を取り消すことができます。

ディスクナビ画面の場合

ジョイスティックで、「取り消し」を選んでから押します

直前に行った編集操作を取り消します。

オリジナル　　プレイリスト

タイトルリスト画面（ビデオモード）の場合

ジョイスティックで、「取り消し」を選んでから押します

注意

以下の操作を行った場合は、これまでの編集操作の取り消しができなくなります。

- ◆ 新たに録画を行った場合
- ◆ ディスクを取り出した場合
- ◆ 本機の電源をオフにした場合
- ◆ ディスクやタイトル（オリジナル）の保護を設定/解除した場合
- ◆ 初期化、ファイナライズ（または解除）を行った場合
- ◆ 「録画モードの変更」（21ページ）か「録画映像の画質を調整する」（54ページ）で確認を行った場合

編集画面を終了したあとでも、上記の操作を行わない限り、再び編集画面で前に行った操作を取り消すことができます。

チャプター編集画面の場合

ジョイスティックで、「取り消し」を選んでから押します

直前に行った編集操作を取り消します。

オリジナル　　プレイリスト

メモ

▼ ディスクナビ画面やチャプター編集画面での「取り消し」の操作は、オリジナルとプレイリストで共用しています。そのため、プレイリストで行った編集操作を、オリジナル編集画面で「取り消し」することもできます。

シーン消去・シーン追加の場合

シーン編集の取り消しのみ可能です。その他の編集操作の取り消しは、ディスクナビ画面で行います

「本体設定」画面の操作のしかた

本機には、使用する上でのいろいろな環境設定があらかじめ設定されています。これらの設定は、使用環境に合わせ、「本体設定」画面を使って変更することができます。
ここでは、「本体設定」画面の基本的な操作方法や使用するボタンについて説明します。

1. 設定 / 予約ボタンを押します

設定/予約

設定 / 予約画面が表示されます。

2. ジョイスティックを下に動かして「本体設定」を選び、そのままジョイスティックを押します

本体設定を終了する。

一つ前の画面に戻る。

カーソルを移動する。

押す

選択項目を決定する。

再生中に変更できない項目

再生中に設定の変更ができない項目は、灰色または白色の文字で表示されます。

設定

メモ

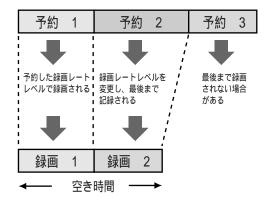
▼ 設定画面を表示させたままにしておくと、約20分で自動的に消えます。

[基本]の設定をする

ジャスト録画機能をオン・オフする

ディスクの空き時間不足で予約録画の番組が録画しきれないとき、予約録画開始前に自動的に録画レベルを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。
出荷時の設定は「オフ」になっていますので、ジャスト録画機能を働かせたい場合には「オン」に設定してから予約録画してください。

注意

◆ VR モードのディスクをセットした場合に働きます。
◆ 本体でのタイマー予約録画（G コード予約録画）またはディスク予約録画のときのみ有効です。手動操作による録画、ワンタッチ録画、オートスタート録画のときにはジャスト録画機能は働きません。
◆ 録画レベル 1 でも空き時間が足りない場合は、レベル 1 で可能なところまで録画します（DV 入力の場合、レベル 9 より下の録画レベルには変更しません）。
◆ 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。そのあとに予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。
◆ ジャスト録画時の録画レベルは、予測に基づいて余裕をもって設定されますので、若干の空き時間が発生します。

[チューナー]の設定をする

以下の設定は、接続と設定の「チャンネルを合わせる」（24 ～ 31 ページ）をご覧ください。

- **一括チャンネル設定**
- **個別チャンネル設定**
- **ガイドチャンネル設定**

BS アンテナ電源を切り換える

本機に BS アンテナを接続したときに設定します。この設定は再生中に変更できません。

オン:
本機に直接BSアンテナを接続したときに設定します。本機から常に BS アンテナに電源が供給されます。

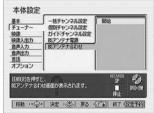
オフ:
本機にBSアンテナを接続していないか、壁のアンテナ端子（マンションなどの共同受信システム）と接続したときに設定します(出荷時の設定)。

連動:
本機に直接 BS アンテナを接続したときに設定します。
本機の電源が入っていて以下のような場合にのみ、BSアンテナに電源が供給されます。
・本機で BS チャンネルを選んでいるとき。
・テレビから本機のBS-IF出力端子にBSアンテナ電源が供給されているとき。

BS アンテナを調整する

BS アンテナの受信角度を調整するために使用します。この設定は再生中に変更できません。

1. 押す

ジョイスティックで [開始] を選んでから押します

2. **BS アンテナの受信角度を調整します**

BS アンテナ合わせ画面が表示されます。
入力レベルが高くなるようにアンテナの角度を合わせます。MAXの値は、アンテナ合わせ中の入力レベルの最大値を保持します。角度微調整の際は、入力レベルをMAX値に近付けるようにするとより正確です。

[映像]の設定をする

「テレビ画面サイズ」の設定については、接続と設定の20ページをご覧ください。

テレビにあわせて録画映像の縦横比を選ぶ

ビデオモードで録画するときの映像の縦横比（アスペクト比）をワイドテレビのサイズの横16：縦9として扱うか、横4：縦3の従来テレビのサイズで扱うかを設定することができます。

4:3：
　横4：縦3の従来テレビのサイズで録画したいときに選びます（出荷時の設定）。

16:9：
　横16：縦9のワイドテレビのサイズで録画したいときに選びます。

自動：
　横4：縦3の従来テレビのサイズか横16：縦9のワイドテレビのサイズを、録画開始時の映像情報に合わせたサイズで録画したいときに選びます。

静止映像を切り換える（ポーズモード）

DVDの再生を一時停止したときの映像の状態を切り換えます。

フィールド:
　映像のブレをなくします。

フレーム:
　映像はブレることがありますが、鮮明な映像を見ることができます。

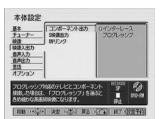
自動:
　再生しているディスクに合わせ、フィールドとフレームを自動切り換えします（出荷時の設定）。

注意

◆ ディスクによっては、**「フィールド」**を選択しても**「フレーム」**と同様の鮮明な映像のままの場合があります。

[映像入出力]の設定をする

映像のコンポーネント出力方式を切り換える

コンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子に接続したテレビがプログレッシブ対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。

プログレッシブ：
　きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

インターレース：
　プログレッシブ対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します（出荷時の設定）。

▼ プログレッシブ対応でないテレビと接続したときに、「プログレッシブ」を設定してしまうと、映像が出力されなくなります。このようになってしまった場合には、本体の「❚❚PAUSE」ボタンを押しながら「FL DIMMER」ボタンを押して、「インターレース」に設定して下さい。

注意

◆ お使いのテレビによっては、プログレッシブ映像で4：3画面に切り換えられない場合があります。このようなテレビで映像を4：3画面でご覧になりたい場合には、「インターレース」に設定してください。

◆ **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**
現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のテクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

＊本機と互換が取れている当社のプログレッシブテレビ
PDP-502HD　（2001年6月現在）

テクニカルサポートセンター　0088-22-8102
受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00
（ただし、土曜日、日曜日、祝日、弊社休日は除く）
<ご注意>● PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

S 映像出力を切り換える

S 映像出力端子から出力される映像信号を切り換えます。本機とテレビをS映像端子で接続しているときに映像が横方向に引き伸ばされてしまう場合は、**［S1］**を選択してください。

S1:

横 16：縦 9（ワイドテレビのサイズ）の映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でフルモードに切り換わります。

S2:

S1 の機能に加えて、横 4：縦 3 のレターボックス（従来のテレビのサイズで上下に黒い帯が入っている）映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動でズームモードに切り換わります（出荷時の設定）。

DV リンクを設定する

1 台のデジタルビデオカメラを選んで通信を行う機能（リンク機能）の設定を行います。
DV 端子に接続したデジタルビデオカメラの映像が映らない、または音声が出力されない場合や、DV取り込み（72ページ参照）が正しく動作しない場合には、この設定を**「オフ」**にしてください。

自動：

リンク機能を有効にするかどうかを自動選択するように設定します（出荷時の設定）。

オフ：

リンク機能を無効にします。リンク機能に対応していない機器をつなぐ場合に設定します。

[音声入力]の設定をする

外部入力の音声を選ぶ

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。
外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）付きの映像を録画する場合は、かならず**「二カ国語」**を選択してください。**「ステレオ」**で録画すると、再生時に２つの音声が重なって聞こえます。**「二カ国語」**で録画すると、VRモード（MN1〜MN31とMN32かつDV入力）では再生時に主音声と副音声とを切り換えることができます。またビデオモードおよびVRモードのMN32（DV入力以外）では、**「二カ国語時記録音声を選ぶ」**で設定している方の音声のみが記録されます。

ステレオ：

左右のスピーカーから音声を出力します（出荷時の設定）。

二カ国語：

主音声、副音声を切り換えて出力できます。
以下の場合には、「二カ国語時記録音声」（次ページ参照）で設定している音声で出力されます。

・ VR モードのディスクがセットされていて録画モードがMN32になっているとき（DV入力を選んでいるときを除く）。
・ ビデオモードのディスクがセットされているとき。

チューナー音声レベルを選ぶ

DVD 再生の音声レベルとテレビ番組の音声レベルを比較すると、テレビ番組の音声レベルの方が大きく聞こえる場合があります。この設定で**「小」**を選ぶと、テレビ番組の音声レベルがDVD 再生の音声レベルと同程度に聞こえるようになります。出荷時の設定は、**「標準」**になっています。

二カ国語時記録音声を選ぶ

ビデオモードおよびVRモードMN32（DV入力以外）で録画する番組が二カ国語放送の場合、主音声または副音声のどちらの音声を記録するかを選びます。
録画時にはここで選択した音声のみが記録されますので、再生時に音声の切り換えはできません。VRモード（MN1～MN31とMN32かつDV入力）の場合は、どちらの音声も記録されますので、再生時に切り換えることができます。
出荷時の設定は**「主音声」**になっています。

DV入力音声を選ぶ

デジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を選びます。
- デジタルビデオカメラの音声がサンプリング周波数32kHz、量子化12bitの場合の機能です。DVの音声モードについては、102ページを参照してください。
- 接続した機器によっては、切り換え時にノイズが入ることがあります。

ステレオ1：
録画したときの音声を取り込みます（出荷時の設定）。
ステレオ2：
アフレコなどあとから追加した音声を取り込みます。

[音声出力]の設定をする

以下の設定は、接続と設定の22ページをご覧ください。
- **デジタル出力のオン / オフを選ぶ**
- **ドルビーデジタル出力を選ぶ**
- **DTS出力を選ぶ**
- **96kHz PCM出力を選ぶ**
- **MPEG出力を選ぶ**

ドルビーデジタル音声を調節する

再生時音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。オーディオDRC(ダイナミックレンジコンプレッション)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、会話のシーンなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

大・中・小：
オーディオDRC機能を有効にします。効果の大きさを3種類から選べます。
オフ：
オーディオDRC機能を無効にします（出荷時の設定）。

注意

◆ ドルビーデジタル音声が入っているディスクで、かつDRC機能のあるディスクにのみ、働く機能です。

設定

[言語]の設定をする

DVDの中には、1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは、本体設定画面の[言語]にある言語と字幕に関するさまざまな設定を行います。

音声言語を選ぶ

音声言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語：
日本語の音声を出力します（出荷時の設定）。

英語：
英語の音声を出力します。

その他：
音声出力する言語を選びます。詳しくは、107ページの「音声言語/字幕言語/DVDメニュー言語の設定で[その他]を選んだとき」をご覧ください。

字幕言語を選ぶ

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語：
日本語の字幕を表示します（出荷時の設定）。

英語：
英語の字幕を表示します。

その他：
字幕表示する言語を選びます。詳しくは107ページの「音声言語/字幕言語/DVDメニュー言語の設定で[その他]を選んだとき」をご覧ください。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕の言語を自動設定にするか、「音声言語を選ぶ」、「字幕言語を選ぶ」で選んだ言語にするかを選びます。[音声言語]と[字幕言語]が同じで字幕表示がオンのときのみ、この機能は働きます。この設定は再生中に変更できません。

オン：
一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語・字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語・字幕はオフが選択されます(出荷時の設定)。

オフ：
[音声言語]と[字幕言語]で設定しているとおりの言語の音声と字幕になります。

◆ ディスクによっては､上記のように動作しない場合もあります。

DVDのメニュー言語を選ぶ

DVDのディスク上のメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

字幕言語に連動：
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます（出荷時の設定）。

日本語：
日本語でメニュー画面を表示します。

英語：
英語でメニュー画面を表示します。

他：
メニュー表示画面で使用する言語を選びます。詳しくは107ページの「音声言語/字幕言語/DVDメニュー言語の設定で[その他]を選んだとき」をご覧ください。

◆ ディスクに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

字幕表示のオン / オフ を選ぶ

字幕を表示するかしないか、またはアシスト字幕を表示するかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン　：
　字幕を表示します（出荷時の設定)。
オフ　：
　字幕を表示しません。ただし、DVD ビデオの中には、強制的に字幕を表示するものがあります(下記の「強制的に表示される字幕の言語を選ぶ」を参照)。
アシスト字幕：
　耳の不自由な方のためなどに場面の状況を説明するアシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を選ぶ

字幕表示を[オフ]にしても強制的に表示される字幕の言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

音声連動：
　再生されている音声と同じ言語で字幕を表示します。
選択字幕：
　本体設定画面の[字幕言語]で選択されている言語で字幕を表示します（出荷時の設定)。

[オプション]の設定をする

画面表示のオン / オフを選ぶ

「再生」・「停止」など、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないときに設定を変更します。

オン：
　操作表示をします（出荷時の設定)。
オフ：
　操作表示をしません。

アングルマーク表示のオン / オフを選ぶ

再生中にアングルが切り換えられる場面で表示されるマークを表示させたくないときに設定を変更します。

オン：
　画面にマークを表示します（出荷時の設定)。
オフ：
　画面にマークを表示しません。

フレームサーチを設定する

フレーム番号を指定してタイムサーチを行いたいときに、「オン」に設定します(40 ページ参照)。
また、この設定を「オン」にしていると、再生一時停止中にディスクの情報を表示したときにフレーム番号が表示されます(55 ページ参照)。

オン：
　フレームサーチを行います。

オフ：
　フレームサーチを行いません(出荷時の設定)。

ディスクナビ表示映像を設定する（ナビマーク）

ディスクナビに表示される各タイトルの映像を取り込む位置を設定します。ディスクナビの映像を、あとからお好みの位置に変える場合は、49 ページをご覧ください。

0 秒：
　録画を開始したときを、ディスクナビに表示される映像とします（出荷時の設定)。

30 秒：
　録画を開始して30秒後を、ディスクナビに表示される映像とします。

3 分：
　録画を開始して 3 分後を、ディスクナビに表示される映像とします。

注意

◆ タイトルの長さがここで設定した時間より短い場合、録画開始時の映像がディスクナビに表示される映像となります。

録画の開始操作を設定する

DVD-R の録画の開始操作を、DVD-RW の録画時と同様、録画ボタンを 1 回押すだけで開始するように変更することができます。
出荷時の設定は、録画ボタンを 2 回押さないと録画を開始しない**「手動（2 回押し)」**になっています。

BSデジタルチューナーなどのIrシステムを使用してDVD-Rに録画する場合には、**「自動（1 回押し)」**に設定してください。

注意

◆「自動（1 回押し)」に設定している場合、録画ボタンを押した直後は録画準備動作を行うため、その間の映像は録画されません。

ビデオモードでのチャプター挿入を設定する

ビデオモードで録画した場合、チャプターマークは本体設定で設定した間隔で自動的に入ります。また、チャプターマークを入れずに録画することもできます。ただしこの場合、再生時にチャプタースキップやチャプターサーチを行うことはできません。また VR モードのように、後からチャプターマークを挿入したり消去したりすることはできません。

区切りなし：
　チャプターマークを挿入しないで録画します。

3 分：
　3分ごとにチャプターマークを挿入して録画します（出荷時の設定)。

5 分：
　5 分ごとにチャプターマークを挿入して録画します。

10 分：
　10 分ごとにチャプターマークを挿入して録画します。

複数のレコーダーを同時に使用する

本機を複数台お使いの場合に、本機とリモコンを対応させて誤動作しないように設定します。
出荷時の設定は**「レコーダー 1」**になっています。

「レコーダー 2」または「レコーダー 3」に設定した場合、本体表示窓に「2」または「3」が表示されます。

注意

◆ リモコンモードを変更した場合は、リモコンが効かなくなります。以下の方法で、リモコン側のリモコンモードを本体側のものに合わせてください。

リモコンでのリモコンモード設定方法

リターンボタンを押しながら、設定したいリモコンモードの数字ボタン（①か②か③）を５秒以上押し続けます

設定されるとジョグモードインジケーターが点灯します。

音声言語／字幕言語／ DVD メニュー言語の設定で［その他］を選んだとき

113 ページの言語コード表を見ながら操作します。

1. ［その他］を選び、ジョイスティックを押します

押す

言語選択画面が表示されます。
例）音声言語の場合

2. ジョイスティックを操作して、[言語]または[コード]を選びます

[言語]で言語を選ぶ場合

ジョイスティックを左右に操作し、入力したい言語名を選びます。

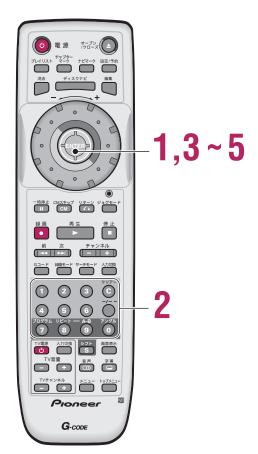
[コード]で言語を選ぶ場合

入力するコードを 113 ページの言語コード表から選び、入力します。
たとえば「フランス語」を選ぶ場合は、リモコンの数字ボタンの 0、6、1、8 を順に押します。
入力するコードによっては、言語名が表示されない場合があります。

3. ジョイスティックを押して決定します

押す

設定

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限を設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。
本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。たとえば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7・レベル8のディスクを再生するためには、暗証番号の入力が必要となります。

注意

◆ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。
◆ 暗証番号を忘れたときは、出荷時の設定に戻して設定し直してください(118ページ参照)。
◆ 初めてお使いになる場合や出荷時設定に戻した場合は、レベル変更画面や暗証番号変更画面で最初に入力した番号が暗証番号として登録されます。

視聴制限をする（パレンタルロック） DVD

レベルを設定する

視聴制限のレベルと暗証番号を設定します。この設定は再生中にはできません。

1. 押す

［レベル変更］を選び、ジョイスティックを押します

暗証番号の入力画面が表示されます

2. **数字ボタンを押して、暗証番号を入力します**

入力を間違えた場合は、ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。

メモ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

3. 押す

ジョイスティックを押して決定します

レベル部分にカーソルが移動します。

4. **ジョイスティックを左右に動かしてレベルを選びます**

出荷時には、レベル 8 （視聴制限しない）に設定されています。

5. 押す **ジョイスティックを押して決定します**

視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限された DVD ビデオを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

1. **数字ボタンで暗証番号を入力します**

入力を間違えた場合は、ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。

2. **ジョイスティックを押して決定します**

再生が始まります。

暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。再生中には、この操作はできません。

1. 押す **［暗証番号変更］を選び、ジョイスティックを押します**

2. **数字ボタンを押して、現在の暗証番号を入力します**

入力を間違えた場合は、ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。

3. 押す **ジョイスティックを押して決定します**

暗証番号変更の画面が表示されます。

4. **数字ボタンを押して、新しい暗証番号を入力します**

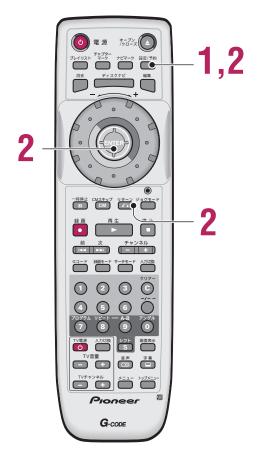
入力を間違えた場合は、ジョイスティックを左右に動かして桁を移動します。

5. 押す **ジョイスティックを押して決定します**

暗証番号が変更されます。

設定

「ディスク設定」画面の操作のしかた

「ディスク設定」画面では、使用するディスクについての設定や、初期化・ファイナライズを行うことができます。
ここでは「ディスク設定」画面の基本的な操作方法や使用するボタンについて説明します。なお、ファイナライズの操作方法については、34ページをご覧ください。

1. 設定 / 予約ボタンを押します

設定 / 予約画面が表示されます。

2. ジョイスティックを下に動かして「ディスク設定」を選んでから押します

ディスク設定を終了する。

一つ前の画面に戻る。

カーソルを移動する。

選択項目を決定する。

ディスクや録画モードなどによって変更できない項目

ディスクや録画モードなどによって設定の変更ができない項目は、灰色または白色の文字で表示されます。

◆「ディスク予約」の項目については、67ページを参照してください。

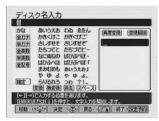
[基本]の設定をする

ディスク名を入力する

使用するディスクにお好みの名前をつけることができます。

1. **ジョイスティックで［基本］➡［ディスク名入力］➡［次画面へ］を選んでから押します**

2. **ディスク名の入力画面が表示されます**

文字の入力の操作方法は、92ページの「タイトルに名前をつける」を参照してください。

録画・編集を不可にする（ディスク保護）

録画したディスクを保護します。保護したディスクは、録画・編集などディスクの内容を変更する操作ができなくなります。また、ディスク保護を解除するときもこの操作を行います。保護を解除したディスクは、再び録画や編集が可能になります。

オン　：
ディスクを録画、編集不可に設定します。

オフ　：
録画、編集不可の設定を解除します。

注意

◆「ディスク保護がオンに設定されていても、初期化することはできます。初期化するときは十分にご注意ください。

注意

◆ ディスク名に全角文字（かな、漢字、全角記号）を使用したディスクは、全角文字表示対応でない他のDVDプレイヤーやDVDレコーダーでは正しく表示されません。

◆ ディスク名に全角文字（かな、漢字、全角記号）を使用したビデオモードのディスクを、全角文字表示対応でない他のDVDレコーダーでファイナライズ（34ページ参照）してしまうと、全角文字が正しく表示されないディスクが作成されてしまいます。このディスクは、本機でも全角文字については正しく表示できなくなりますので、十分ご注意ください。

◆ VRモードで入力できるディスク名の文字数は、半角64文字（全角32文字）、ビデオモードで入力できるディスク名の文字数は、半角24文字（全角12文字）です。

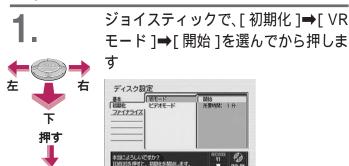
設定

初期化をする

DVD-RW を VR モードで初期化する

ディスクの内容をすべて消去し、VR モードで使用できるようにします。

大切な内容を消去しないように中身を確認してから行ってください。

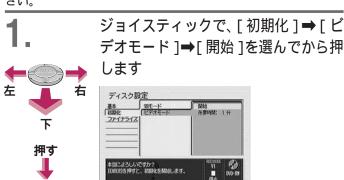
1. **ジョイスティックで、[初期化] ➡ [VR モード] ➡ [開始] を選んでから押します**

2. **VR モードで初期化が開始されます**

DVD-RW をビデオモードで初期化する

ディスクの内容をすべて消去し、ビデオモードで使用できるようにします。

Ver,1.0 のディスクは、ビデオモードで使用することはできません。

大切な内容を消去しないように中身を確認してから行ってください。

1. **ジョイスティックで、[初期化] ➡ [ビデオモード] ➡ [開始] を選んでから押します**

2. **ビデオモードで初期化が開始されます**

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

言語名（言語コード）	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名（言語コード）	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。
ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。

電源が入らない

・電源コードをコンセントに正しく接続してください（「接続と設定」：P.9/11/13）。

映像が映らない

・接続が正しいか確認してください（「接続と設定」：P.9）。
・TV または AV アンプなどで本機をつないだ入力端子を選択してください。
・プログレッシブ非対応のテレビと接続しているときにコンポーネント出力の設定を「プログレッシブ」に設定してしまった場合は、本体の「II PAUSE」ボタンを押しながら「FL DIMMER」ボタンを押して、「インターレース」に設定してください。

BS 放送の映像が出ない・乱れる

・BS アンテナ電源の設定を確認してください（P.100）。
・BS アンテナの向きがずれていないか確認してください。

ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう

・ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（P.22）。
・ディスクの表裏を正しくセットしてください。
・ディスクをクリーニングしてください(P.15)。
・DVD ビデオの場合、地域番号（リージョンナンバー）が一致していることを確認してください（P.17）。
・本機で使用できるディスクであることを確認してください（P.14）

二カ国語の音声が切り換えられない

・ファイナライズされていないビデオモードのディスクがセットされている場合、またはVRモードのディスクがセットされていて録画モードが MN32（DV 入力以外）の場合は、本体設定画面の二カ国語時記録音声」で切り換えてください（P.103）。
・外部入力（L1 ～ L3、DV）の場合には、音声入力 - 外部入力音声を二カ国語に設定してください（P.102）。
・デジタル接続されたアンプなどを通して音声を出力する場合、音声の種類がドルビーデジタル・MPEG・DTS・でPCM音声に変換していない場合は、アンプ側で音声を切り換えてください。
・ステレオモードで録画されたものは、再生時には切り換えできません。録画する前に「外部音声」で設定してください（P.102）。
・ビデオモード録画されたディスクまたは本機で VR モード MN32 で録画された（DV 入力以外）ディスクには、一方の音声しか記録されていないため、切り換えできません。

再生できない

・ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（P.22）。
・ディスクを表裏正しくセットしてください。
・ディスクをクリーニングしてください（P.15）。
・本機の内部の結露を除去してください（P.117）。
・NTSC方式以外の方式で記録されたディスクは、再生できないことがあります。

録画ができない / できなかった

・ディスク残量が足りているか確認してください（P.21/60/62）。
・オリジナルのタイトル数またはビデオモードのタイトル数が 99 になっていないか、オリジナルのチャプター数が 999 になっていないか確認してください（P.21/62）。
・録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください（P.19/「DVD レコーダーマガジン」：P.6）。
・ビデオモードでは、「一回だけ録画可能」な映像でも録画できません。
・VR モードの場合、ディスクが保護されていないか確認してください（P.21/111）。
・録画チャンネルを合わせるときに、DVD（本機）のチャンネル切り換えボタンを操作したか確認してください（P.28）。
・予約録画待ちの間または予約録画中に停電がなかったか確認してください。
・予約録画の時間が重なっていなかったか確認してください（P.60/62）。

DVD-RW にビデオモードで録画できない

・Ver 1.0 の DVD-RW には、ビデオモードでの録画はできません。Ver 1.1以降のディスクを使用してください（バージョンはジャケットなどに表示されています）。

マークが画面に表示される

・ディスクがその操作を禁止しています（P.3）。

マークが画面に表示される

・本機でその操作を禁止しています（P.3）。

画面が縦または横に伸びている

・本機の外部入力(L1～L3、DV)は、アスペクト信号(ID-1)に対応してワイド切り換えを行います。接続している機器がID-1 に対応していない場合には、接続機器側で、横 4：縦 3 の正常な映像を出力するように設定してください。
・ディスクの再生映像が縦に伸びている場合には、お使いのテレビに合わせて、「テレビ画面サイズ」の設定を行ってください（「接続と設定」：P.20）。
・上記で設定できない場合は、テレビ側で設定してください。

外部入力時の映像が乱れる

・アナログコピープロテクションシステムのコピー禁止信号が入った映像を出力する機器の場合は、テレビにも直接接続してください。

DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い

・本機はアナログコピープロテクションシステムに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをビデオカセットレコーダーなどを経由して再生したりビデオカセットレコーダーに録画して再生したりすると、コピープロテクションシステムにより正常に再生できません。このため本機は、テレビにも直接接続してください。

DVD プレーヤー / 他の DVD レコーダーで再生できない

・ビデオモードのディスクの場合は、ファイナライズを行ってください（DVDプレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないモデルがあります）（P.34）。
・DVD-RW（VR モード）は、RW 対応の DVD プレーヤーでないと再生できません。
・本機で、「1 回だけ録画可能」の番組を録画したディスクは、本機以外では再生できません。

再生中に画面が止まり、操作を受け付けない

・停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。

デジタル出力から96kHzで出力できない

・ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります。このようなディスクでは、本体設定画面の「96kHz PCM出力」の設定を「96kHz」にしていても、48kHzに変換してデジタル出力します。

DVDとCDで音量差を感じる

・これは、ディスクの記録方式の違いによるものです。

リモコンで操作できない

・本体後面のコントロール入力端子が他の機器と接続されているときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください(P.9)。
・リモコンの設定番号と本機の設定番号を合わせ直してみてください(P.107)。リモコンのリモコンモードは、乾電池の交換時や消耗時に、「レコーダー1」に戻ることがあります。
・リモコンの使用範囲で操作してください(P.9)。
・リモコンの乾電池を新しいものと交換してください(「接続と設定」:P.3)。

テレビなどが誤動作する

・ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

ディスクナビ画面や、編集部分の映像がずれる

・本機以外のDVDレコーダーで録画、編集したディスクを再生すると、ディスクナビ画面や編集部分の映像が多少ずれることがあります。

フレーム番号を指定してタイムサーチができない。フレーム番号が表示されない。

・本体設定画面で「フレームサーチ」を「オン」にしてください(P.106)。
・フレーム番号を指定したタイムサーチは、DVDでのみ行うことができます。
・フレーム番号は、DVDの再生一時停止時のみ表示されます。

指定したフレーム番号の位置にサーチできない。コマ送り再生時、フレーム番号がとばされる。

・24コマフィルムのプログレッシブ映像が記録されているディスクの場合、24コマを30フレームにあてはめるため、本機では5フレームに1度の割り合いでフレーム番号がとばされます。このとばされたフレーム番号にサーチを行うと、次のフレーム番号がサーチされます。また、コマ送り再生時もフレーム番号がとばされますが、動作上コマ落ちしているわけではありません。

設定内容が消える

・電源が入っているときに停電したり電源コードが抜かれたりして電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときには電源を切り、表示窓の「POWER OFF」表示が消えたことを確認してください。

DV端子に接続したカメラの映像が本機で映らない / 音が出ない

・接続を確認してください(「接続と設定」:P.15)。
・DVケーブルを接続し直してください。
・DVリンクをオフにしてみてください(P.102)。
・DV入力音声を切り換えてみてください(P.103)。
・一度デジタルビデオカメラの電源を切り、ふたたび入れてみてください。
・一度本機の電源を切り、ふたたび入れてみてください。
・本機では、サンプリング周波数が44.1kHzの入力音声は扱えません。

DVDの再生映像がDV端子に接続したカメラで映らない / 音がでない

・接続を確認してください（「接続と設定」:P.15)。
・DVケーブルを接続し直してください。
・一度再生を停止し、ふたたび再生を開始してみてください。
・本機のDV端子には、一台のデジタルビデオカメラのみを接続してください。
・一度デジタルビデオカメラの電源を切り、ふたたび入れてみてください。
・一度本機の電源を切り、ふたたび入れてみてください。
・「録画禁止」または「一回だけ録画可能」の映像・音声は出力しません。
・ビデオCD・音楽CDの映像・音声は出力しません。
・テレビ番組・外部入力の映像・音声は出力しません。

DV端子に接続したカメラが本機のリモコンで操作できない

・接続したカメラによっては操作できないものもあります。

スピーカーから音が出ない、音が歪む

・テレビまたはAVアンプなどの音量が最小になっている場合はボリュームを上げてください。
・録音レベルを上げてみてください。音が歪む場合には、録音レベルを下げてみてください(P.27)。
・音声ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
・接続プラグの差し込みが外れたり、不十分になっていないか確認してください。
・接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
・一時停止やスロー再生では音は出ません。
・デジタル接続しているときは「デジタル出力」の設定を「オン」にしてください（「接続と設定」:P.22)。
・DTS音声は、デジタル出力端子からのみ出力されます。DVD、CDのDTS音声を楽しむ場合は、本機のデジタル出力端子と　DTS対応アンプのデジタル入力端子とを接続(「接続と設定」:P.12）し、「DTS出力」の設定を「オン」にしてください（「接続と設定」:P.23)。
・CDのDTS音声を楽しむ場合は、繰り返し音声ボタンを押して、ステレオを選んでください（P.48)。

テレビ画面にこんな表示が出たら

（テレビ画面） **ディスクを初期化しています。しばらくお待ちください。**

一度も録画していないDVD-RWのディスクをセットすると、本機は自動で初期化を行います。

（テレビ画面） **録画停止まであとXX秒です。しばらくお待ちください。**

ビデオモードでの録画は30秒単位で行われます。このため、停止ボタンを押したあとも、30秒単位になるまで録画が継続されます。

（テレビ画面） **リージョンNo.が合っていません。**

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには地域番号(リージョンナンバー)が設けられています。このようなディスクは、本機(日本向け)で設定された番号(2番)を含んでいないため、再生できません。

（テレビ画面） **これ以上タイトルを録画できません。**

管理情報が一杯です。編集・実行ができません。

これ以上チャプターマークを追加できません。

タイトル数やチャプター数・その他の管理情報が一杯です。不要なタイトルの消去（32ページ）や前後のチャプターの結合など（90ページ）を行ってください。

（テレビ画面） **このディスクは録画できません。ファイナライズ解除してください。**

他社DVDレコーダーでファイナライズされたディスクに録画しようとした場合に表示されます。ディスク設定の「ファイナライズ解除」（34ページ）を実行してください。

（テレビ画面） **不適当なディスクなので、再生できません。**

このディスクは録画できません。

CPRM情報が正しく読めません。

録画準備ができませんでした。

ディスクに情報を記録できませんでした。

編集できませんでした。

初期化できませんでした。

正しくファイナライズできませんでした。

正しくファイナライズ解除できませんでした。

正しくディスク保護解除できませんでした。

ディスクにキズや汚れなどが付いている可能性があります。ディスクを取り出して汚れを取り除き、再びディスクをセットして確認してください。それでも上記内容が表示される場合には、新しいディスクに交換してみてください。ディスクを交換してもなお表示される場合には、弊社サービスにご連絡ください。

（テレビ画面） **CPRM対応ディスクでないので、録画できません。**

この映像はビデオモードで録画できません。

録画しようとしている映像が、「1回だけ録画可能」な映像です。「1回だけ録画可能」の映像は、DVD-RW Ver.1.1CPRM対応のディスクをVRモードで使用したときのみ録画できます。詳しくは、DVDレコーダーマガジン：6ページの「著作権保護のルール」をご覧ください。

（テレビ画面） **録画禁止の映像がありました。ディスクを取り出すと、この表示は消えます。**

予約録画中に、録画禁止映像を録画しようとしたときに表示されます。（このとき、録画禁止の部分は録画されていません。）詳しくは、19ページの「録画できない映像」をご覧ください。

（テレビ画面） **CPRM情報が正しくありません。**

CPRM情報を正しく取り扱うことができません。故障などの可能性もあり調査が必要ですので、弊社サービスにご連絡ください。

（テレビ画面） **DV入力がありません。**

DV入力がないため、プレビューできません。

DV端子から信号が入力されていないときに表示されます。また、デジタルビデオカメラ側の再生を停止したり、無記録部分を再生したりした場合にも表示されます。表示される原因がわからない場合には、115ページの「DV端子に接続したカメラの映像が本機で映らない／音が出ない」をご覧ください。

（テレビ画面） **録画レベル9で録画します。**

DV入力なので、録画レベルを9にしました。

DV端子から入力されている映像は、録画レベルが1～8では録画できません。このように表示される場合、録画レベル9で録画や確認を実行します。

（テレビ画面） **MN32なので、音声は「二カ国語時記録音声」の設定にしたがいます。**

録画モードをMN32に設定している場合は、音声がリニアPCMで記録されます(DV端子から入力されている音声を除く)。この場合、二カ国語の音声は、「二カ国語時記録音声を選ぶ（103ページ）」で設定したどちらか一方の音声しか記録されません。

（テレビ画面） **ディスクを修復しています。しばらくお待ちください。**

録画中に停電などで電源が切れ、次回電源が入ったときに表示されます。

（テレビ画面） **ディスクを修復できませんでした。**

録画中に電源が切れたあとで行われるディスク修復に失敗したときに表示されます。この場合、そのときに録画していたタイトルは失われる場合があります。

正しく、末永くお使いいただくために

再生中および録画中は本機を絶対に動かさない

再生中および録画中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり、動かしたり、たたいたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

再生中や録画中は電源コードを絶対に抜かない

再生中および録画中に電源コードを抜いてしまうと、本機が故障したりディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源コードを抜かないでください。

本機を移動する場合のご注意

本機を移動したり引っ越しなどで梱包したりする場合は、かならずディスクを取り出し、ディスクテーブルを閉じてください。ディスクを内部に入れたまま移動しますと故障の原因となります。
また、電源コードを抜く前には、必ず電源を切ってください。

設置する場所についてのご注意

- 組み合わせて使用するテレビや他の機器のそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- 次のような場所は避けてください
  - **直射日光のあたる所**
  - 湿気の多い所や風通しの悪い所
  - **極端に暑い所や寒い所**
  - 振動のある所
  - **ほこりの多い所**
  - 油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないようにする

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合は、アンプや他の機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンのオープン/クローズ(⏏)ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

使わないときは電源を切っておく

テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると、画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

- 通常は柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったもので汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると、印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の電源コードを抜いた状態でしばらく放置し、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

F-Disc（エフディスク）について

8mmフィルムで撮影した映像を、DVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、「販売店名・購入日」などの記入を必ず確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

114～115ページにしたがって調べていただいたうえでなお異常のあるときは、かならず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

■ 連絡していただきたい内容：

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD レコーダー
- 型番：DVR-7000
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

すべての設定を出荷時の状態に戻すには

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

1. ⏻ STANDBY/ON

本体の ⏻ STANDBY/ONボタンを押して電源をオンにします

2. ■ STOP

⏻ STANDBY/ON

本体の 停止（■ STOP）ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ON ボタンを押します

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

注意

◆ この操作を行うと、プログラムメモリー（45ページ参照）などの記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前には、十分にご注意ください。

仕様

一般

電源定格 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 60 W
（BS アンテナ電源使用時）
待機時消費電力 .... 1.5 W 以下
（ただし、FL OFF 時）
外形寸法（W×D×H）........ 420 × 373.5 × 107mm
本体質量 .... 7.0 kg
使用温度範囲 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
使用湿度範囲 .... 5%〜 85%（結露のないこと）
テレビジョン方式
　NTSC 方式準拠 .... 525 本 60 フィールド

記録

記録フォーマット .... DVD-VideoRecording
DVD-VIDEO
記録可能ディスク .... DVD-ReRecordable（リライタブル）
DVD-Recordable（レコーダブル）

映像記録方式
　サンプリング周波数 .... 13.5 MHz
　圧縮方式 .... MPEG

音声記録方式
　サンプリング周波数 .... 48 kHz
　圧縮方式 .... Dolby Digital およびリニア PCM（非圧縮）

記録時間
　DVD-RW（VR モード）
　標準 .... 約 2 時間
　マニュアルレート .... 約 1 〜 6 時間
　DVD-R・DVD-RW（ビデオモード）
　V1 .... 約 1 時間
　V2 .... 約 2 時間

再生

再生可能ディスク .... DVD ビデオ
DVD-ReRecordable
（リライタブル）
DVD-Recordable
（レコーダブル）
音楽用 CD
ビデオ CD

チューナー

受信チャンネル
　ＶＨＦ .... 1 〜 12 ch
　ＵＨＦ .... 13 〜 62 ch
　CATV .... C13 〜 C38 ch
　ＢＳ .... 1、3、5、7、9*、11、13、15 ch
　* 本機では BS9 のハイビジョン放送は受信できません。

タイマー

プログラム数 .... 1ヶ月 8 プログラム
時計 .... クオーツロック、12 時間デジタル表示
停電補償時間 .... 約 48 時間

入出力端子

VHF/UHF アンテナ入出力 .... VHF/UHF １軸
75 Ω F 型コネクター
ＢＳアンテナ入出力 .... 75 Ω F 型コネクター
アンテナ電源出力 .... DC15 V、最大 4 W
映像入力 .... 入力 1、2（リア）、3（フロント）の 3 系統
ピンジャック：1 V p-p（75 Ω不平衡）
映像出力 .... 出力 1、2 の 2 系統
ピンジャック：1 V p-p （75 Ω不平衡）
S 映像入力 .... 入力 1、2（リア）、3（フロント）の 3 系統
　4 ピンミニＤＩＮ .... Y ＝ 1 V p-p（75 Ω 不平衡）
C ＝ 0.286 V p-p（75 Ω 不平衡）
S1/S2 映像出力 .... 出力1、2 の 2 系統
　4 ピンミニＤＩＮ .... Y ＝1 V p-p（75 Ω 不平衡）
C ＝ 0.286 V p-p（75 Ω 不平衡）
音声入力 .... 入力 1、2（リア）、3（フロント）の3系統
（L/R）
　ピンジャック .... 2 V rms
（入力インピーダンス 22 k Ω以上）
音声出力 .... 出力1、2 の 2 系統（L/R）
　ピンジャック .... 2 V rms
（1 kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5 k Ω以下）
SR 入力／出力 .... ミニジャック各 1
デジタル音声 I/F 出力
　光コネクタ .... 角型光ジャック 1 系統
　ピンジャック .... 0.5 V p-p（75 Ω 不平衡）
検波入力／出力
　ピンジャック .... 0.67 V p-p（75 Ω 不平衡）
ビットストリーム入力／出力
　ピンジャック .... 0.5 V p-p （75 Ω 不平衡）
コンポーネント映像出力
　Y .... ピンジャック 1 .0 V p-p（75 Ω 不平衡）
　C_B、C_R .... ピンジャック 0.7 V p-p（75 Ω 不平衡）
D2 出力
　Y .... 1.0Vp-p（75 Ω不平衡）
　C_B、C_R .... 0.7Vp-p（75 Ω不平衡）
DV 入出力 .... 4 ピン（i.LINK/IEEE1394 準拠）1 系統

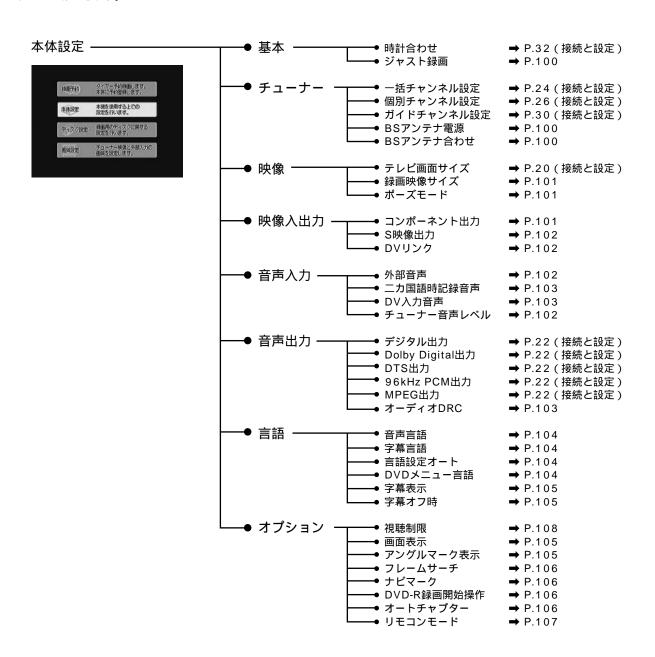
■ 付属品

RF アンテナケーブル 1
オーディオケーブル 1
ビデオケーブル 1
電源コード 1
単 3 形乾電池 2
アンテナアダプタ（F 接栓用変換器）........ 1
ワイヤレスリモコン 1
クリーニングクロス 1
接続と設定 /DVD レコーダーマガジン 1
取扱説明書（本書）........ 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
保証書 1
安全上のご注意 1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

設定項目別さくいん

設定 / 予約画面の項目名や選択肢からではどんな設定を行うのかわからないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

本体設定

◆ 再生中、停止中、録画中などの本機の状態によって、選択できる設定が変わります。

設定項目別さくいん

さくいん

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は行

ま行

ら行

わ行

記号

アルファベット (A ～ Z)

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電源が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアステーションに点検（有料）をご依頼ください。

高調波ガイドライン適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<VRA1199-C>

<TSWZF/01G00001>